

在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

大垣市

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1 調査の概要 | |
| (1) 調査の目的 | 1 |
| (2) 調査の設計 | 1 |
| (3) 回収結果 | 1 |
| (4) 報告書の見方 | 1 |
| (5) 集計・分析における留意点 | 1 |
| 2 要介護認定データ | |
| (1) 年齢 | 3 |
| (2) 性別 | 3 |
| (3) 二次判定結果（要介護度） | 4 |
| (4) 障害高齢者の日常生活自立度 | 4 |
| (5) 認知症高齢者の日常生活自立度 | 5 |
| (6) サービス利用の組み合わせ | 5 |
| (7) 訪問系サービスの合計利用回数 | 10 |
| (8) 通所系サービスの合計利用回数 | 10 |
| (9) 短期系サービスの合計利用回数 | 11 |
| 3 基本調査項目（A票） | |
| (1) 世帯類型 | 12 |
| (2) 家族等による介護の頻度 | 13 |
| (3) 主な介護者の本人との関係 | 16 |
| (4) 主な介護者の性別 | 17 |
| (5) 主な介護者の年齢 | 18 |
| (6) 主な介護者が行っている介護等 | 20 |
| (7) 介護のための離職の有無 | 24 |
| (8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況 | 25 |
| (9) 在宅生活の継続のために必要な支援・サービス | 31 |
| (10) 施設等への入所・入居の検討状況 | 41 |
| (11) 本人が抱えている傷病 | 48 |
| (12) 訪問診療の利用の有無 | 50 |
| (13) 介護保険サービスの利用の有無 | 52 |
| (14) 介護保険サービス未利用の理由 | 53 |
| 4 主な介護者用の調査項目（B票） | |
| (1) 主な介護者の勤務形態 | 56 |
| (2) 主な介護者の働き方の調整状況 | 57 |
| (3) 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援 | 60 |
| (4) 主な介護者の就労継続見込み | 62 |
| (5) 主な介護者が不安に感じる介護等 | 65 |

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、大垣市高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定にあたって、要支援・要介護認定を受け在宅で生活している人及びその介護者から、要介護者の在宅生活の実態や家族介護者の就労実態などを把握し、基礎資料とすることを目的とします。

(2) 調査の設計

本調査は、次のとおり設計し、実施しました。

| 調査対象者 | 調査期間 | 調査方法 |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 要支援・要介護認定を受け、在宅で生活している人 | 令和4年5月10日～ 令和4年11月30日 | 要介護認定の訪問調査時に認定調査員により聞き取り |

(3) 回収結果

調査項目（A票）（B票）の回収数は、次のとおりです。

| 回収数 | 有効回答数 |
|-----|-------|
| 634 | 634 |

(4) 報告書の見方

- 図表中のn（Number of Caseの略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。
- 性別、年齢、要介護度、サービスの利用実績等については、要介護認定データを用いています。
- クロス集計のグラフを見やすくするため、比較対象となる項目の回答が不明な場合を除いて集計しています。したがって、比較対象となる項目の合計は全体の合計と一致しません。

(5) 集計・分析における留意点

本集計・分析では、1か月あたりの介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着眼した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ用語の定義は、次のとおりです。

＜サービス利用の分析に用いた用語の定義＞

| 用 語 | | 定 義 |
|-----|--------|---|
| 未利用 | | 「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。 |
| 訪問系 | | (介護予防) 訪問介護、(介護予防) 訪問入浴介護、(介護予防) 訪問看護、(介護予防) 訪問リハビリテーション、(介護予防) 居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。 |
| 通所系 | | (介護予防) 通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション、(介護予防) 認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。 |
| 短期系 | | (介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。 |
| その他 | 小規模多機能 | (介護予防) 小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。 |
| | 看護多機能 | 看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。 |
| | 定期巡回 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。 |

＜サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義＞

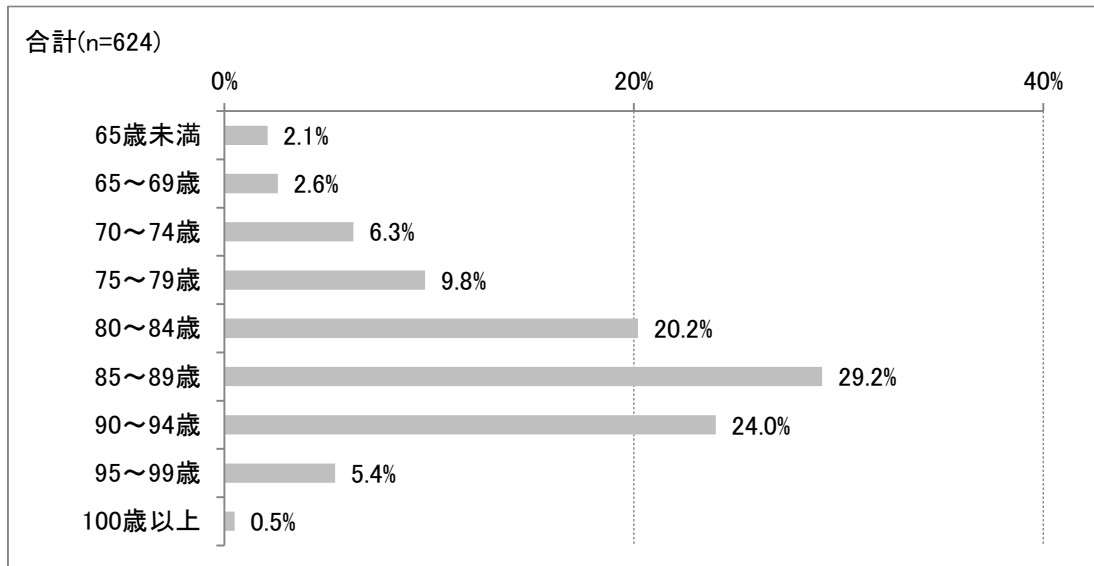
| 用 語 | | 定 義 |
|-------------|--|--|
| 未利用 | | 上表に同じです。 |
| 訪問系のみ | | 上表の「訪問系」又は「定期巡回」のみの利用を集計しています。 |
| 訪問系を含む組み合わせ | | 上表の「訪問系 (又は定期巡回)」 + 「通所系」、「訪問系 (又は定期巡回)」 + 「短期系」、「訪問系 (又は定期巡回)」 + 「通所系」 + 「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。 |
| 通所系・短期系のみ | | 上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」 + 「短期系」の利用を集計しています。 |

2 要介護認定データ

(1) 年齢

要介護認定者の年齢は、「85～89歳」が29.2%と最も多く、次いで「90～94歳」が24.0%、「80～84歳」が20.2%となっています。

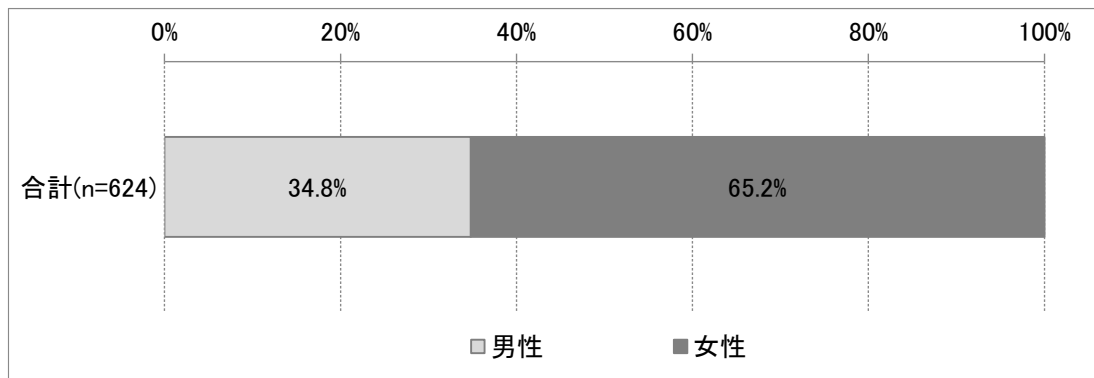
図表 1-1 年齢



(2) 性別

要介護認定者の性別は、「男性」が34.8%、「女性」が65.2%と女性の割合が高くなっています。

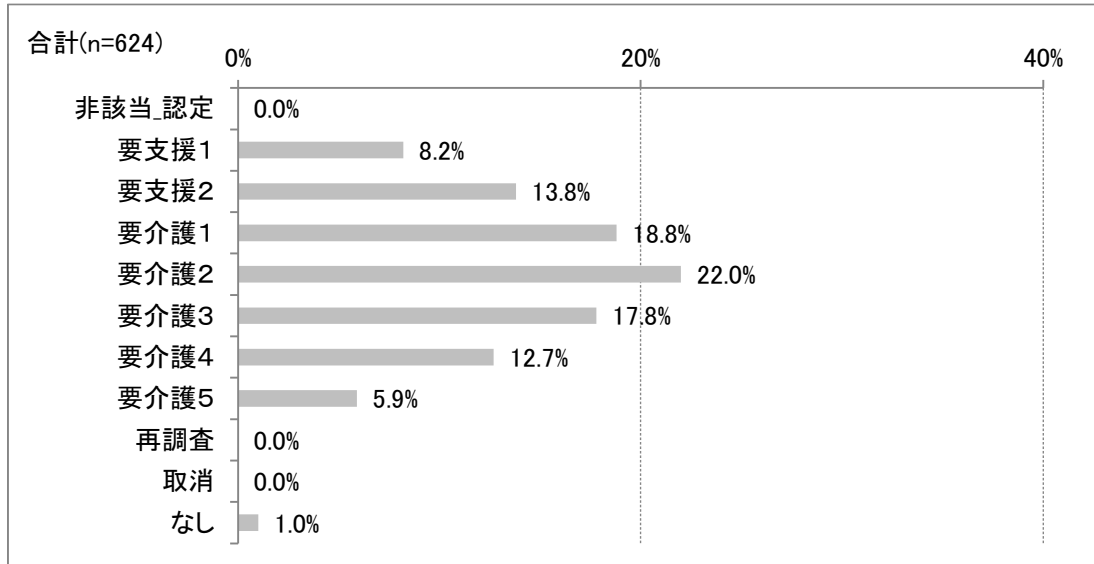
図表 1-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

二次判定結果（要介護度）は、「要介護2」が22.0%と最も多く、次いで「要介護1」が18.8%、「要介護3」が17.8%、「要支援2」が13.8%、「要介護4」が12.7%、「要支援1」が8.2%、「要介護5」が5.9%となっています。

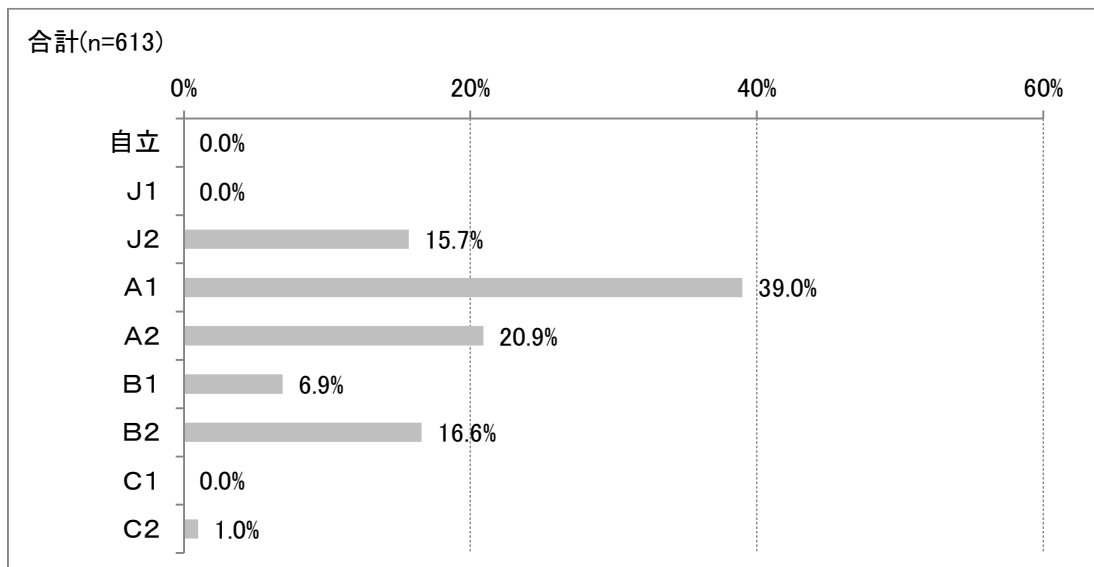
図表 1-3 二次判定結果



(4) 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、「A1」が39.0%と最も多く、次いで「A2」が20.9%、「B2」が16.6%、「J2」が15.7%となっています。

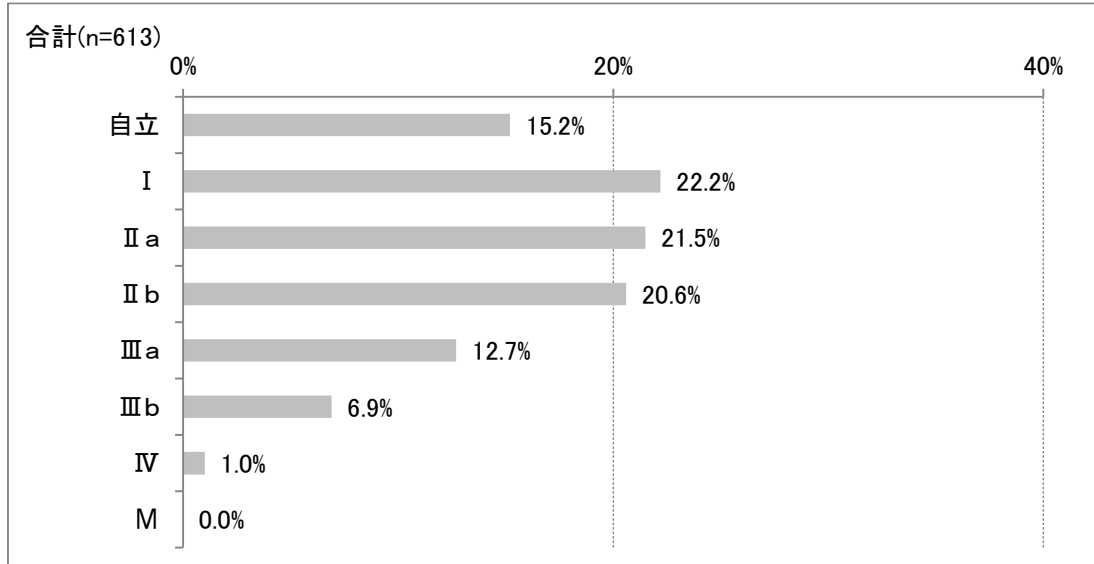
図表 1-4 障害高齢者の日常生活自立度



(5) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」が22.2%と最も多く、次いで「II a」が21.5%、「II b」が20.6%、「自立」が15.2%、「III a」が12.7%となっています。

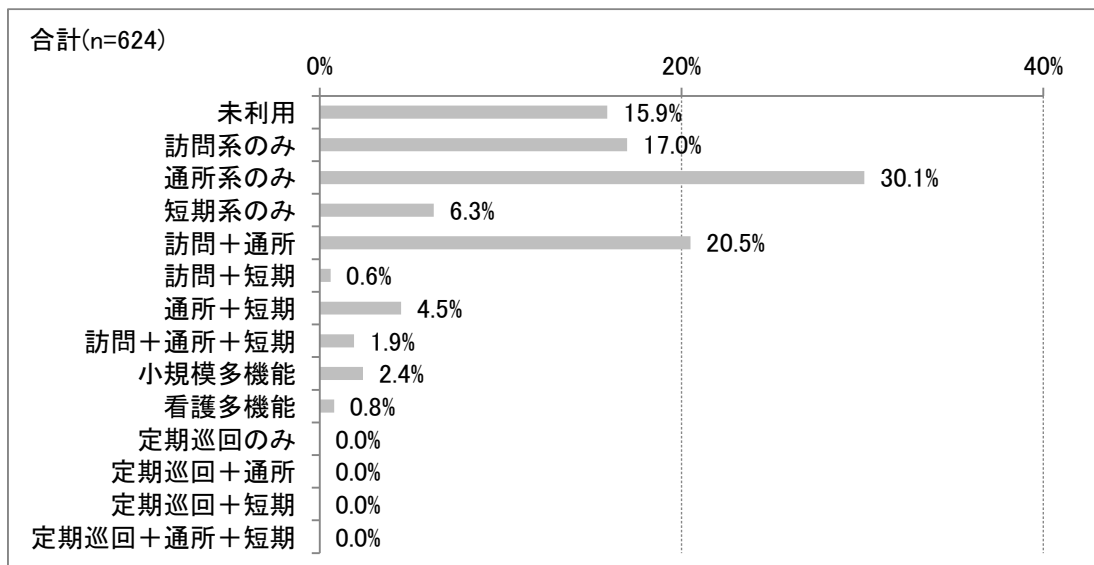
図表 1-5 認知症高齢者の日常生活自立度



(6) サービス利用の組み合わせ

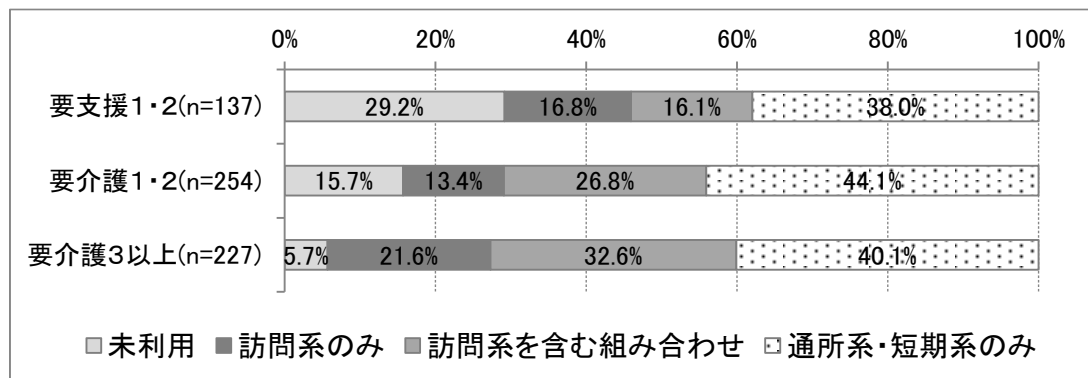
介護保険サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が30.1%と最も多く、次いで「訪問+通所」が20.5%、「訪問系のみ」が17.0%となっています。

図表 1-6 サービス利用の組み合わせ



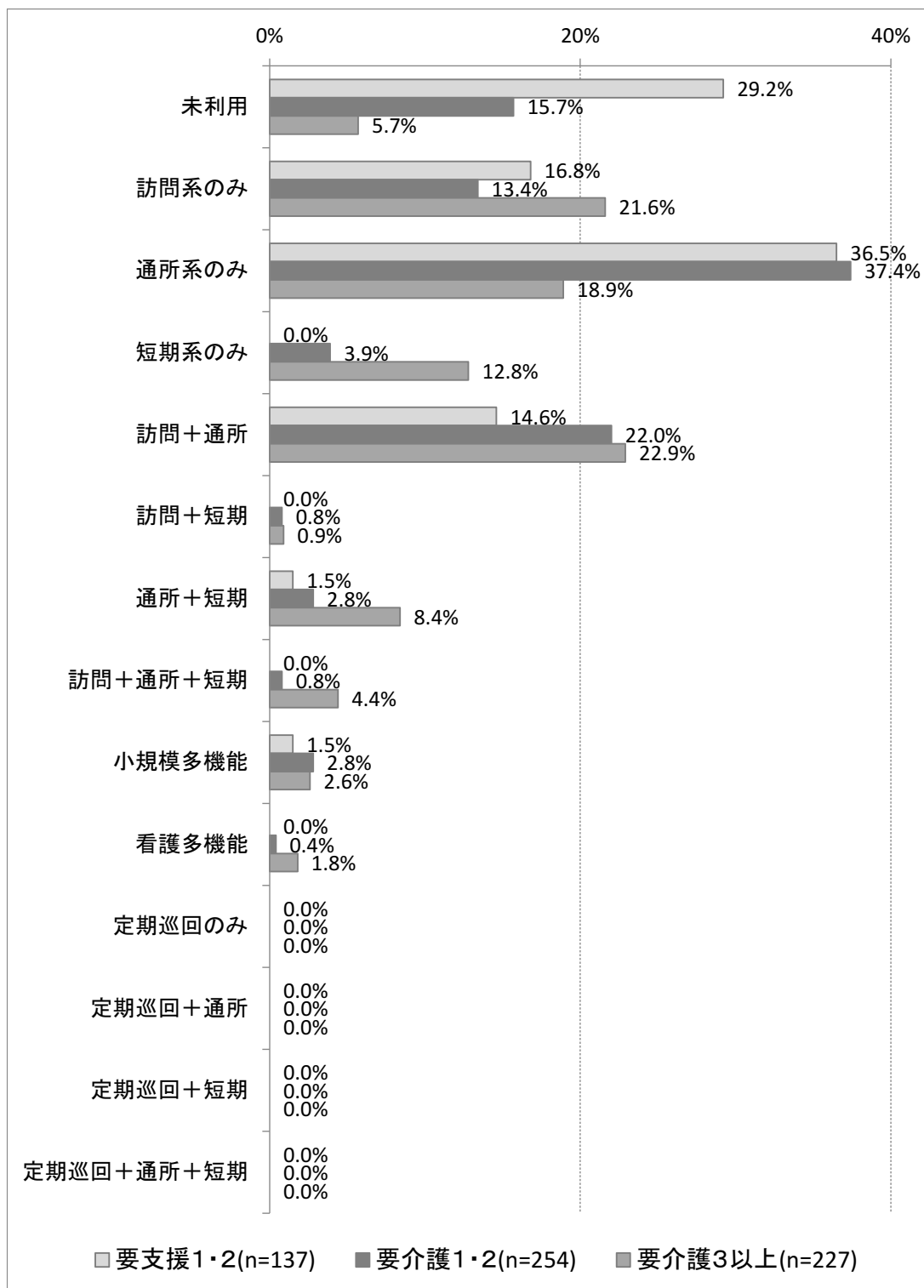
要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれの要介護度においても「通所系・短期系のみ」が最も多く、40%前後となっています。また、要介護度が重度になるにつれ「未利用」の割合が低くなっています。

図表 1-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



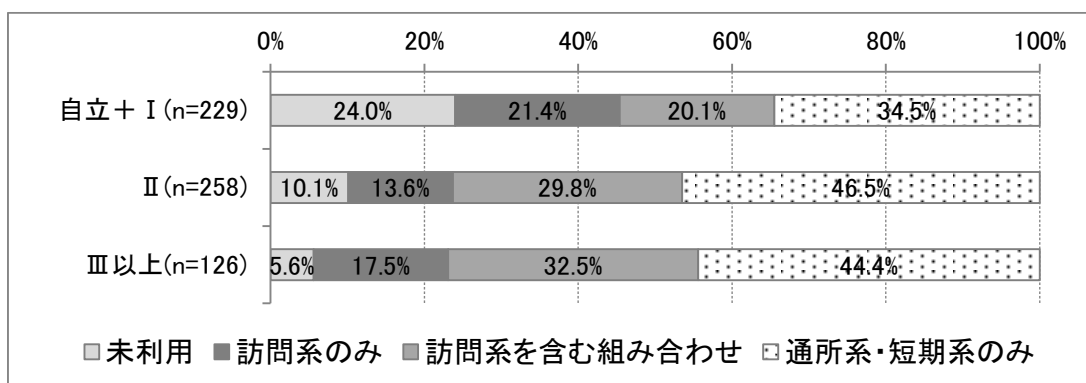
要介護度別にサービス利用の組み合わせを詳細にみると、要支援1・2及び要介護1・2では「通所系のみ」がそれぞれ36.5%、37.4%となっている一方、要介護3以上では18.9%にとどまり、「訪問+通所」「通所+短期」など多種のサービスを組み合わせた利用の割合が高くなっています。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



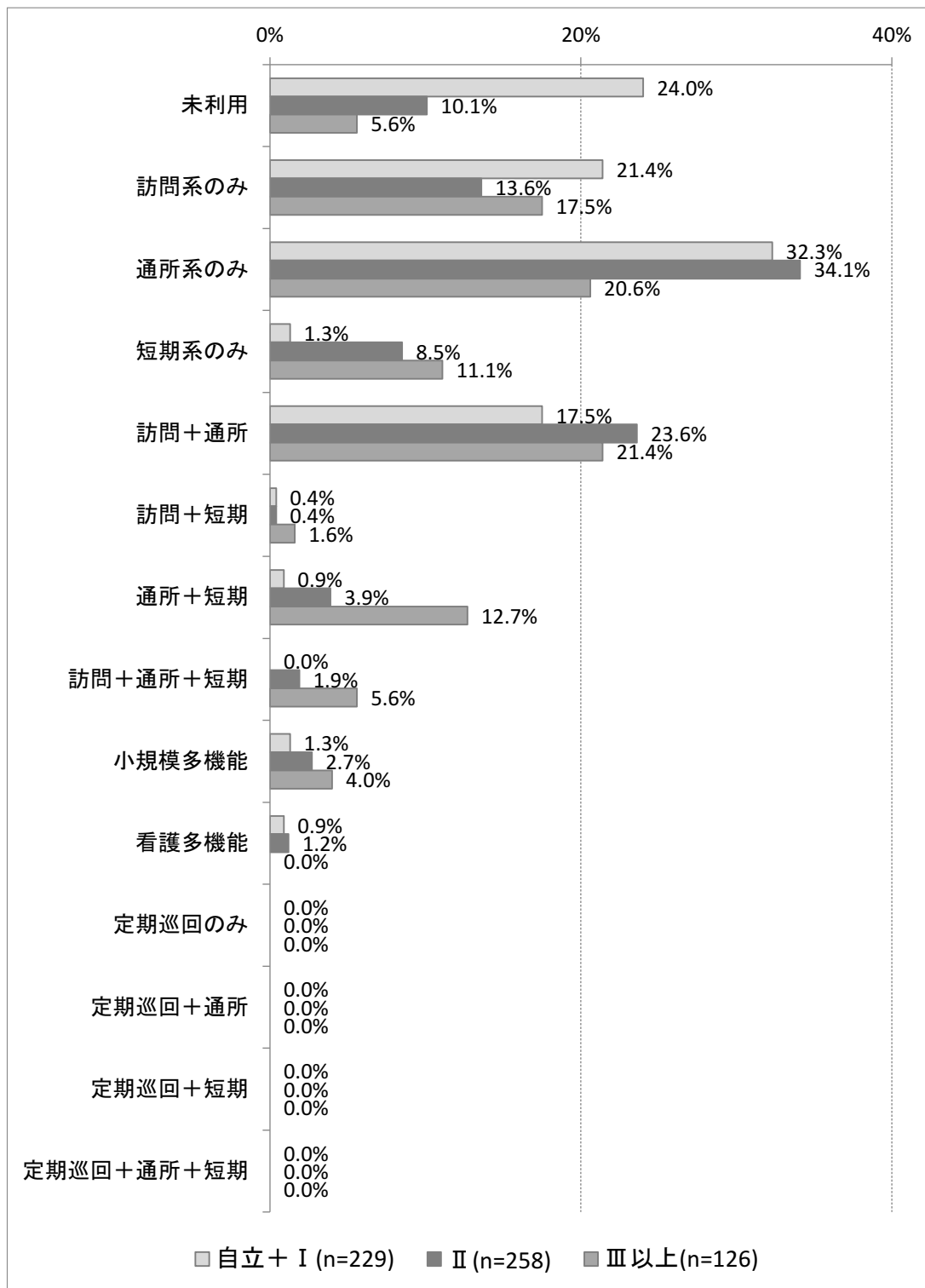
認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれの認知症自立度においても「通所系・短期系のみ」が最も多く、35～45%程度となっています。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



認知症自立度別にサービス利用の組み合わせを詳細にみると、自立+Ⅰ及びⅡでは「通所系のみ」がそれぞれ32.3%、34.1%となっている一方、Ⅲ以上では20.6%にとどまり、「通所+短期」「訪問+通所+短期」の割合が比較的高くなっています。

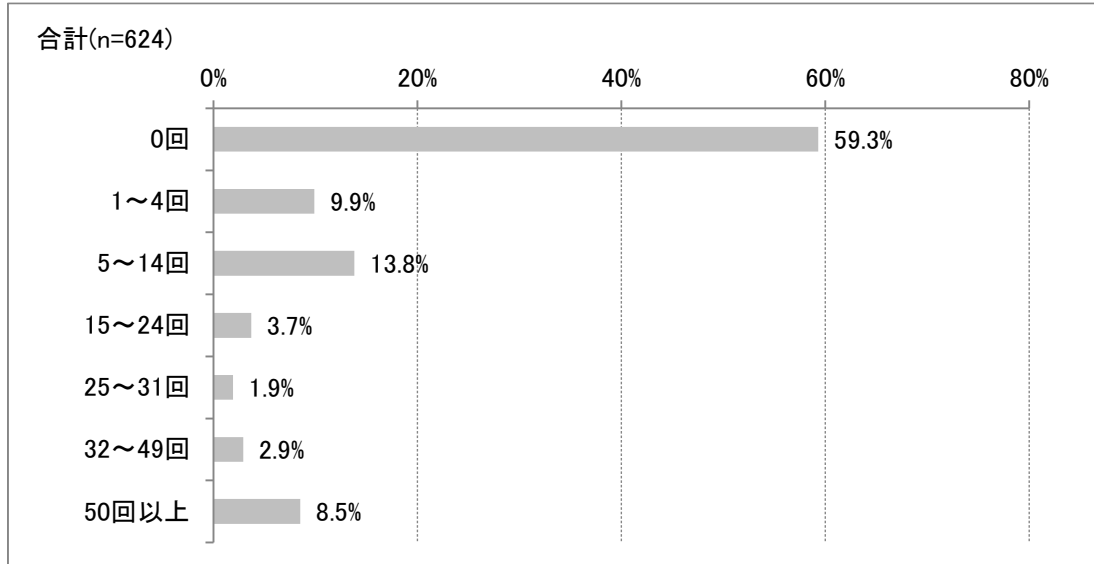
図表 1-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



(7) 訪問系サービスの合計利用回数

訪問系サービスの合計利用回数は、「0回」が59.3%と最も多く、次いで「5～14回」が13.8%、「1～4回」が9.9%となっています。

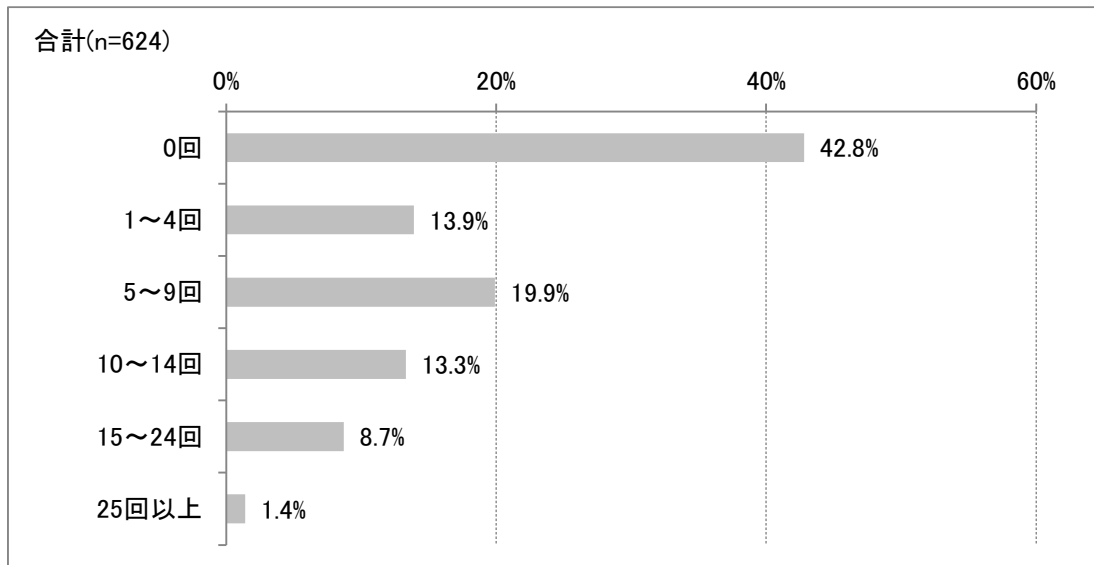
図表 1-11 サービスの利用回数（訪問系）



(8) 通所系サービスの合計利用回数

通所系サービスの合計利用回数は、「0回」が42.8%と最も多く、次いで「5～9回」が19.9%、「1～4回」が13.9%となっています。

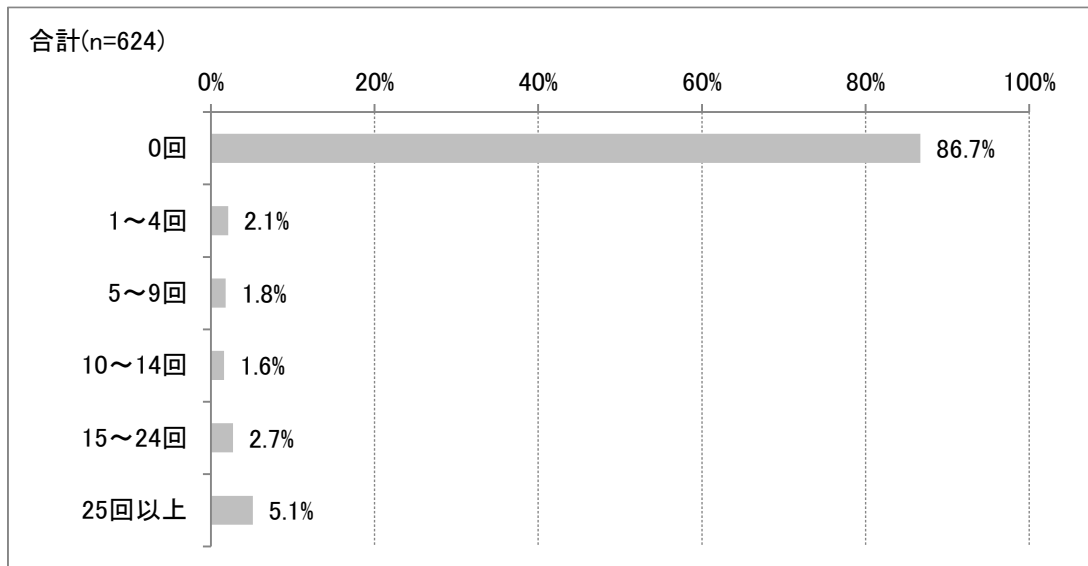
図表 1-12 サービスの利用回数（通所系）



(9) 短期系サービスの合計利用回数

短期系サービスの合計利用回数は、「0回」が86.7%と最も多く、次いで「25回以上」が5.1%、「15～24回」が2.7%となっています。

図表 1-13 サービスの利用回数（短期系）

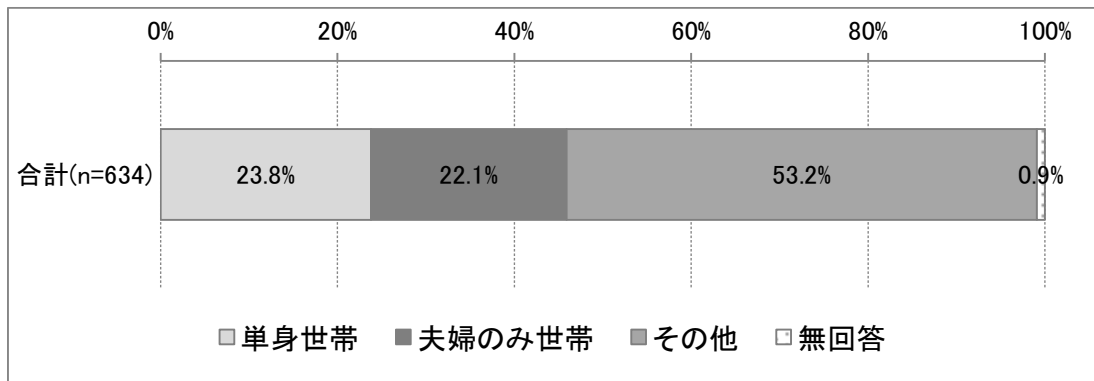


3 基本調査項目（A票）

（1）世帯類型

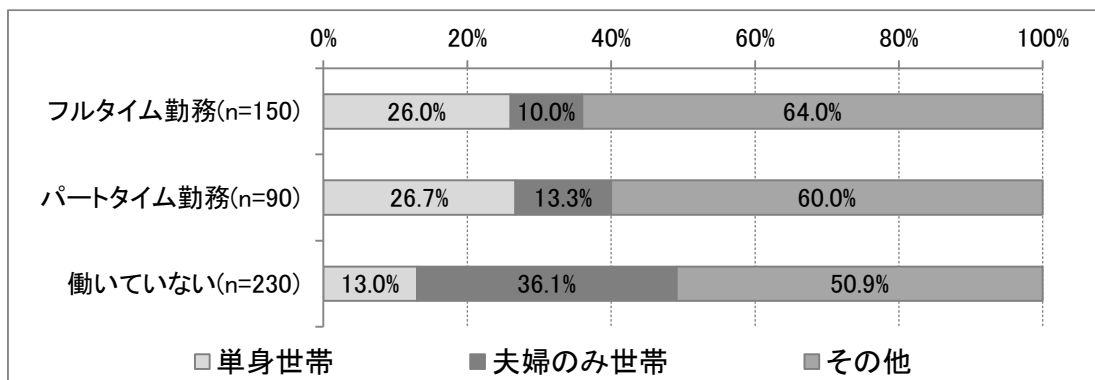
世帯類型は、「その他」が53.2%と最も多く、次いで「単身世帯」が23.8%、「夫婦のみ世帯」が22.1%となっています。

図表 2-1 世帯類型（単数回答）



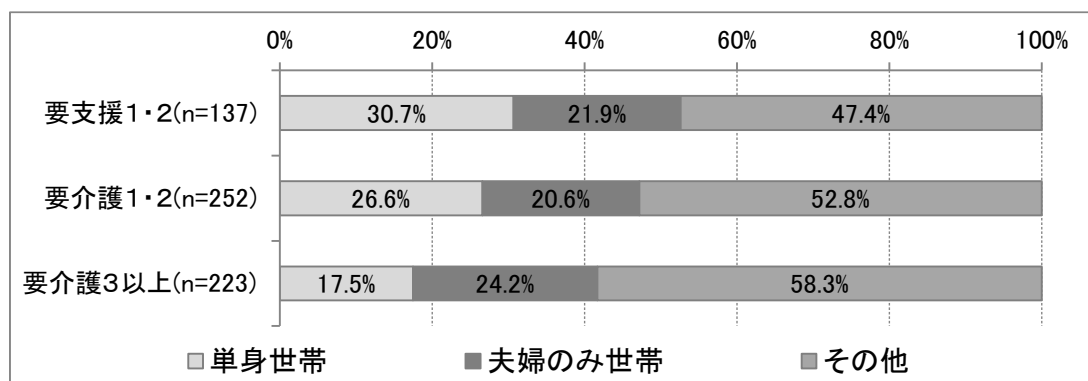
主な介護者の勤務形態別に世帯類型をみると、いずれの勤務形態においても「その他」が50～60%程度と最も割合が高くなっています。働いていない介護者では「夫婦のみ世帯」の割合が高く、36.1%となっています。

図表 2-2 勤務形態別・世帯類型



要介護度別に世帯類型をみると、要介護度が重度になるにつれ「単身世帯」の割合が低くなる一方、「その他」の割合が高くなっています。いずれの要介護度においても「夫婦のみ世帯」では大きな差はみられません。

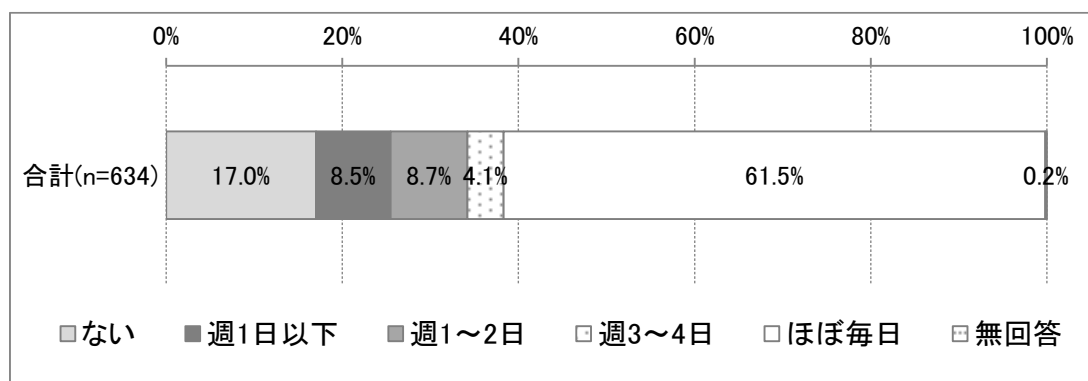
図表 2-3 要介護度別・世帯類型



(2) 家族等による介護の頻度

家族や親族からの介護は、「ほぼ毎日」が61.5%と最も多く、次いで「ない」が17.0%、「週1～2日」が8.7%、「週1日以下」が8.5%、「週3～4日」が4.1%となっています。

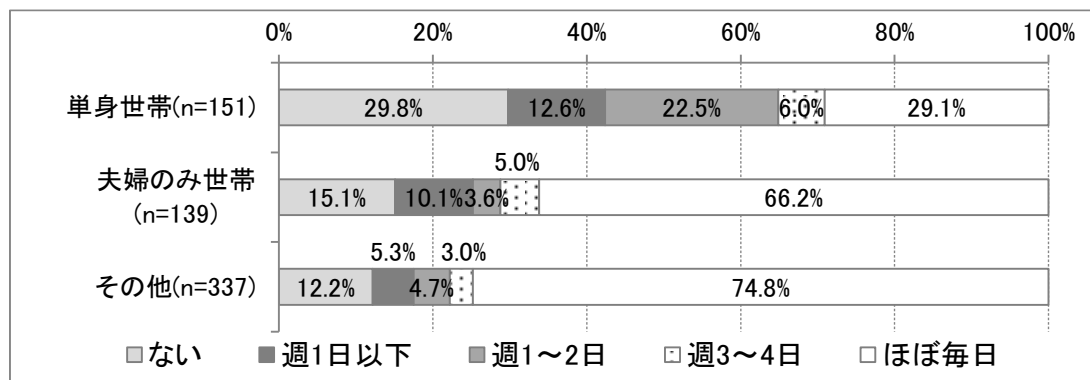
図表 2-4 家族等による介護の頻度（単数回答）



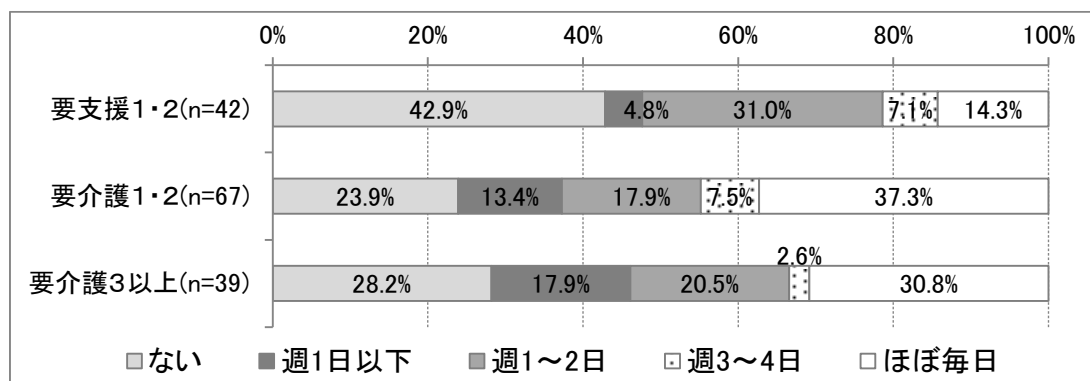
世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、夫婦のみ世帯・その他において「ほぼ毎日」が最も多く、夫婦のみ世帯では 66.2%、その他世帯では 74.8%を占めています。単身世帯では「ない」が 29.8%と最も多く、「ほぼ毎日」は 29.1%となっています。

世帯類型ごとで要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、いずれの世帯類型においても、要介護 1・2 の「ほぼ毎日」の割合が他の要介護度に比べて多くなっています。

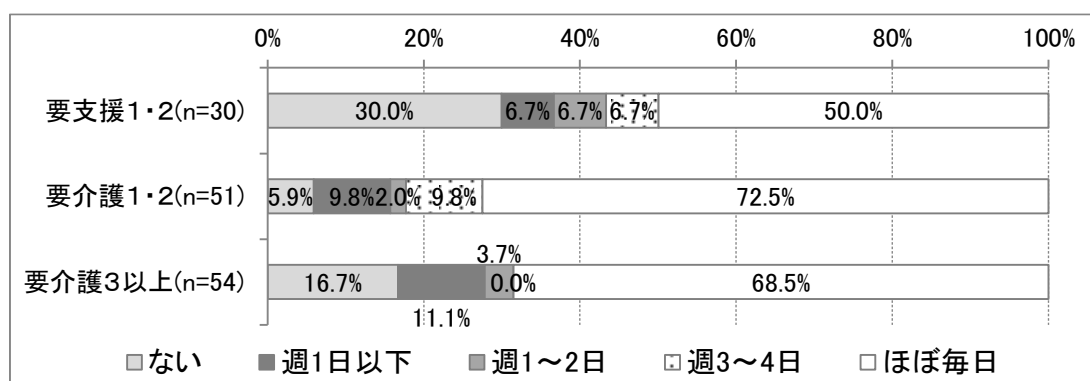
図表 2-5 世帯類型別・家族等による介護の頻度



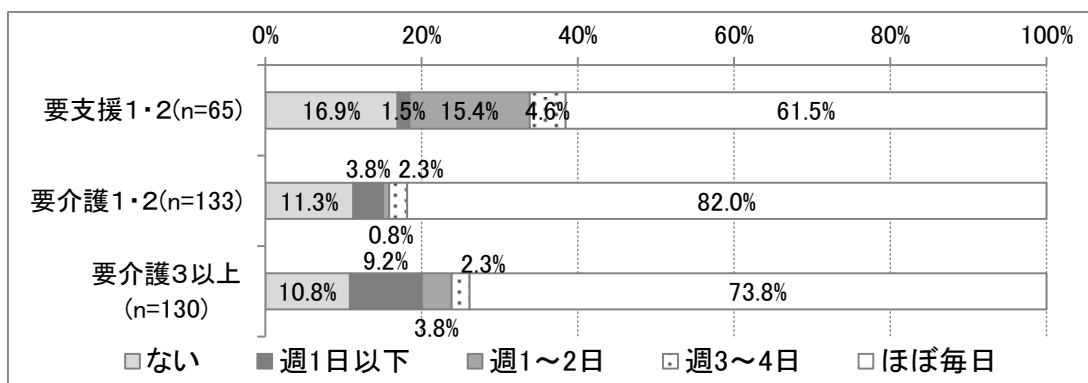
図表 2-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



図表 2-7 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）

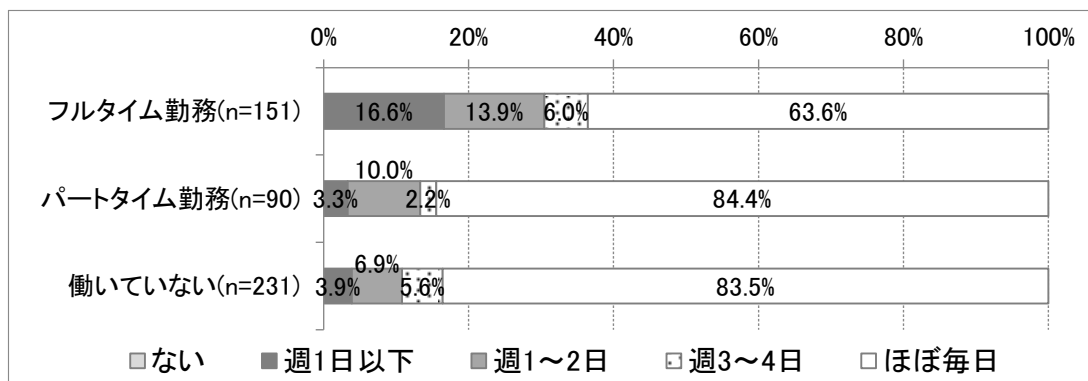


図表 2-8 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



主な介護者の勤務形態別に家族等による介護の頻度をみると、いずれの勤務形態においても「ほぼ毎日」が最も多く、フルタイム勤務の介護者では63.6%、パートタイム勤務の介護者では84.4%、働いていない介護者では83.5%となっています。

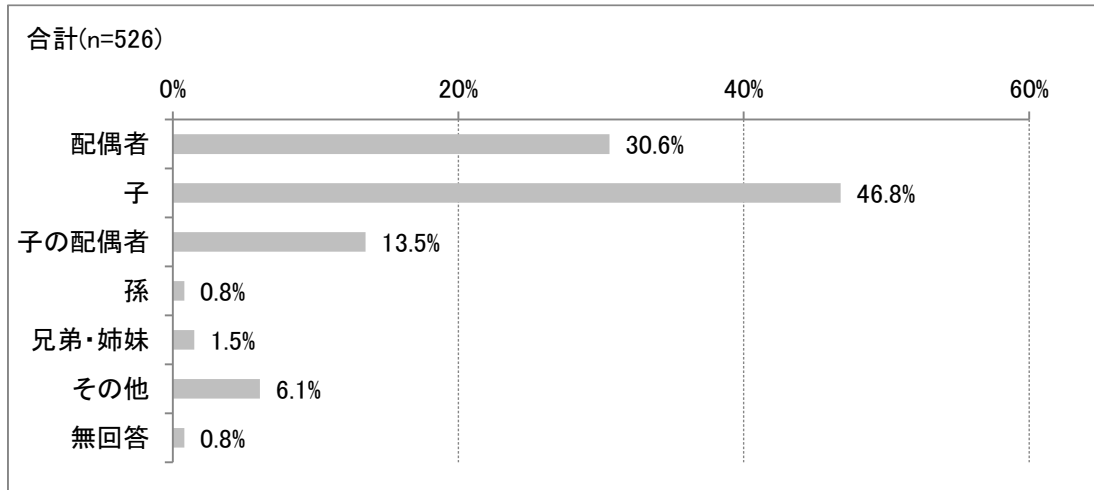
図表 2-9 勤務形態別・家族等による介護の頻度



(3) 主な介護者の本人との関係

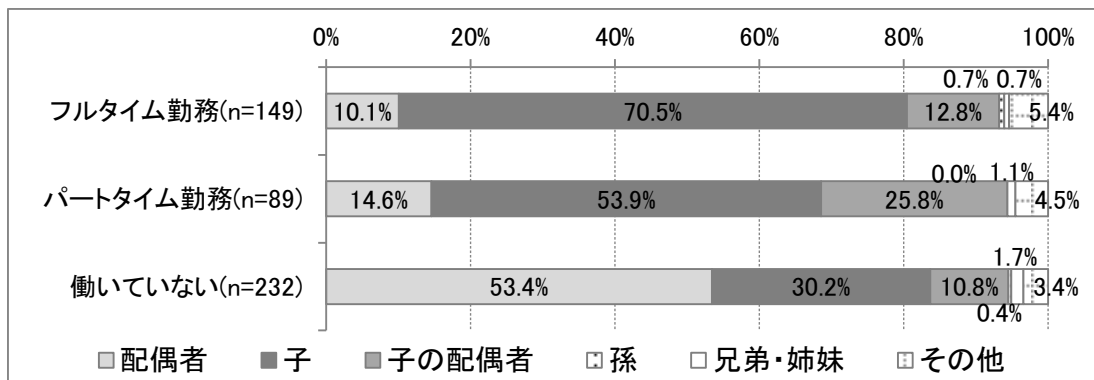
主な介護者は、「子」が46.8%と最も多く、次いで「配偶者」が30.6%、「子の配偶者」が13.5%となっています。

図表 2-10 主な介護者の本人との関係（単数回答）



勤務形態別に主な介護者をみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務の介護者では「子」がそれぞれ70.5%、53.9%、働いていない介護者では「配偶者」が53.4%と最も多くなっています。また、パートタイム勤務の介護者では「子の配偶者」、働いていない介護者では「子」がそれぞれ約25～30%を占めています。

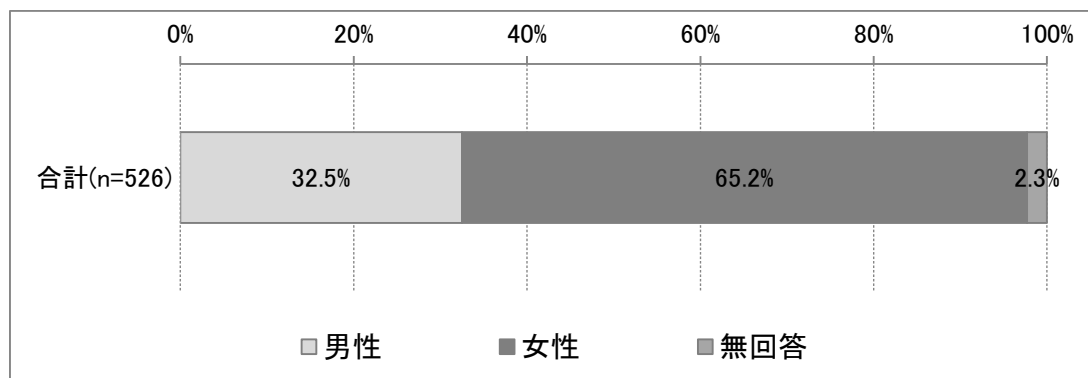
図表 2-11 勤務形態別・主な介護者の本人との関係



(4) 主な介護者の性別

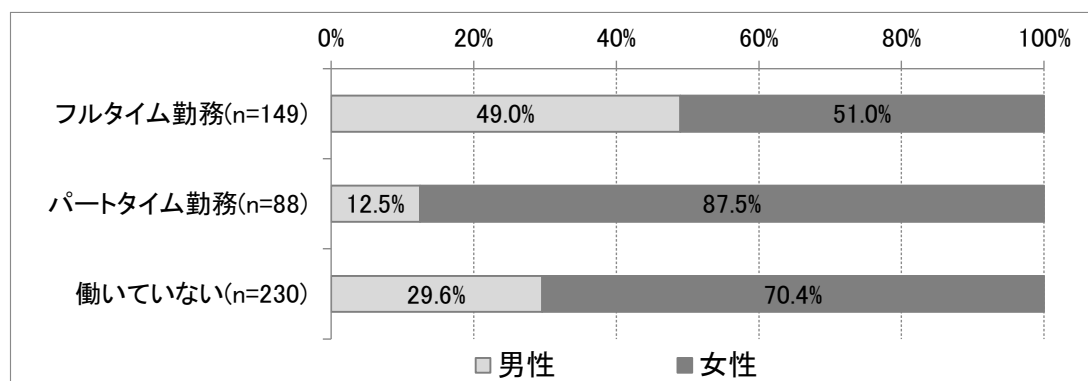
主な介護者の性別は、「男性」が32.5%、「女性」が65.2%となっています。

図表 2-12 主な介護者の性別（単数回答）



勤務形態別に主な介護者の性別をみると、フルタイム勤務の介護者では性別に大きな差はみられません、パートタイム勤務・働いていない介護者では「女性」が70%以上を占めています。

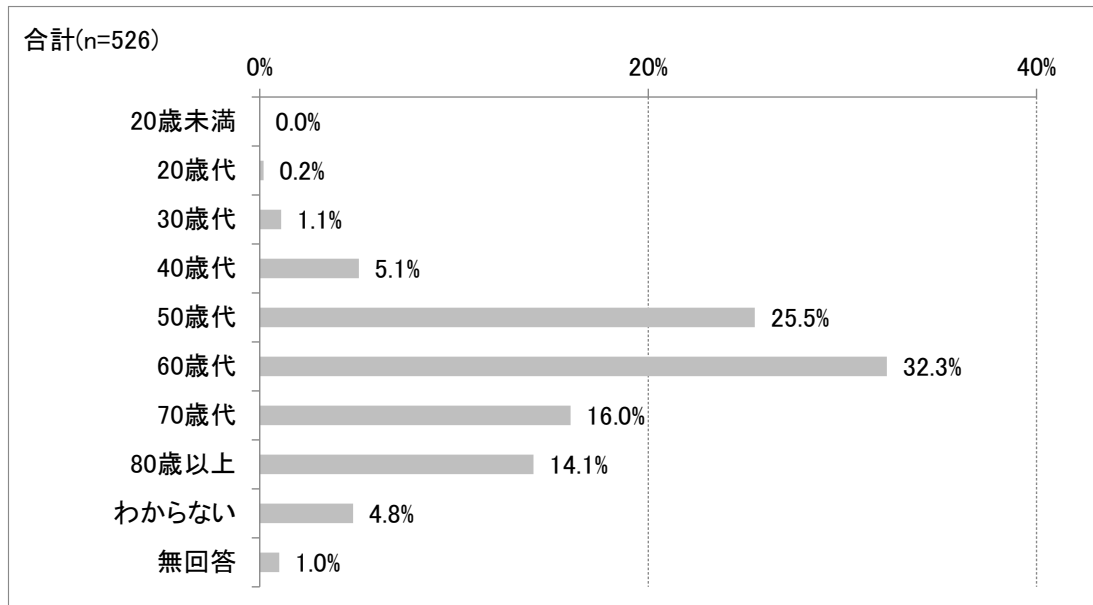
図表 2-13 勤務形態別・主な介護者の性別



(5) 主な介護者の年齢

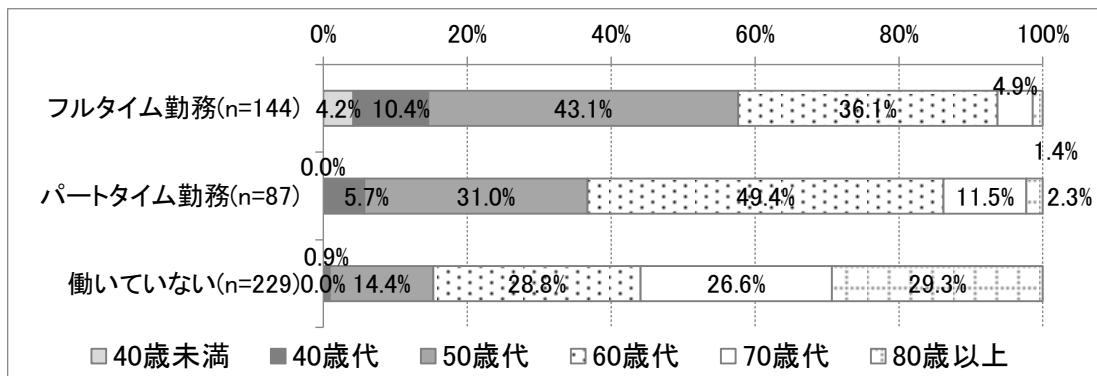
主な介護者の年齢は、「60歳代」が32.3%と最も多く、次いで「50歳代」が25.5%、「70歳代」が16.0%、「80歳以上」が14.1%となっています。

図表 2-14 主な介護者の年齢（単数回答）



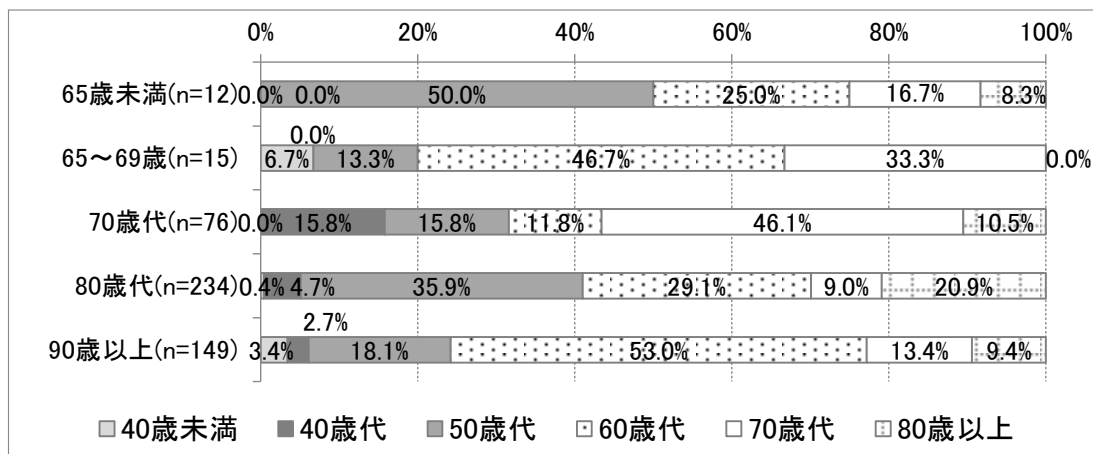
勤務形態別に主な介護者の年齢をみると、フルタイム勤務の介護者では「50歳代」が43.1%、パートタイム勤務の介護者では「60歳代」が49.4%、働いていない介護者では「80歳以上」が29.3%と最も多くなっています。フルタイム勤務・パートタイム勤務の介護者では「60歳代」以下が85%以上を占めている一方、働いていない介護者では50%以下となっています。

図表 2-15 勤務形態別・主な介護者の年齢



要介護認定者の年齢別に主な介護者の年齢をみると、要介護認定者の年齢が65歳未満では介護者が「50歳代」、65～69歳では「60歳代」、70歳代では「70歳代」が約45～50%、80歳代では「50歳代」が35.9%、90歳以上では「60歳代」が53.0%と最も多くなっています。要介護認定者が70歳代以下の場合には配偶者、80歳代以上の場合には子の年代が介護者となるケースが多いものと考えられます。

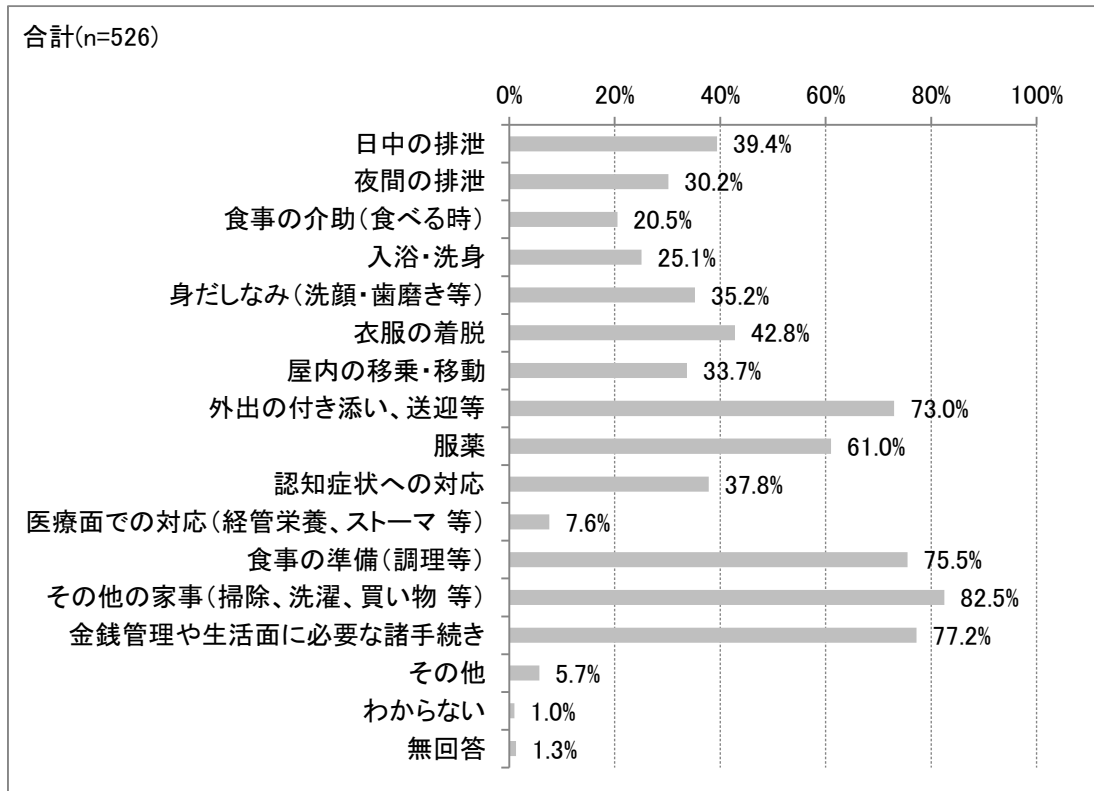
図表 2-16 本人の年齢別・主な介護者の年齢



(6) 主な介護者が行っている介護等

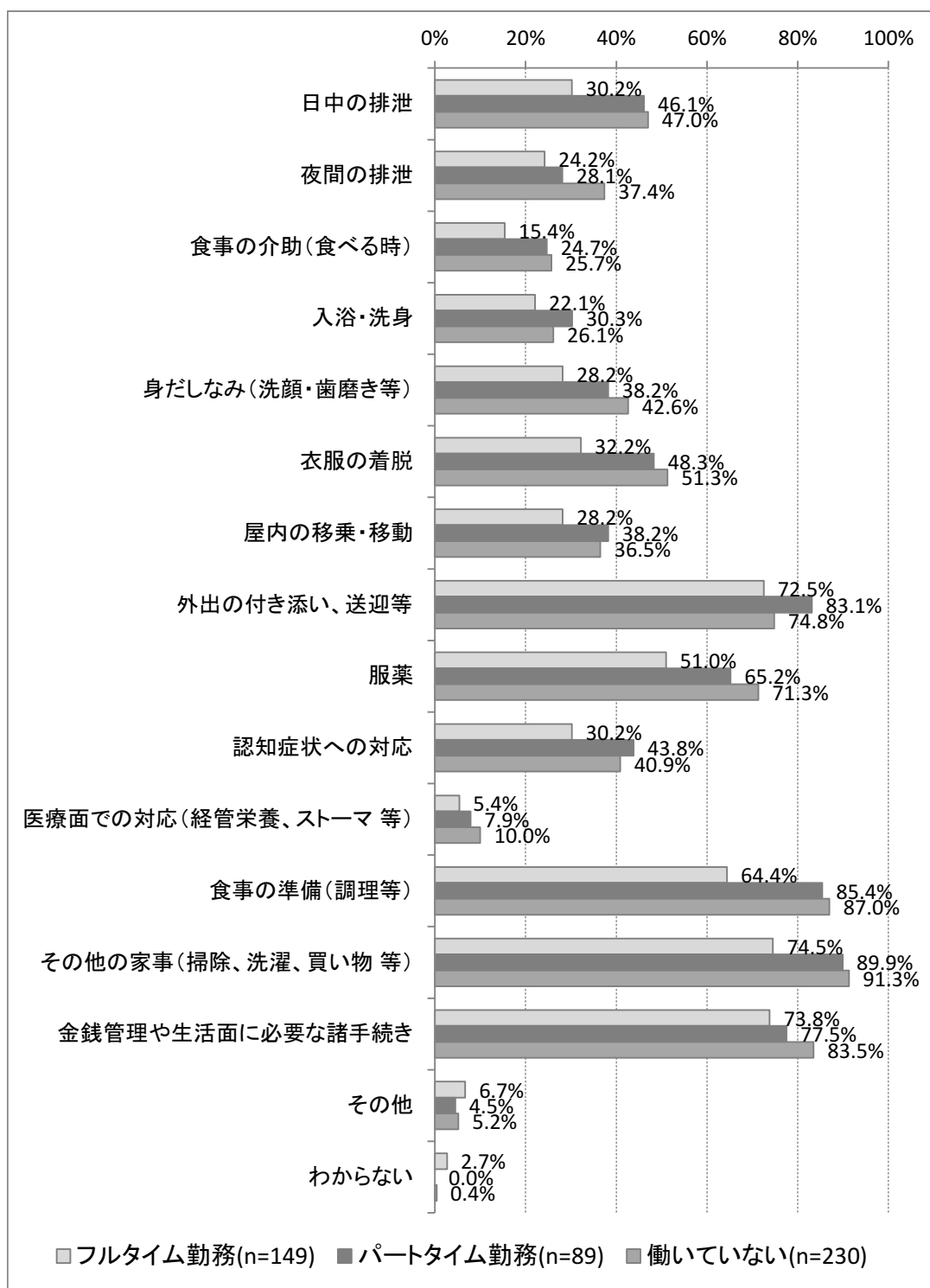
主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.5%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.2%、「食事の準備（調理等）」が75.5%、「外出の付き添い、送迎等」が73.0%、「服薬」が61.0%となっています。

図表 2-17 主な介護者が行っている介護等（複数回答）



勤務形態別に主な介護者が行っている介護等をみると、フルタイム勤務の介護者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（74.5%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（73.8%）、「外出の付き添い、送迎等」（72.5%）の順、パートタイム勤務の介護者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（89.9%）、「食事の準備（調理等）」（85.4%）、「外出の付き添い、送迎等」（83.1%）の順、働いていない介護者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（91.3%）、「食事の準備（調理等）」（87.0%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（83.5%）の順となっています。

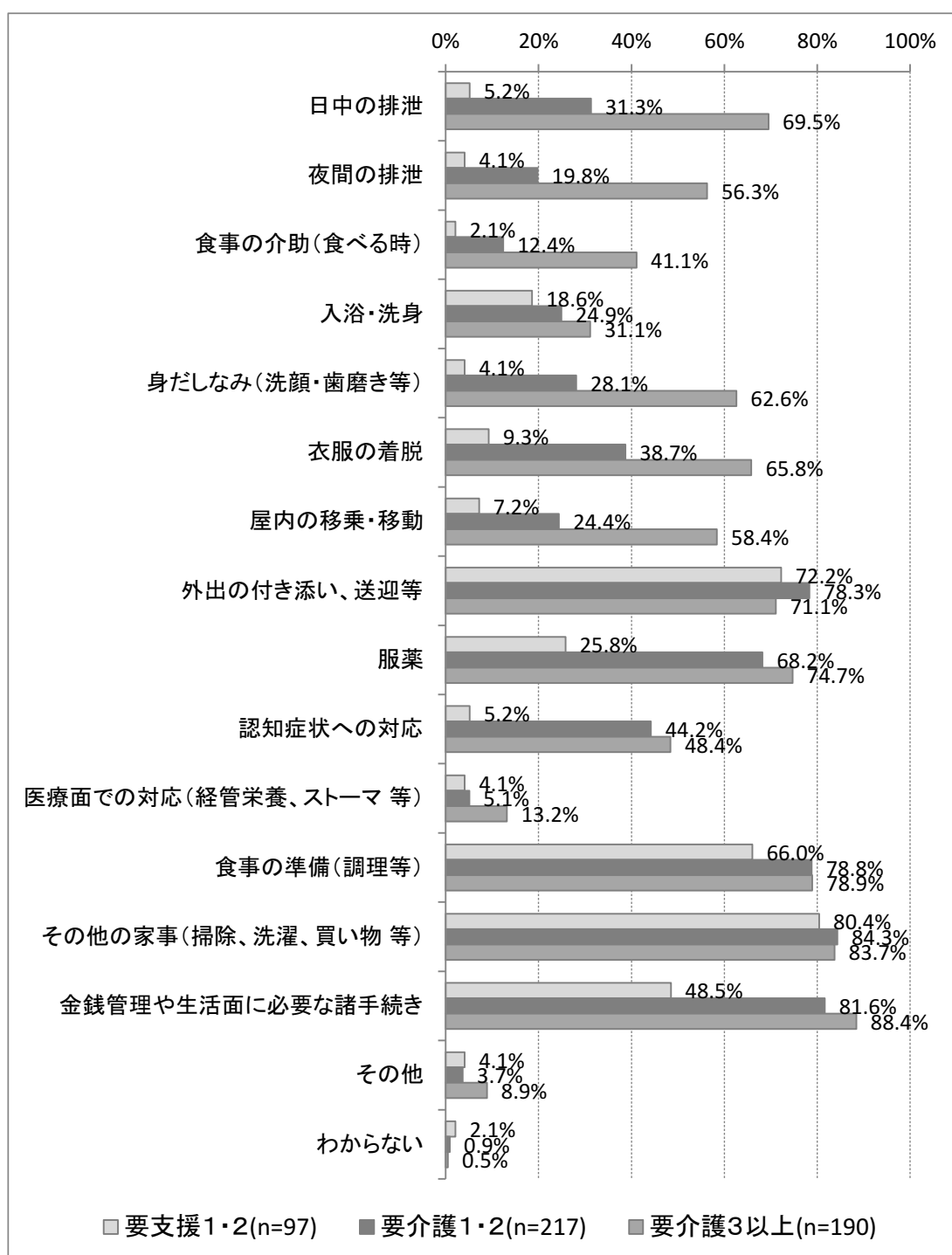
図表 2-18 勤務形態別・主な介護者が行っている介護等



要介護度別に主な介護者が行っている介護等をみると、要支援1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(80.4%)、「外出の付き添い、送迎等」(72.2%)、「食事の準備（調理等）」(66.0%)の順、要介護1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(84.3%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(81.6%)、「食事の準備（調理等）」(78.8%)の順、要介護3以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(88.4%)、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(83.7%)、「食事の準備（調理等）」(78.9%)の順となっています。

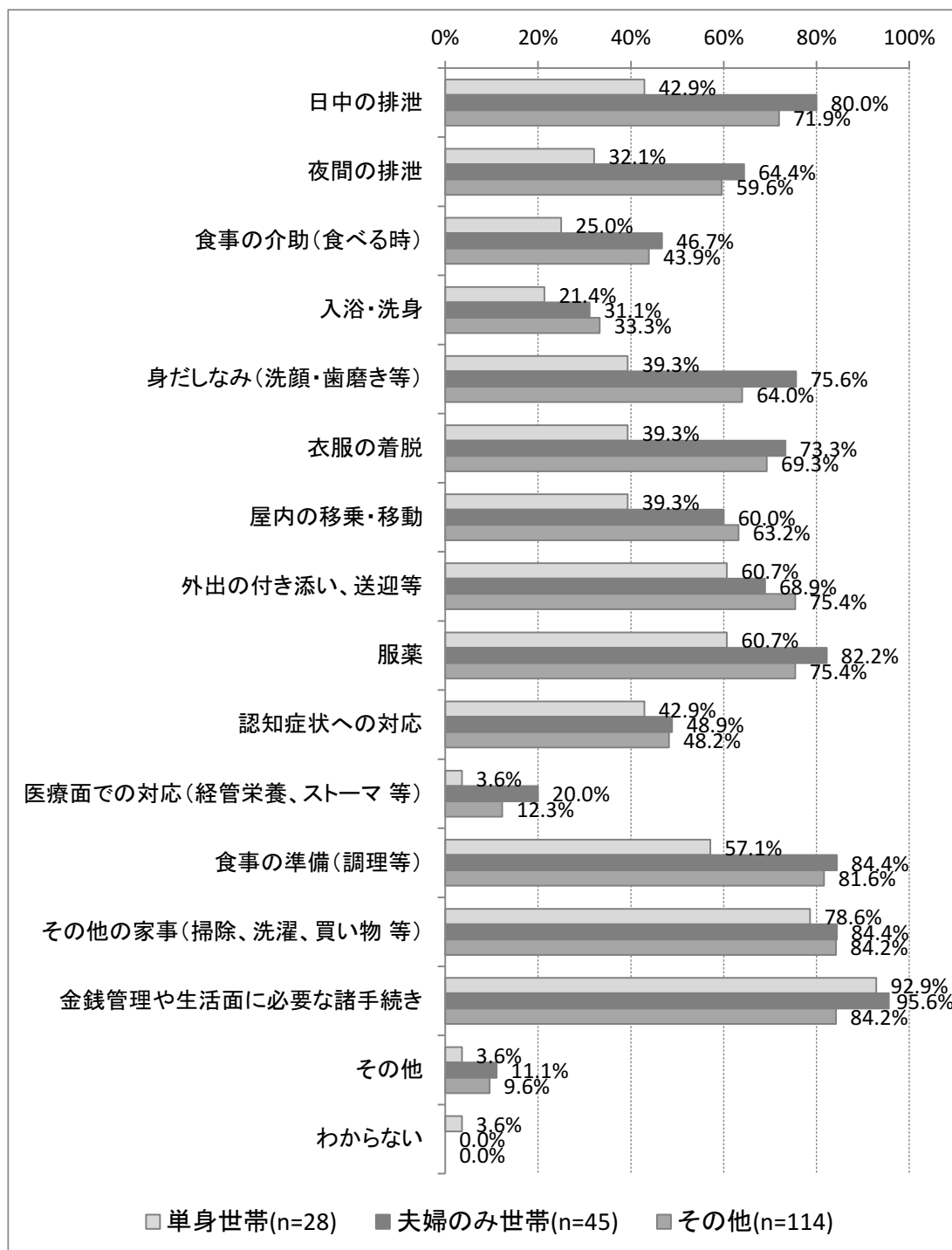
また、要介護度が重度になるにつれ、主な介護者が行っている介護等が多くなる傾向がみられます。

図表 2-19 要介護度別・主な介護者が行っている介護等



世帯類型別に主な介護者が行っている介護等をみると、単身世帯では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(92.9%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(78.6%)、「外出の付き添い、送迎等」「服薬」(60.7%)の順、夫婦のみ世帯では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(95.6%)、「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(84.4%)、「服薬」(82.2%)の順、その他世帯では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(84.2%)、「食事の準備(調理等)」(81.6%)、「外出の付き添い、送迎等」「服薬」(75.4%)の順となっています。

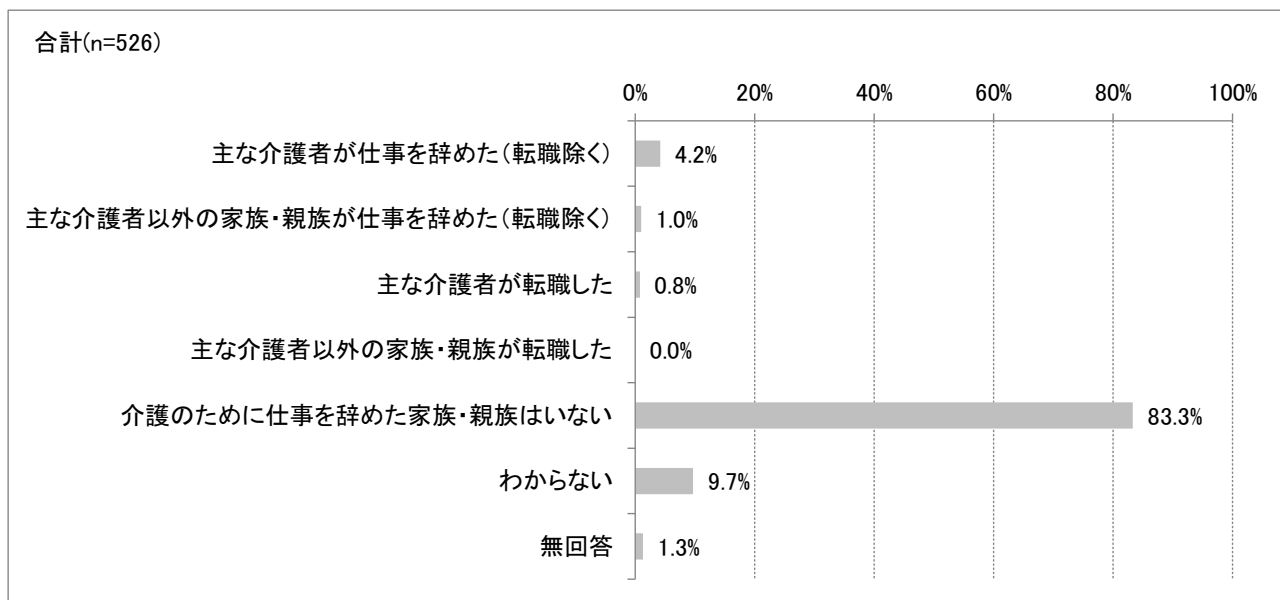
図表 2-20 世帯類型別・主な介護者が行っている介護等(要介護3以上)



(7) 介護のための離職の有無

介護を主な理由に仕事を辞めた家族や親族の有無（過去1年間）は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.3%を占めている一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.0%、「主な介護者が転職した」が0.8%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が0.0%、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.3%、「わからない」が9.7%、「無回答」が1.3%となっています。

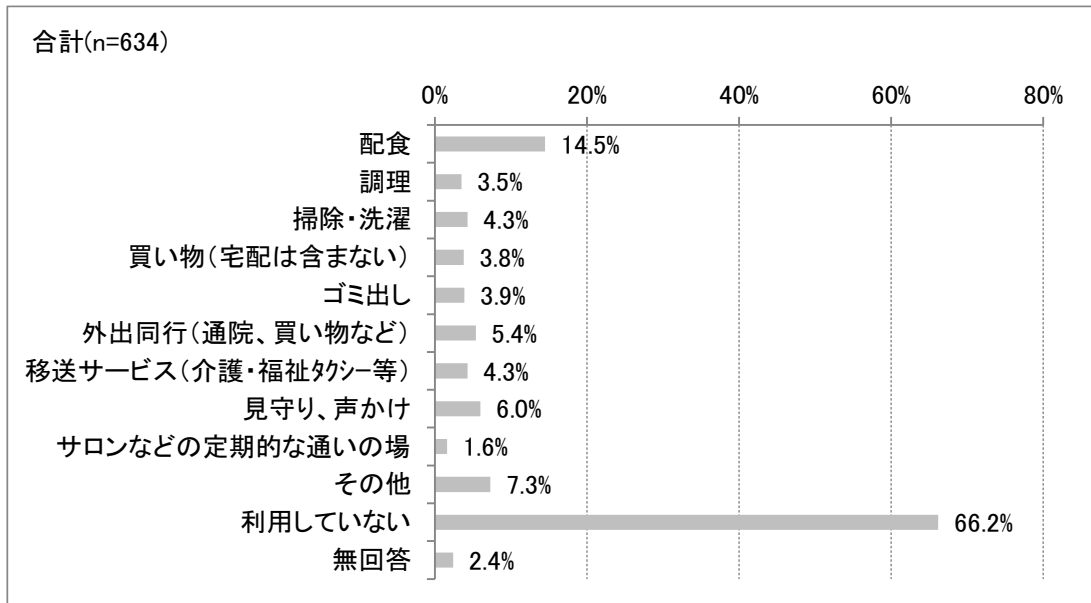
図表 2-21 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

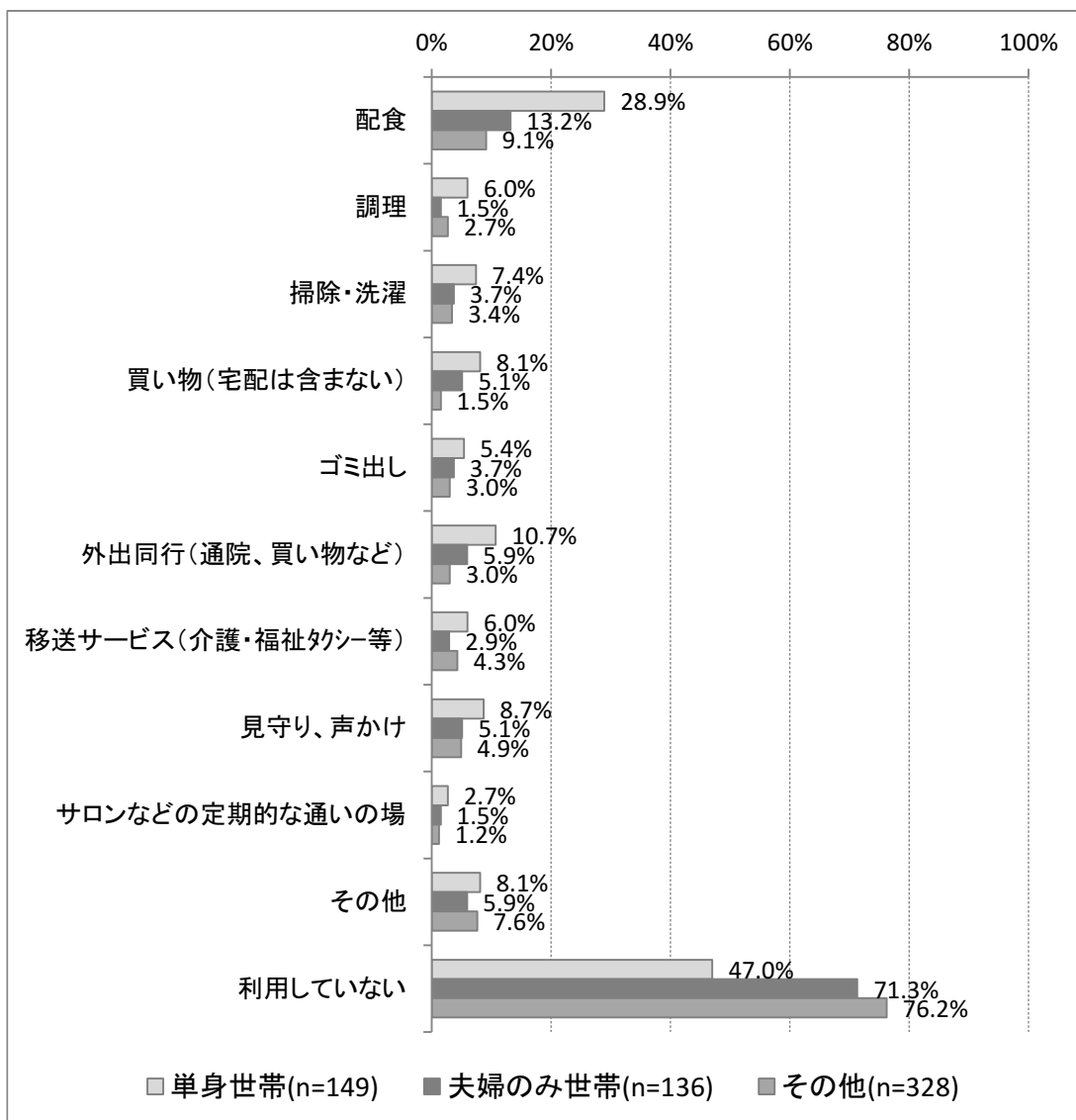
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が66.2%を占めています。利用している支援・サービスは「配食」が14.5%と最も多く、「その他」を除いて、「見守り、声かけ」が6.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が5.4%となっています。

図表 2-22 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



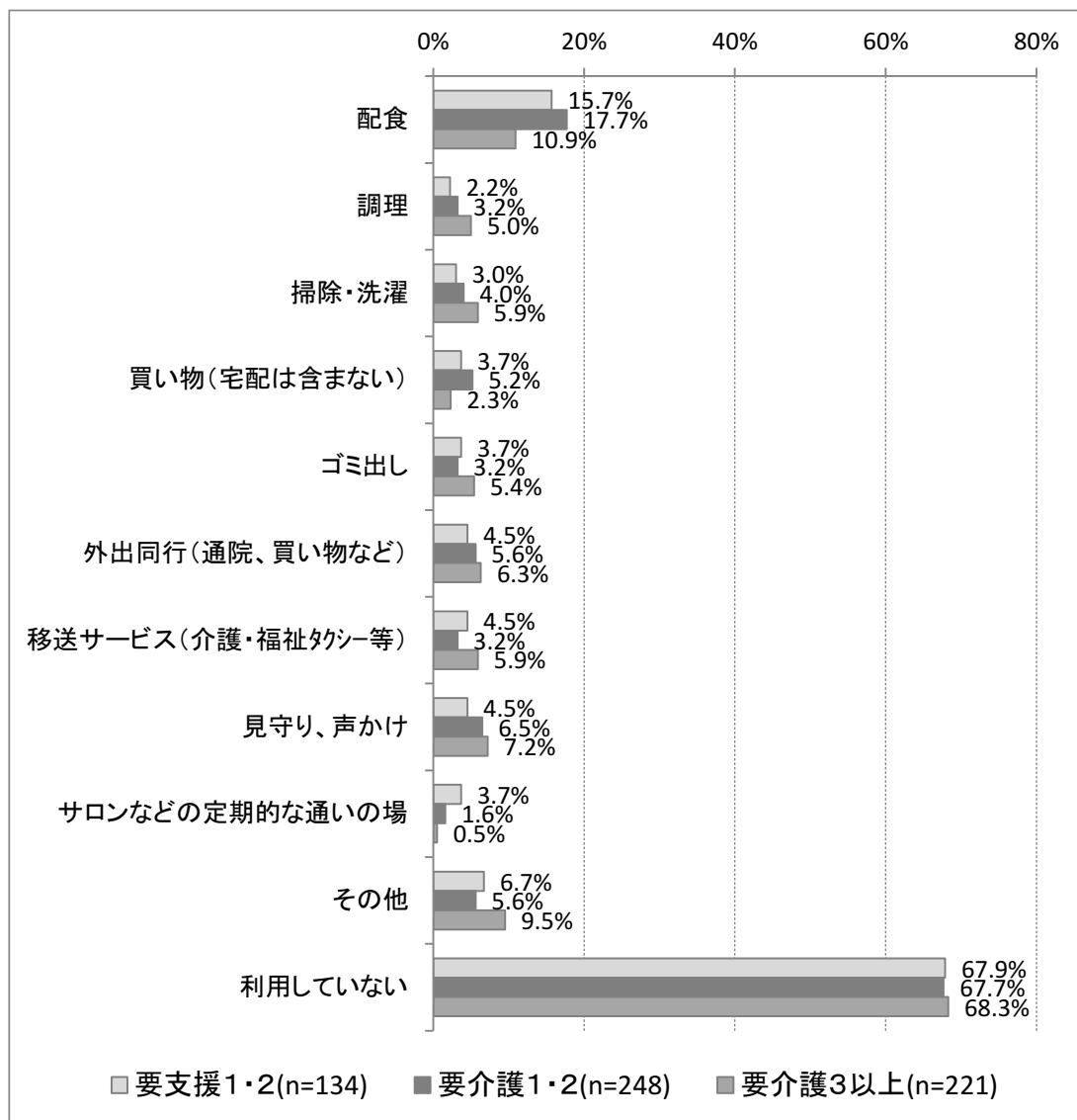
世帯類型別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの世帯においても「利用していない」が最も多くなっていますが、夫婦のみの世帯(71.3%)、その他世帯(76.2%)と比べ、単身世帯では47.0%と割合が低くなっています。利用している支援・サービスは、いずれの世帯類型においても「配食」が最も割合が高くなっています。

図表 2-23 世帯類型別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



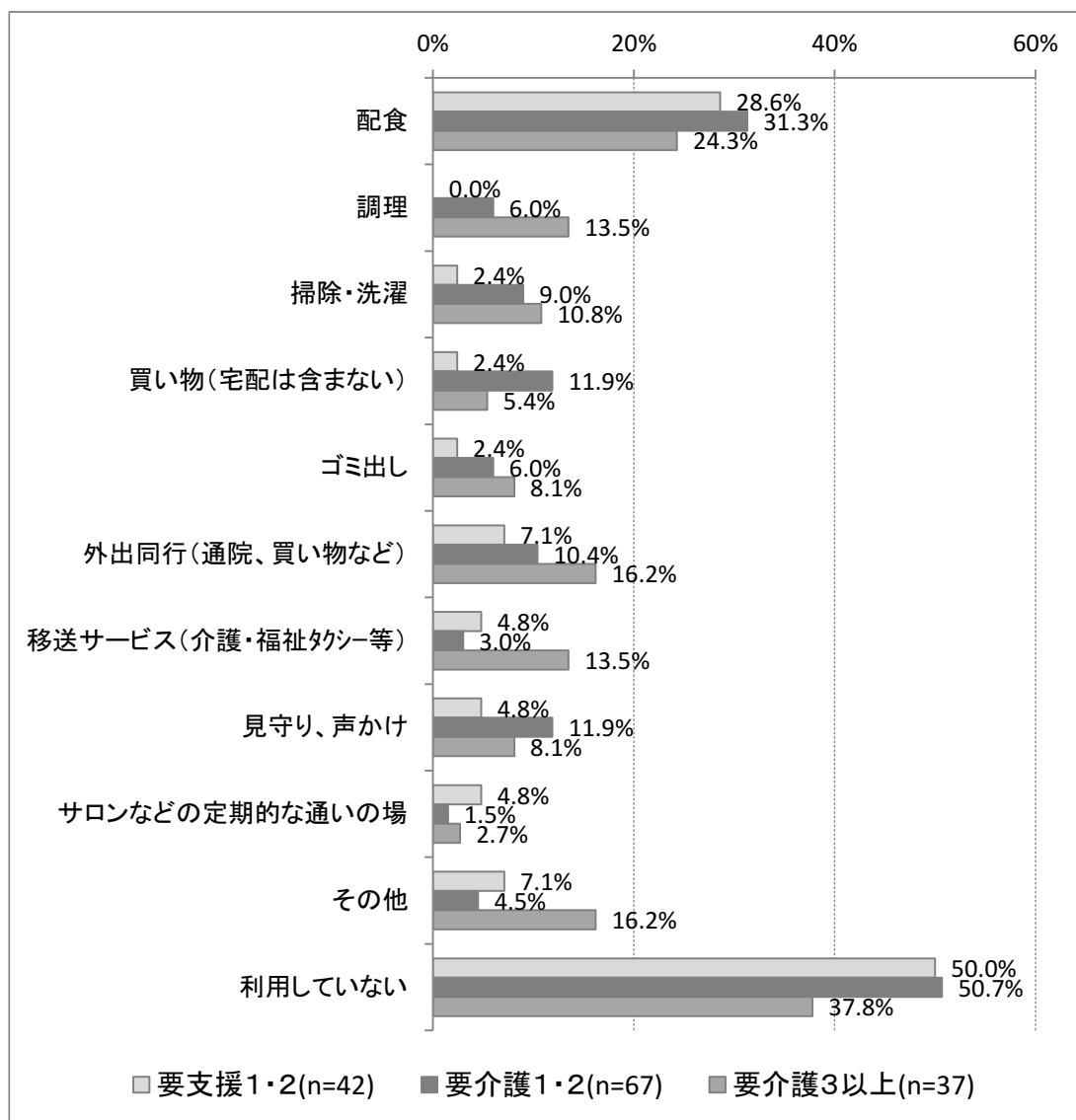
要介護度別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が65%以上と最も多くなっています。利用している支援・サービスは、いずれの要介護度においても「配食」が最も割合が高くなっています。

図表 2-24 要介護度別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



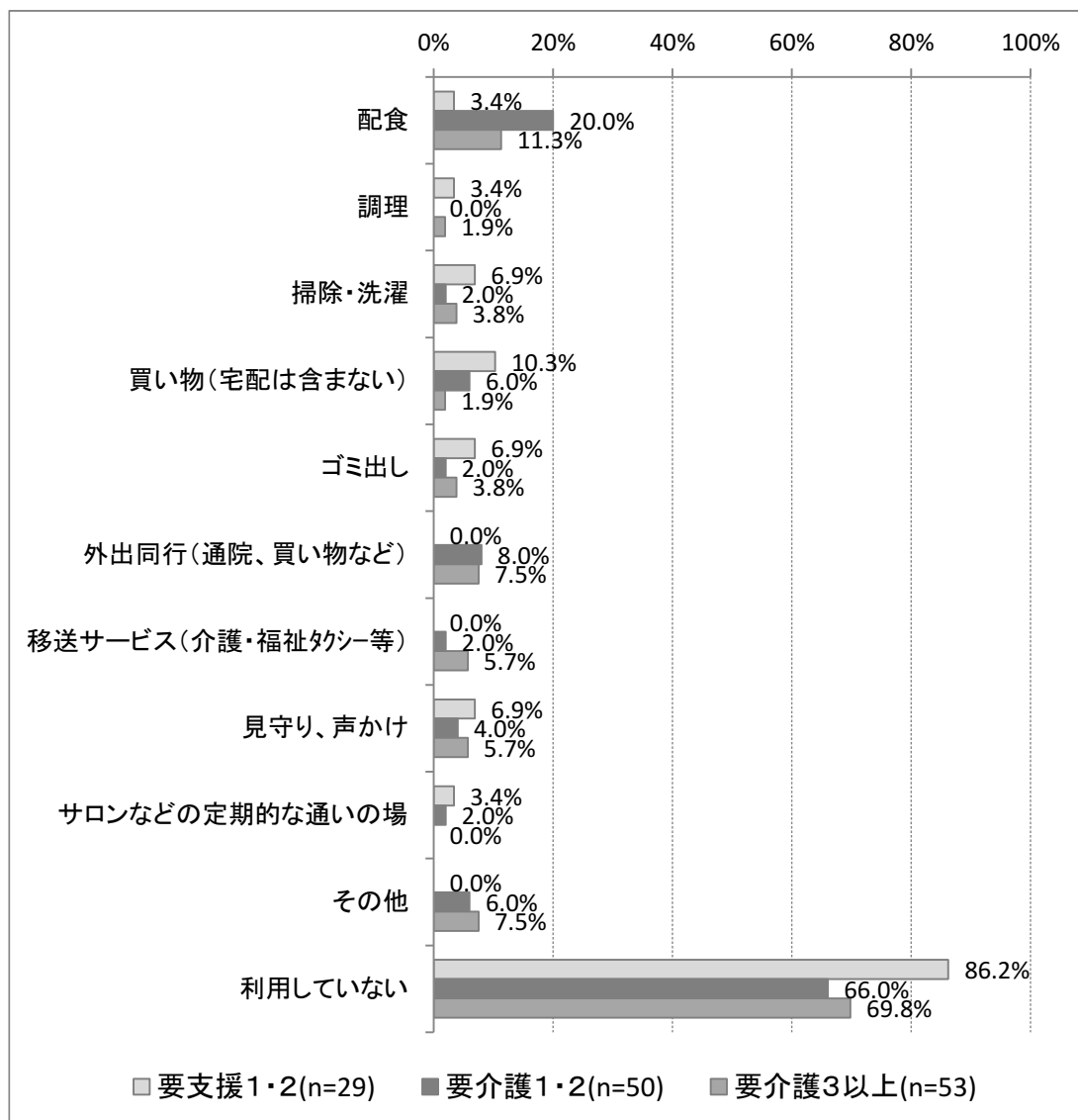
単身世帯で要介護度別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が最も多くなっています。利用している支援・サービスは、いずれの要介護度においても「配食」が約25～30%と最も割合が高くなっていますが、要介護1・2では他の要介護度と比べ、「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」が11.9%と高く、要介護3以上では他の要介護度と比べ、「外出同行（通院、買い物など）」が16.2%と高くなっています。

図表 2-25 要介護度別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



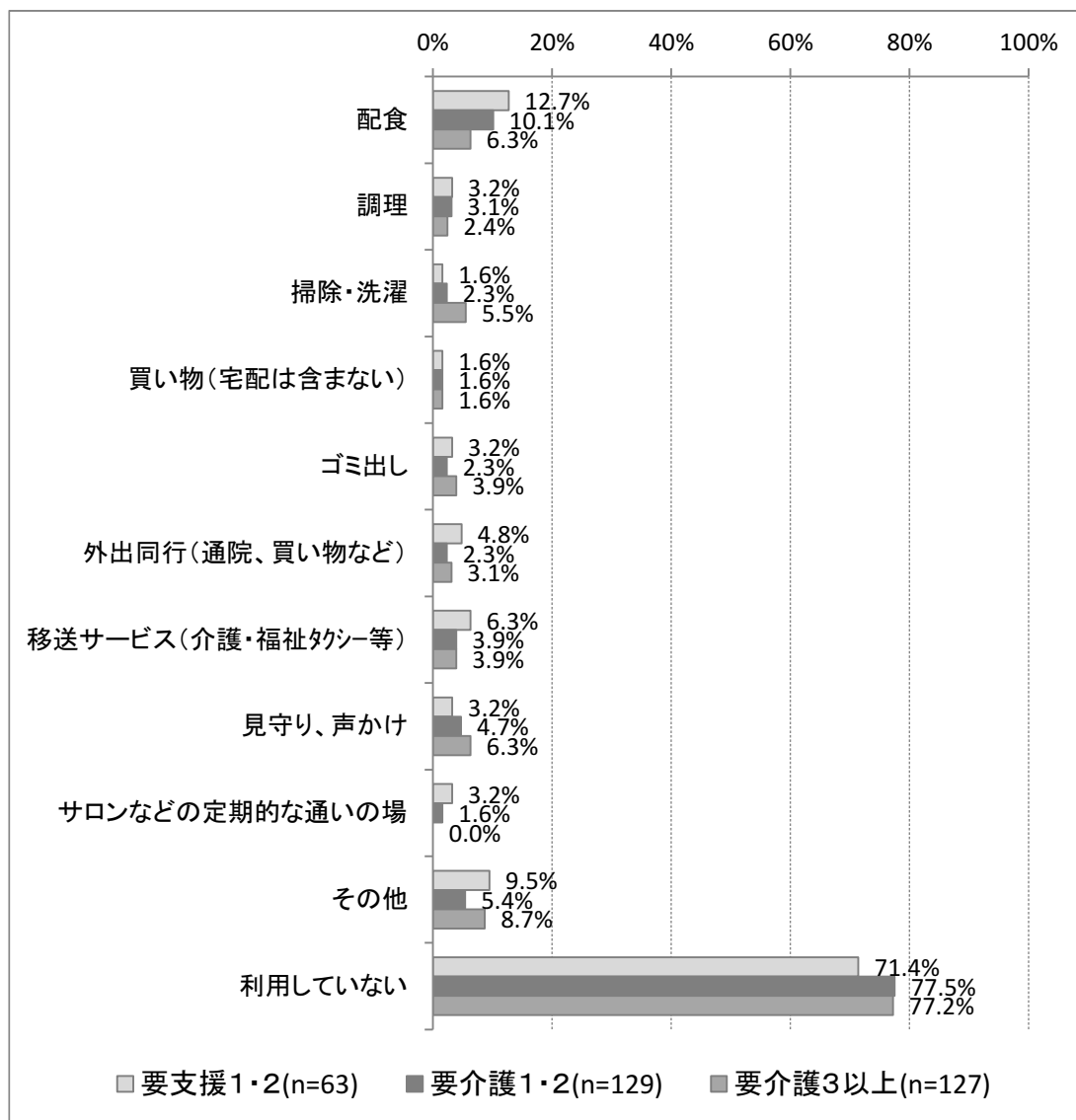
夫婦のみ世帯で要介護度別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が最も多くなっています。利用している支援・サービスは、要支援1・2では「買い物（宅配は含まない）」が10.3%、要介護1・2及び要介護3以上では「配食」がそれぞれ20.0%、11.3%と最も割合が高くなっています。

図表 2-26 要介護度別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



その他世帯で要介護度別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が最も多くなっています。利用している支援・サービスは、要支援1・2及び要介護1・2では「配食」がそれぞれ12.7%、10.1%、要介護3以上では「その他」を除いて、「配食」「見守り、声かけ」が6.3%と最も割合が高くなっています。

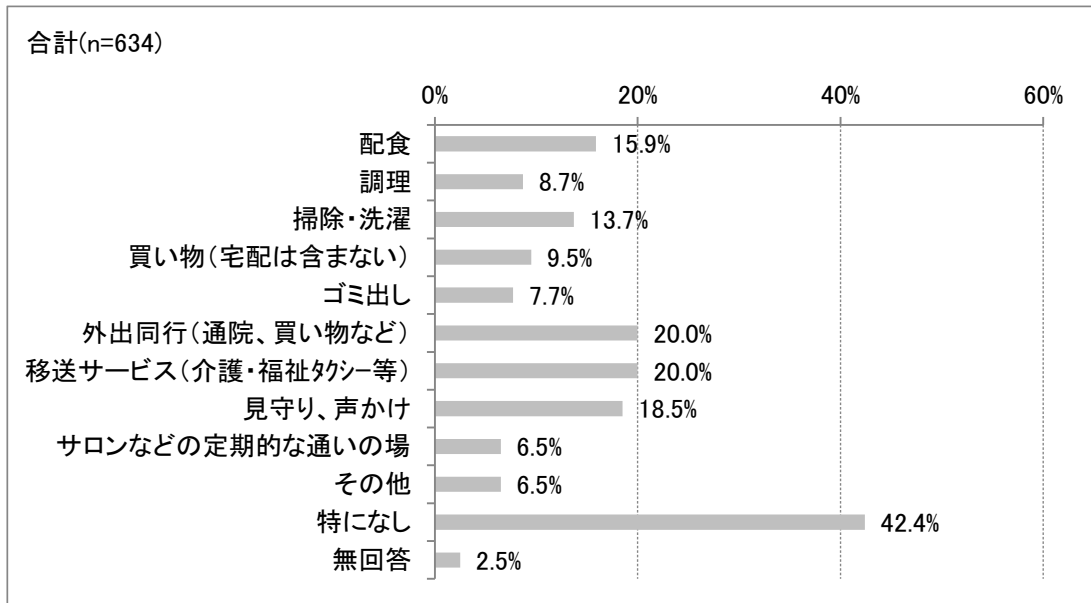
図表 2-27 要介護度別・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



(9) 在宅生活の継続のために必要な支援・サービス

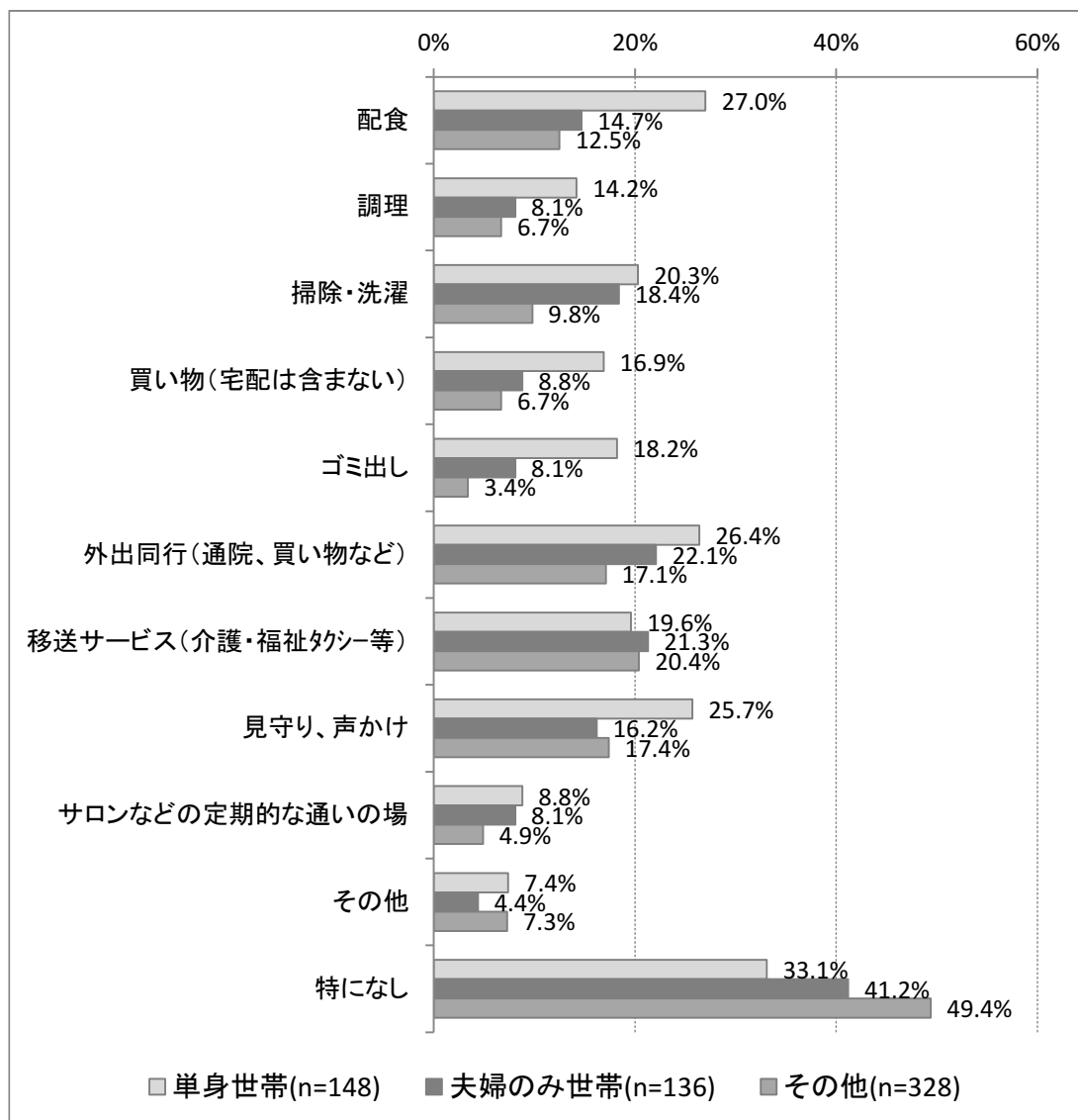
在宅生活の継続のために必要な支援・サービスについては、「特になし」が42.4%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.0%、「見守り、声かけ」が18.5%、「配食」が15.9%、「掃除・洗濯」が13.7%となっています。

図表 2-28 在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（複数回答）



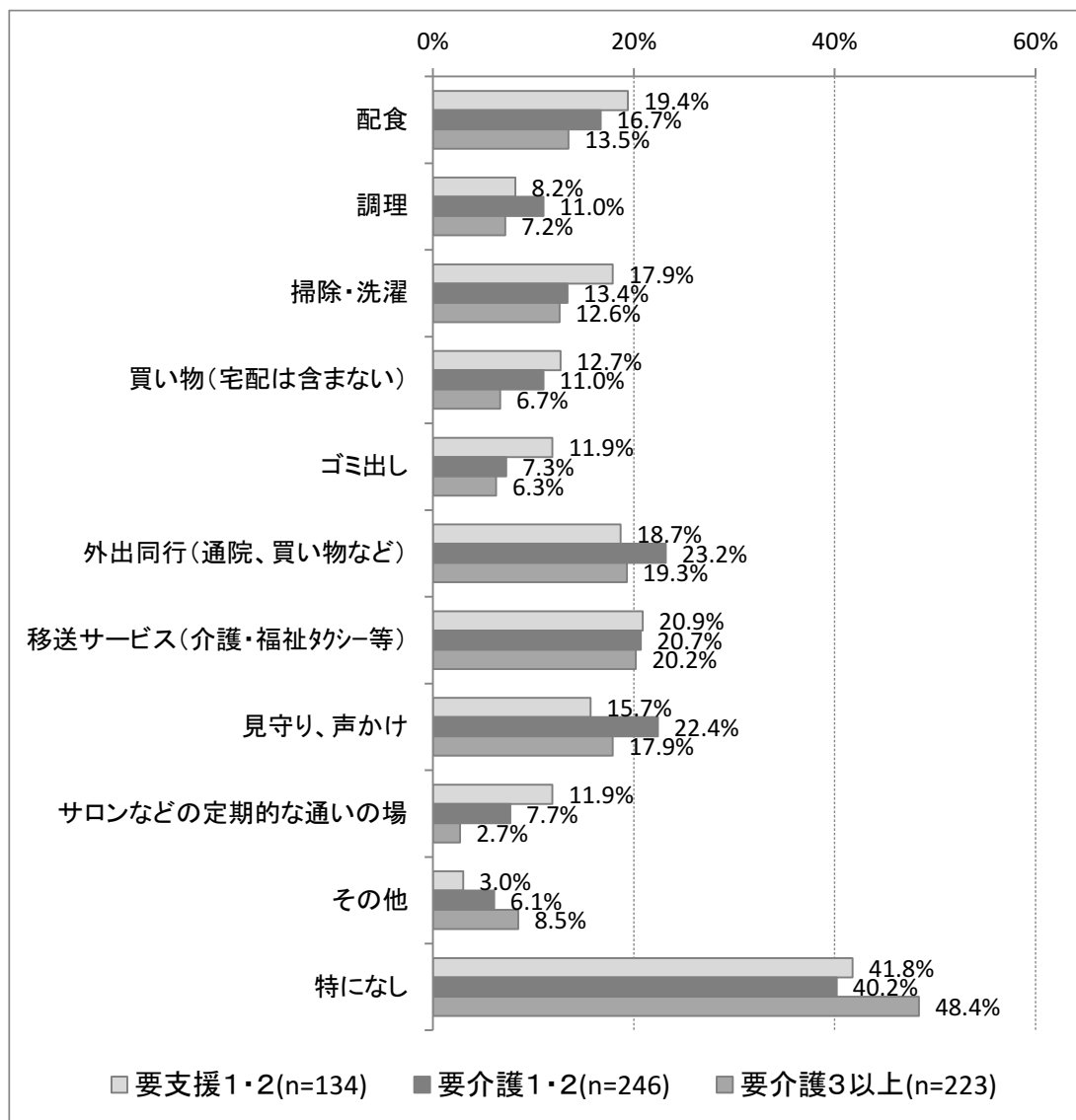
世帯類型別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの世帯においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、単身世帯では「配食」が27.0%、夫婦のみ世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が22.1%、その他世帯では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.4%と最も割合が高くなっています。

図表 2-29 世帯類型別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス



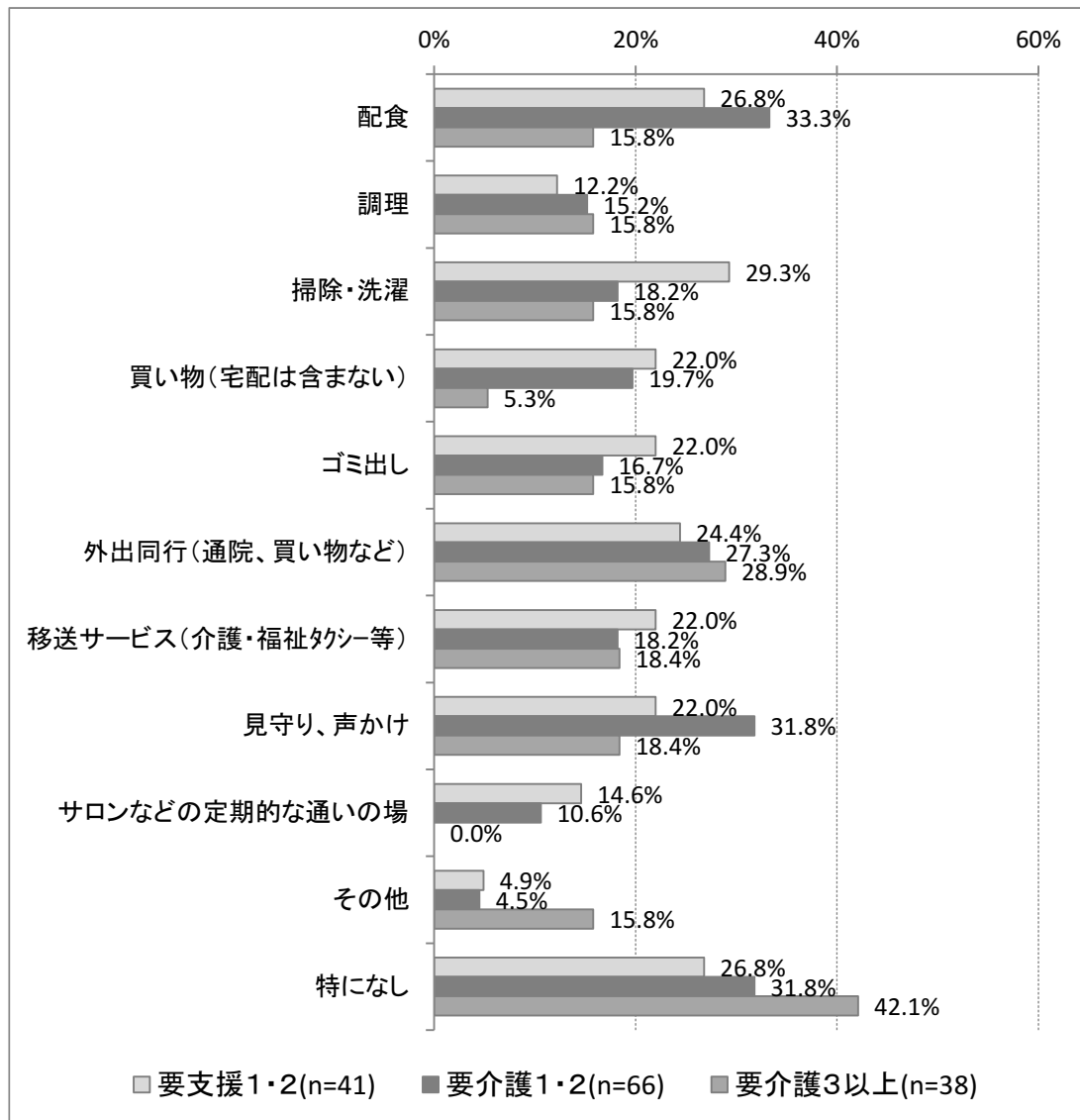
要介護度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの要介護度においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、要支援1・2では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.9%、要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が23.2%、要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.2%と最も割合が高くなっています。

図表 2-30 要介護度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス



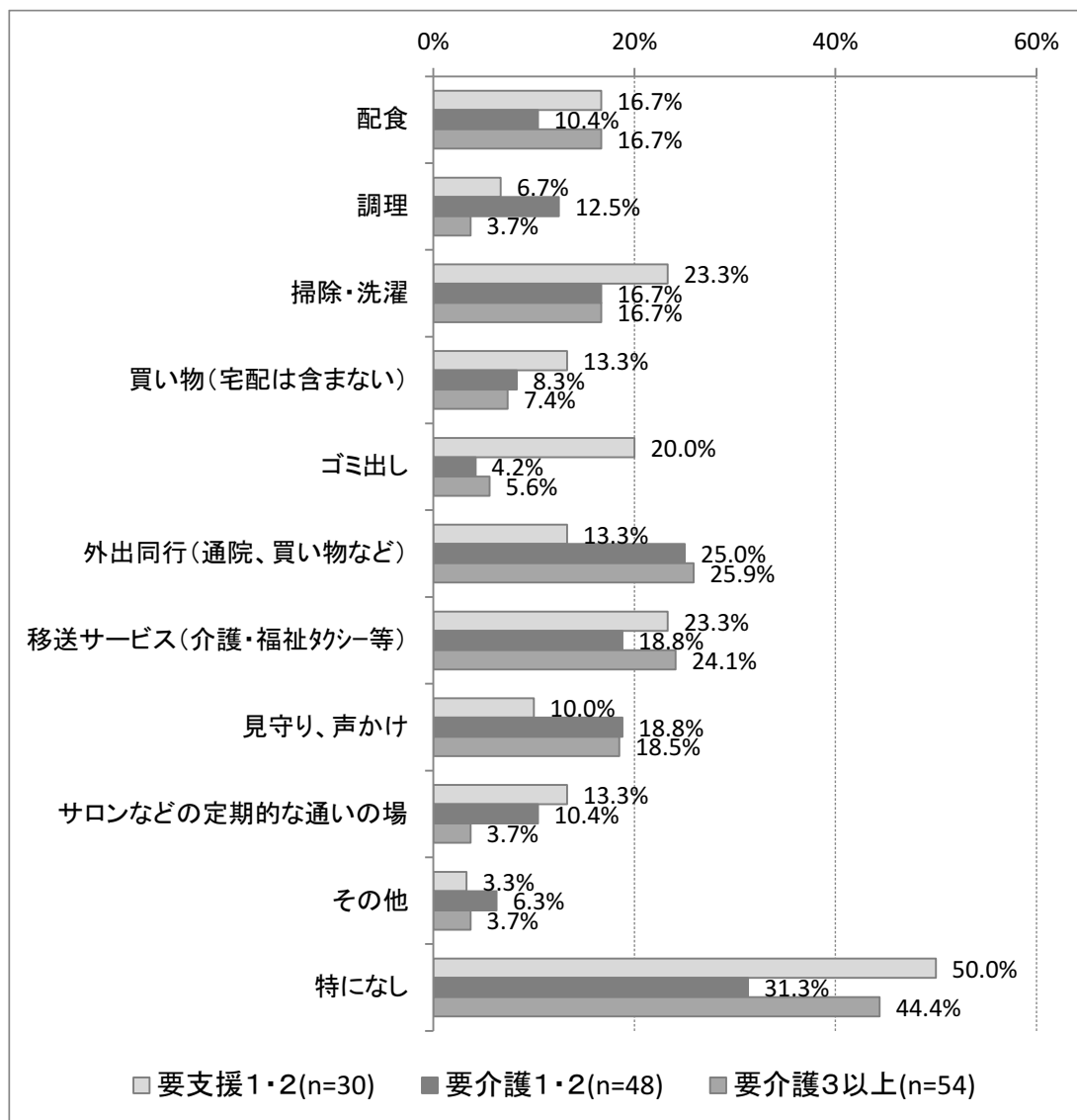
単身世帯で要介護度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、要支援1・2では「掃除・洗濯」が29.3%と最も多く、次いで「配食」「特になし」が26.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.4%となっています。要介護1・2では「配食」が33.3%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」「特になし」が31.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が27.3%となっています。要介護3以上では「特になし」が42.1%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が18.4%となっています。

図表 2-31 要介護度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（単身世帯）



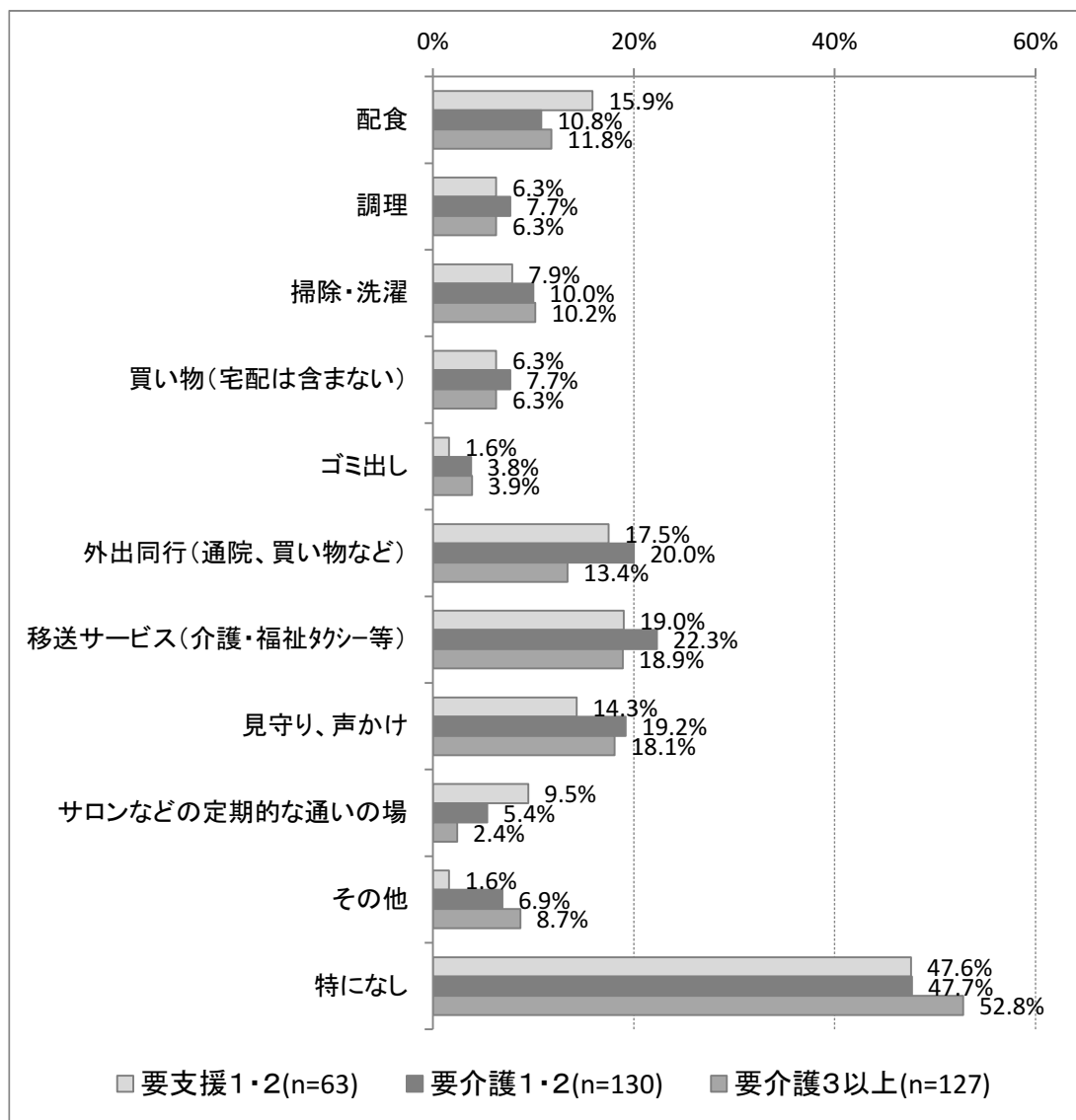
夫婦のみ世帯で要介護度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの要介護度においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、要支援1・2では「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.3%、要介護1・2及び要介護3以上では「外出同行（通院、買い物など）」（それぞれ25.0%、25.9%）が最も多くなっています。

図表 2-32 要介護度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（夫婦のみ世帯）



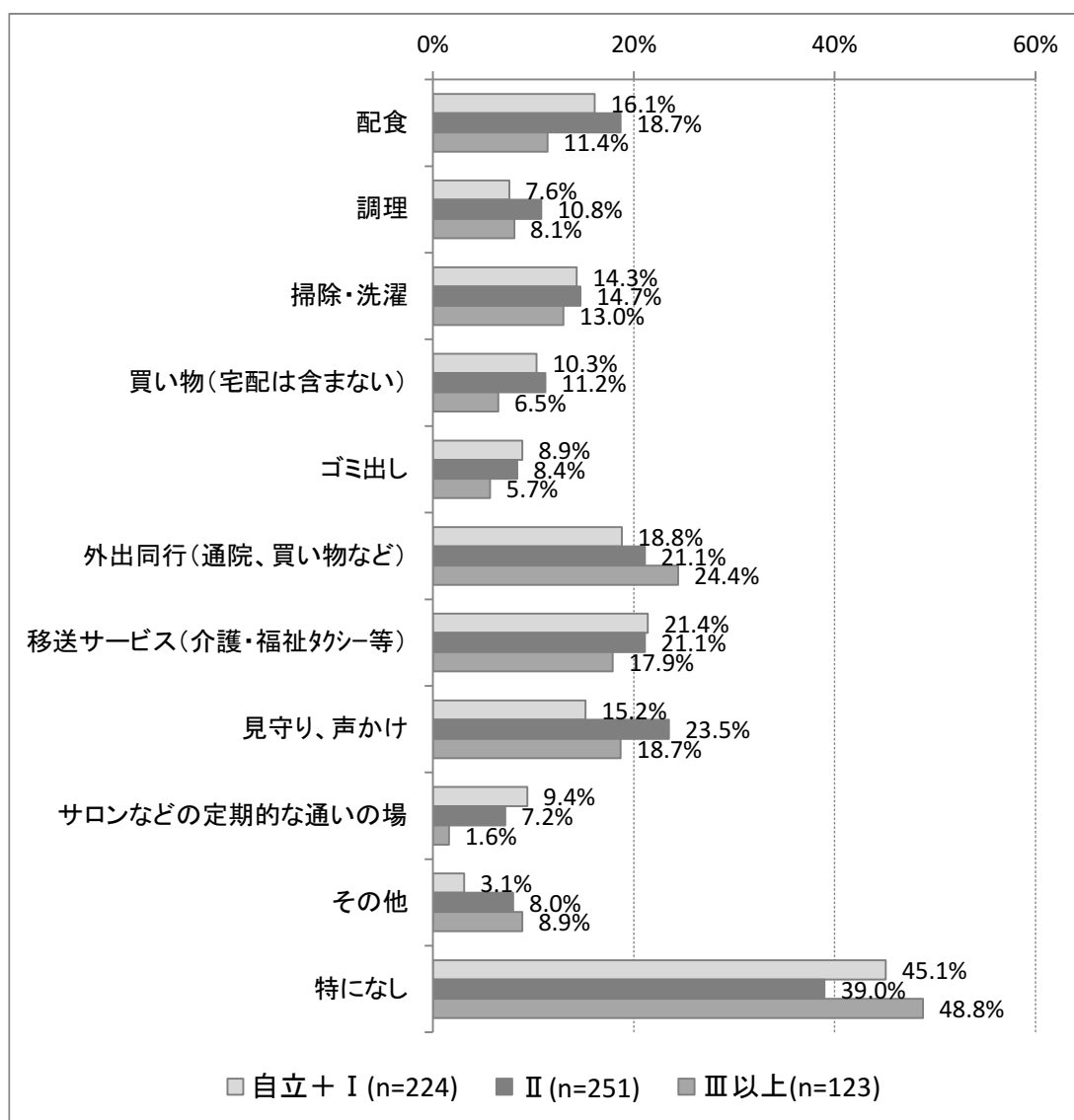
その他世帯で要介護度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの要介護度においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、いずれの要介護度においても「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。

図表 2-33 要介護度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（その他世帯）



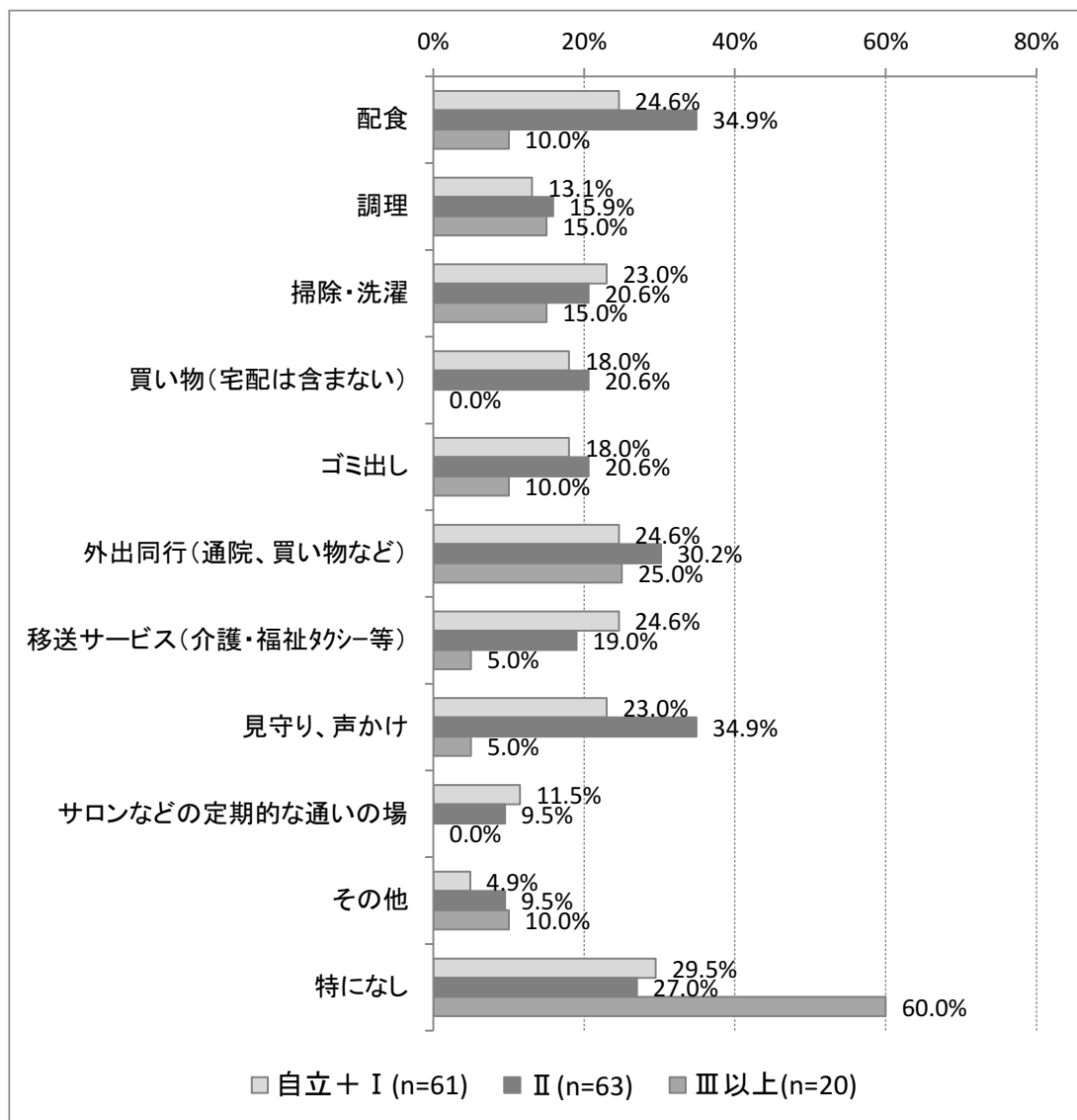
認知症自立度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの認知症自立度においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、自立+Ⅰでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.4%、Ⅱでは「見守り、声かけ」が23.5%、Ⅲ以上では「外出同行（通院、買い物など）」が24.4%と最も多くなっています。

図表 2-34 認知症自立度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス



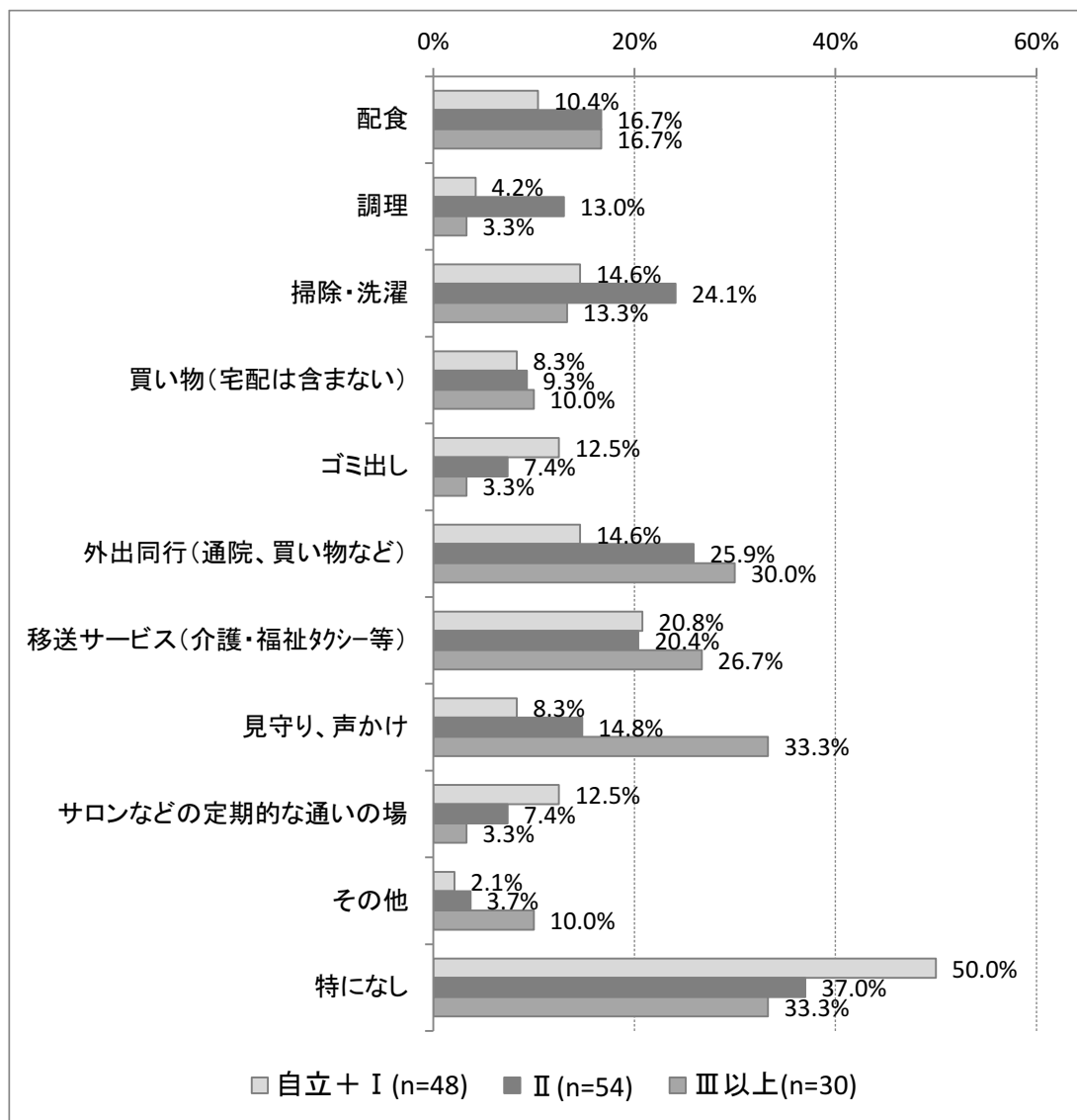
単身世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、自立+Ⅰ及びⅢ以上は「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、自立+Ⅰでは「配食」「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.6%、Ⅱでは「配食」「見守り、声かけ」が34.9%、Ⅲ以上では「外出同行（通院、買い物など）」が25.0%と最も多くなっています。

図表 2-35 認知症自立度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（単身世帯）



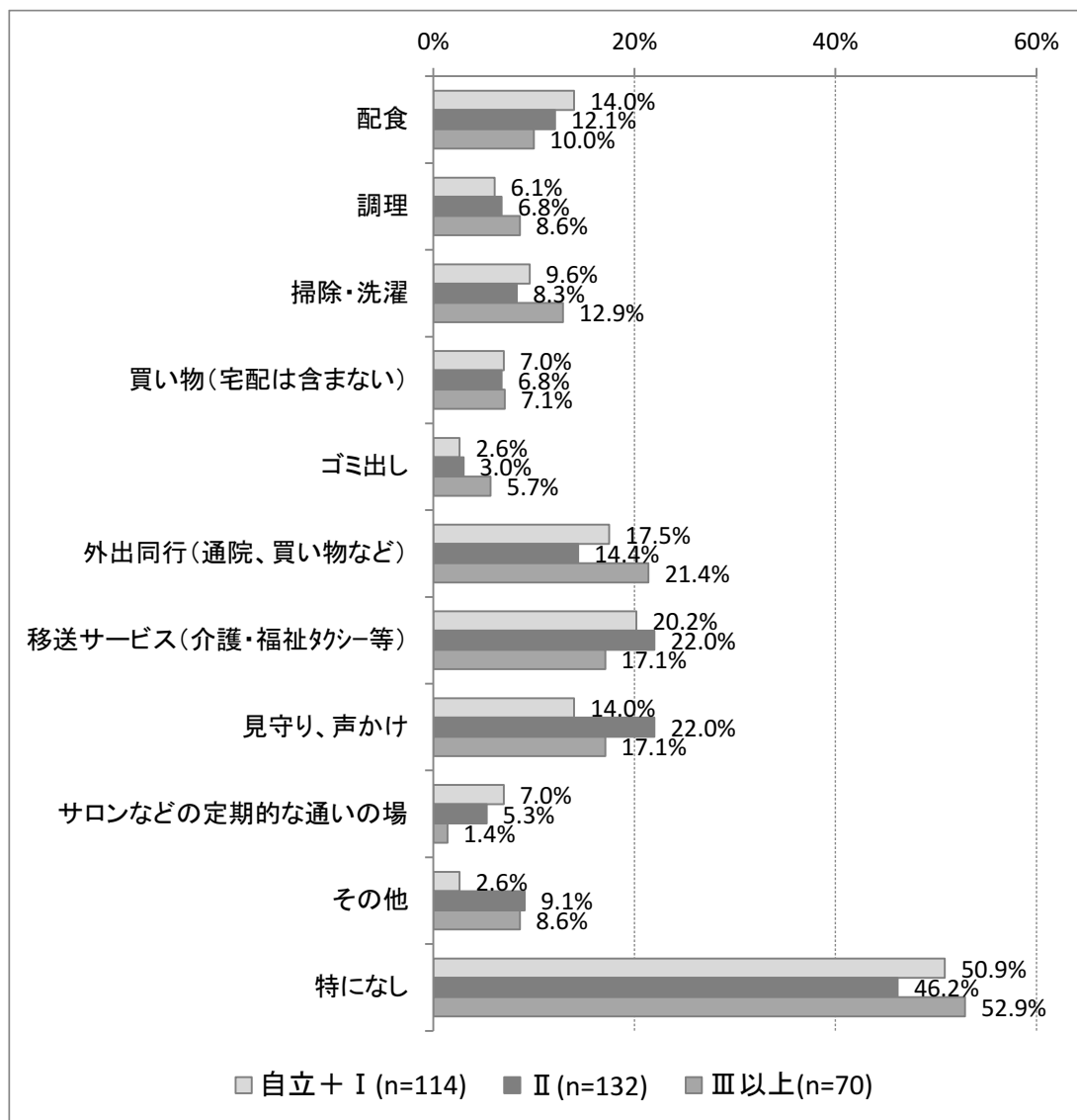
夫婦のみ世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの認知症自立度別においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、自立+Ⅰでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.8%、Ⅱでは「外出同行（通院、買い物など）」が25.9%、Ⅲ以上では「見守り、声かけ」が33.3%と最も多くなっています。

図表 2-36 認知症自立度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（夫婦のみ世帯）



その他世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続のために必要な支援・サービスをみると、いずれの認知症自立度においても「特になし」が最も多くなっています。在宅生活の継続のために必要な支援・サービスは、自立+Ⅰでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.2%、Ⅱでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が22.0%、Ⅲ以上では「外出同行（通院、買い物など）」が21.4%と最も多くなっています。

図表 2-37 認知症自立度別・在宅生活の継続のために必要な支援・サービス（その他世帯）



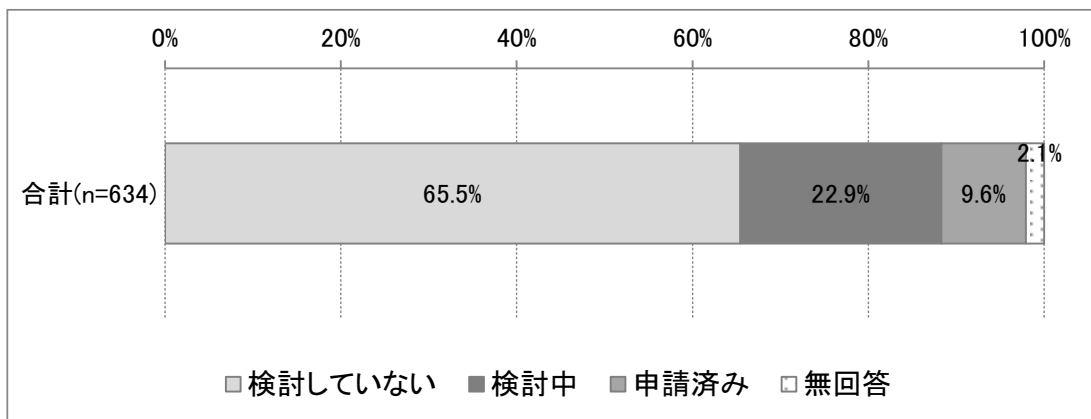
(10) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況については、「検討していない」が65.5%、「検討中」が22.9%、「申請済み」が9.6%となっています。

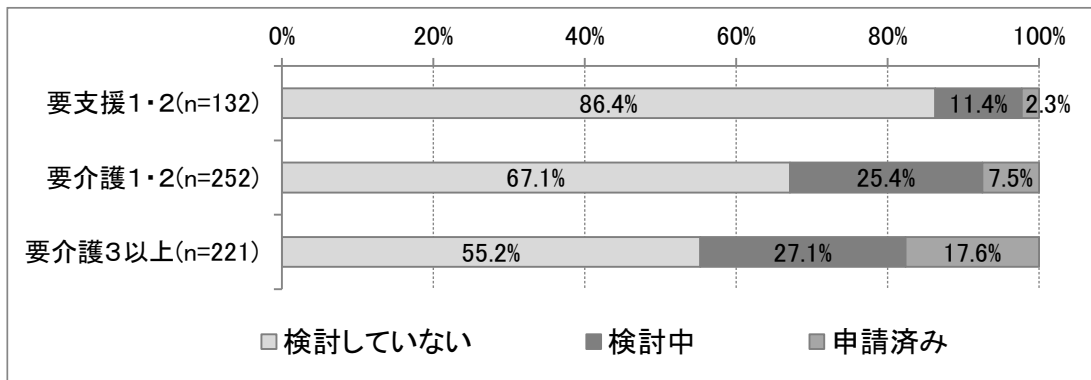
要介護度別に施設等への入所・入居の検討状況を見ると、要介護度が重度になるにつれ「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

世帯類型別に施設等への入所・入居の検討状況を見ると、世帯類型による大きな違いは見られません。

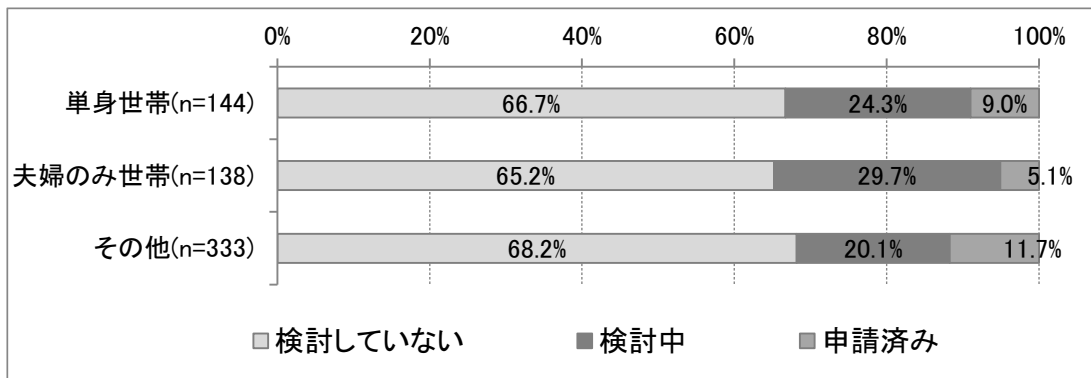
図表 2-38 施設等への入所・入居の検討状況（単数回答）



図表 2-39 要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況



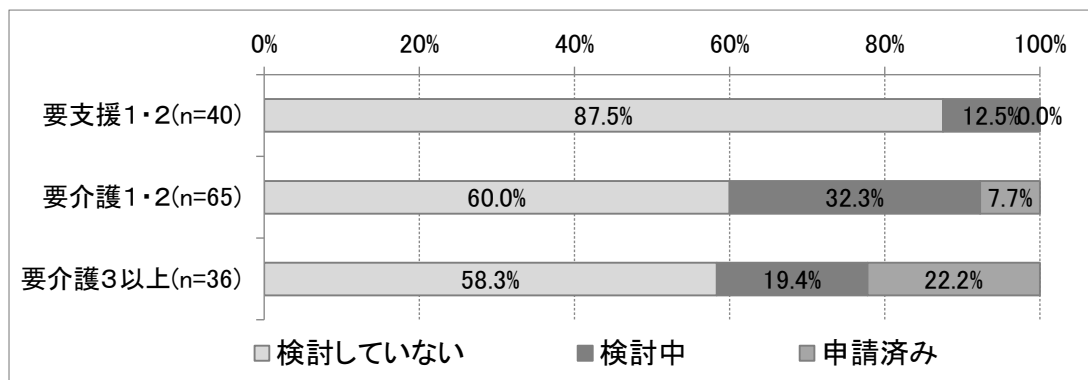
図表 2-40 世帯類型別・施設等への入所・入居の検討状況



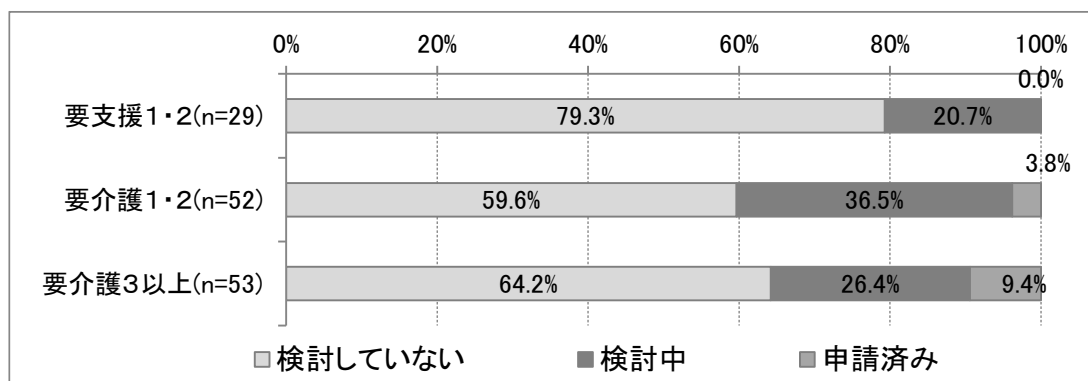
世帯類型別で要介護度別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、単身世帯及び夫婦のみ世帯では要介護度1以上で「検討中」「申請済み」が約40%を占めており、その他世帯では要介護3以上で「検討中」「申請済み」が40%以上を占めています。

また、いずれの世帯においても、要支援1・2では「検討していない」の割合が高くなっています。

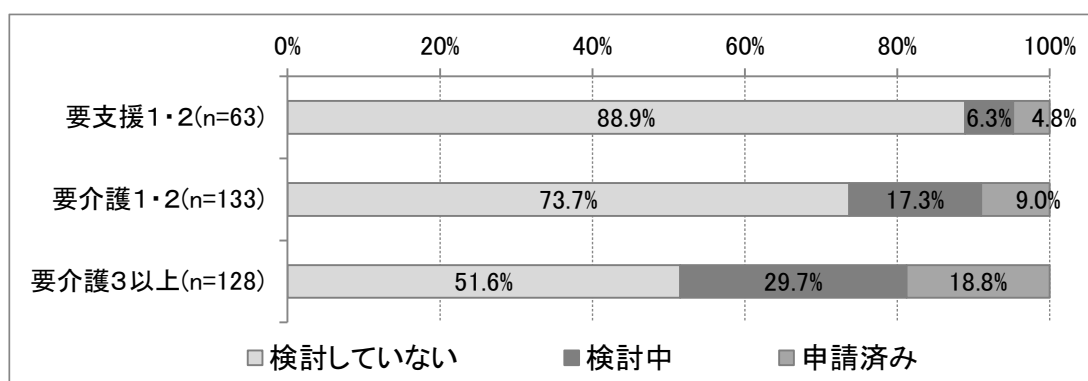
図表 2-41 要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況（単身世帯）



図表 2-42 要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況（夫婦のみ世帯）



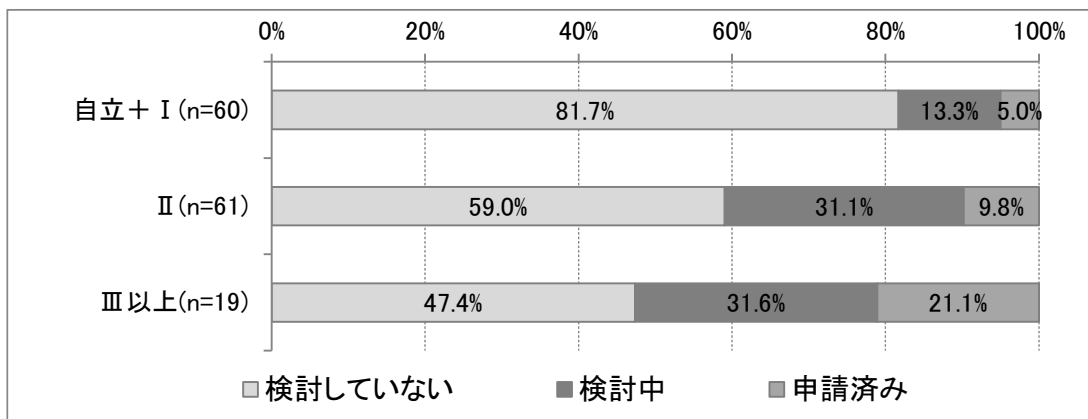
図表 2-43 要介護度別・施設等への入所・入居の検討状況（その他世帯）



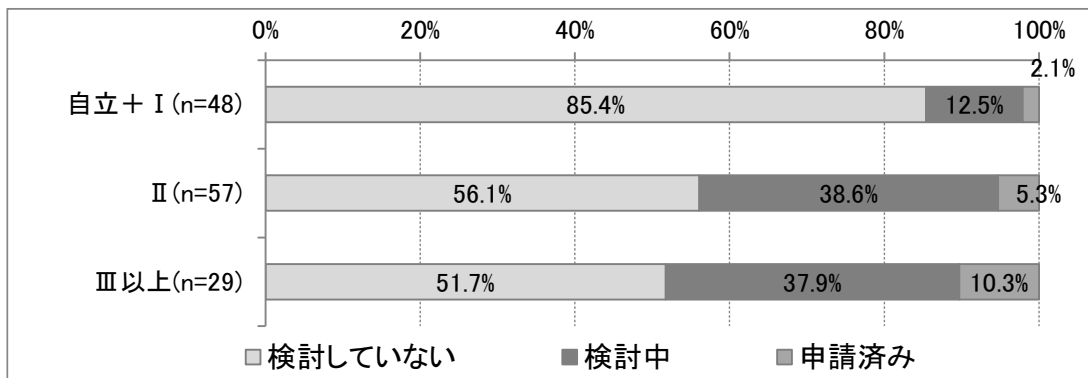
世帯類型別で認知症自立度別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、単身世帯及び夫婦のみ世帯ではⅡ以上で「検討中」「申請済み」が40%以上を占め、その他世帯ではⅢ以上で「検討中」「申請済み」が55%以上を占めています。

また、いずれの世帯においても、自立+Ⅰでは「検討していない」の割合が高くなっています。

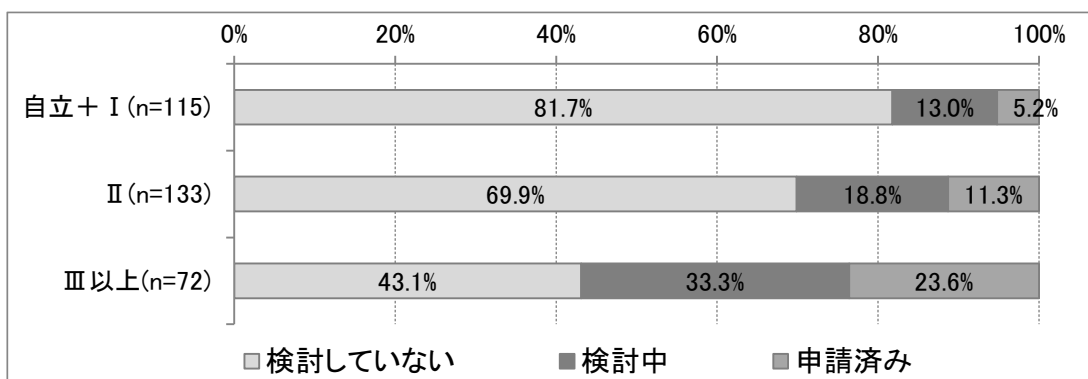
図表 2-44 認知症自立度別・施設等への入所・入居の検討状況（単身世帯）



図表 2-45 認知症自立度別・施設等への入所・入居の検討状況（夫婦のみ世帯）



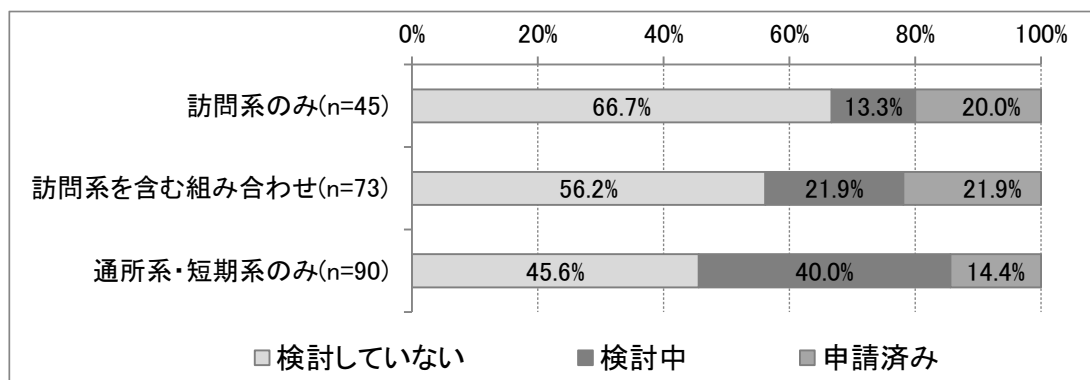
図表 2-46 認知症自立度別・施設等への入所・入居の検討状況（その他世帯）



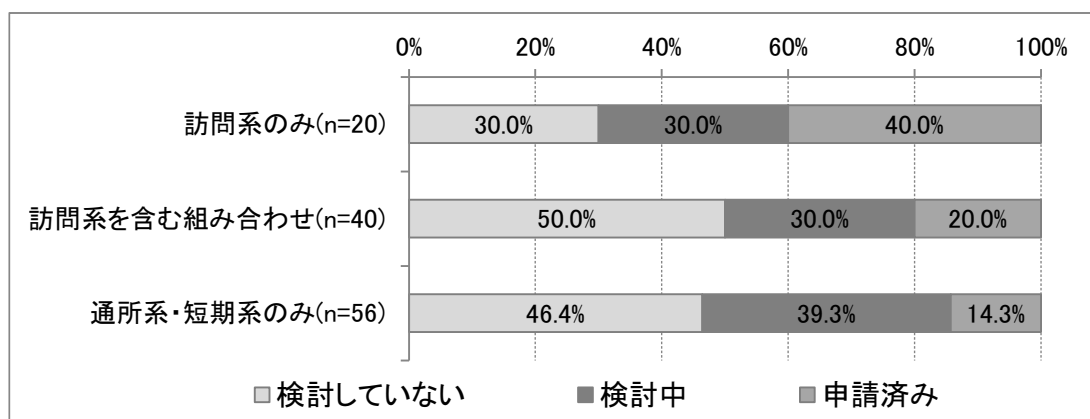
要介護3以上の要介護認定者でサービス利用の組み合わせ別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、通所系・短期系のみを利用している人で「検討中」「申請済み」が54.4%と高くなっています。

認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者でサービス利用の組み合わせ別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、訪問系のみを利用している人で「検討中」「申請済み」が70.0%、訪問系を含む組み合わせを利用している人で「検討中」「申請済み」が50.0%、通所系・短期系のみを利用している人で「検討中」「申請済み」が53.6%となっています。

図表 2-47 サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）



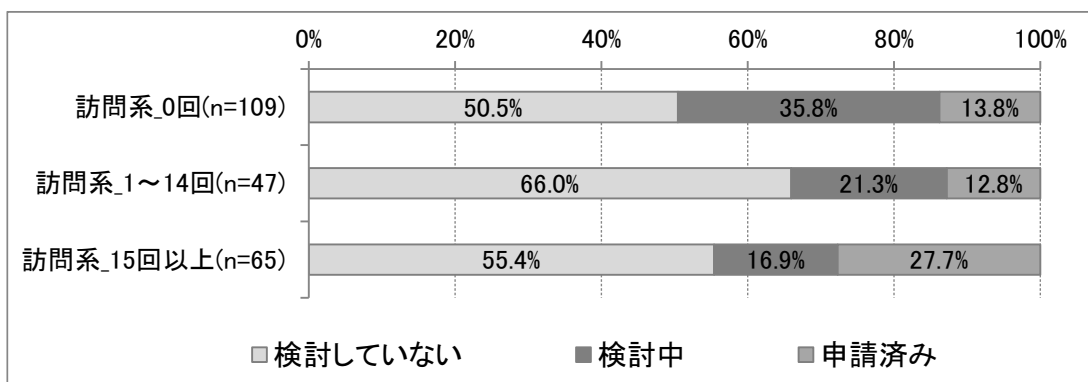
図表 2-48 サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度Ⅲ以上）



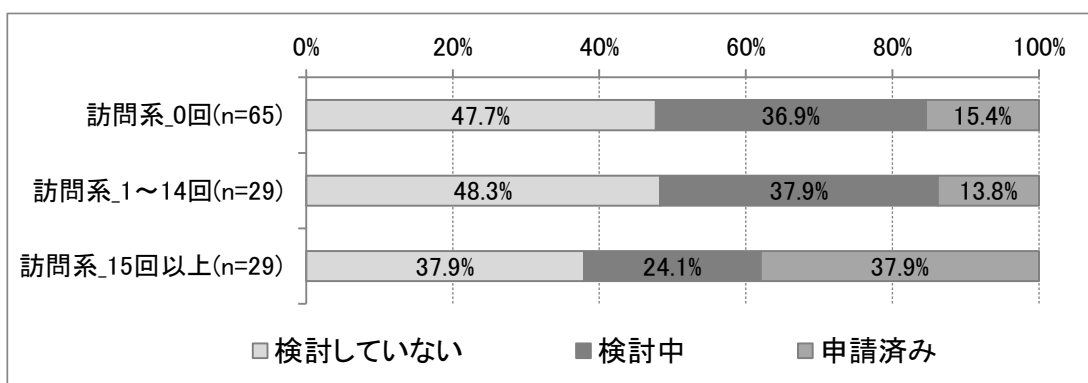
要介護3以上の要介護認定者で訪問系サービスの利用回数別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、利用回数1～14回では他の利用回数と比べ「検討していない」の割合が高くなっています。

また、認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、訪問系サービスの利用回数別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、利用回数15回以上では「検討中」「申請済み」が62.0%と高くなっています。

図表 2-49 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（訪問系、要介護3以上）



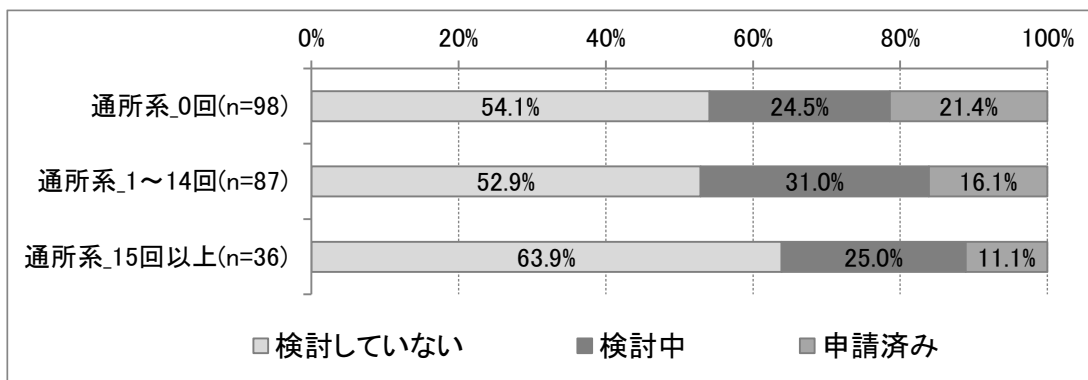
図表 2-50 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（訪問系、認知症自立度Ⅲ以上）



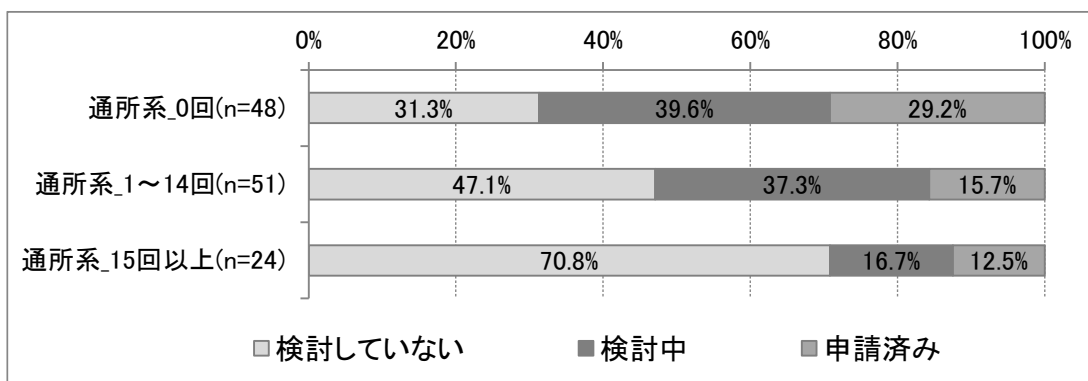
要介護3以上の要介護認定者で通所系サービスの利用回数別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、利用回数15回以上で「検討していない」の割合が高くなっています。

また、認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で通所サービスの利用回数別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、利用回数が多くなるにつれ「検討していない」の割合が高くなる傾向が見られます。

図表 2-51 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（通所系、要介護3以上）

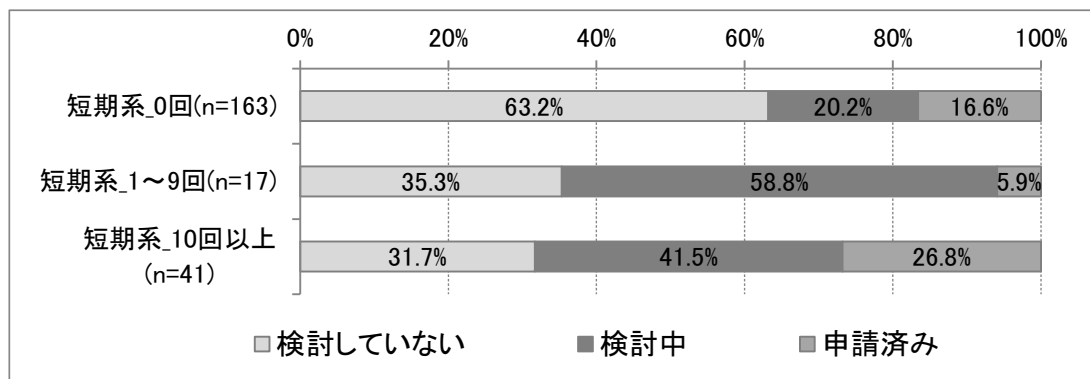


図表 2-52 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（通所系、認知症自立度Ⅲ以上）

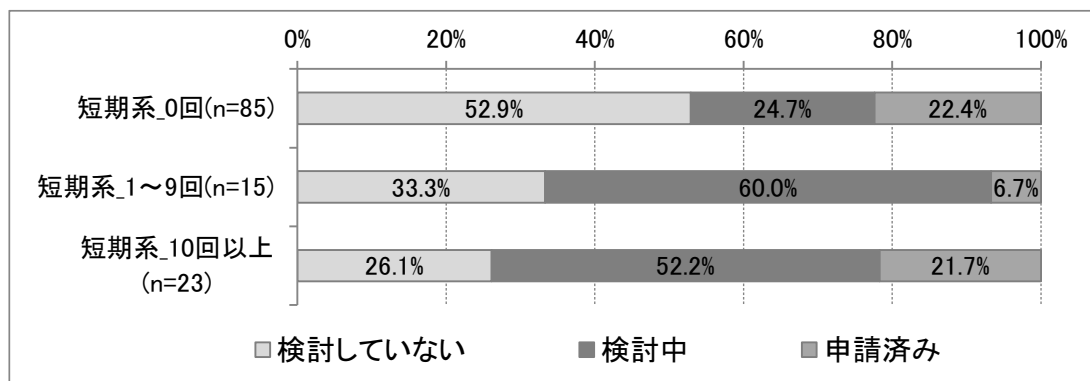


要介護3以上及び認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で短期系サービスの利用回数別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、利用回数が多くなるにつれ「検討中」「申請済み」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 2-53 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（短期系、要介護3以上）

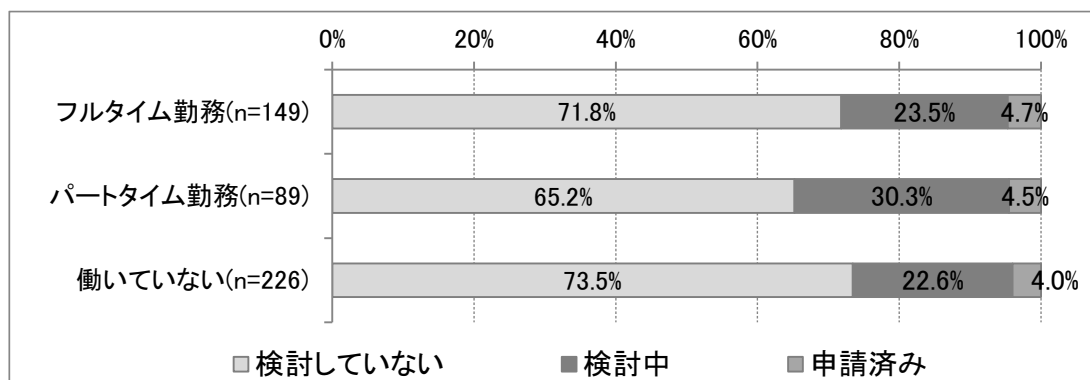


図表 2-54 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（短期系、認知症自立度Ⅲ以上）



主な介護者の勤務形態別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、勤務形態の違いによる差はあまりみられません。

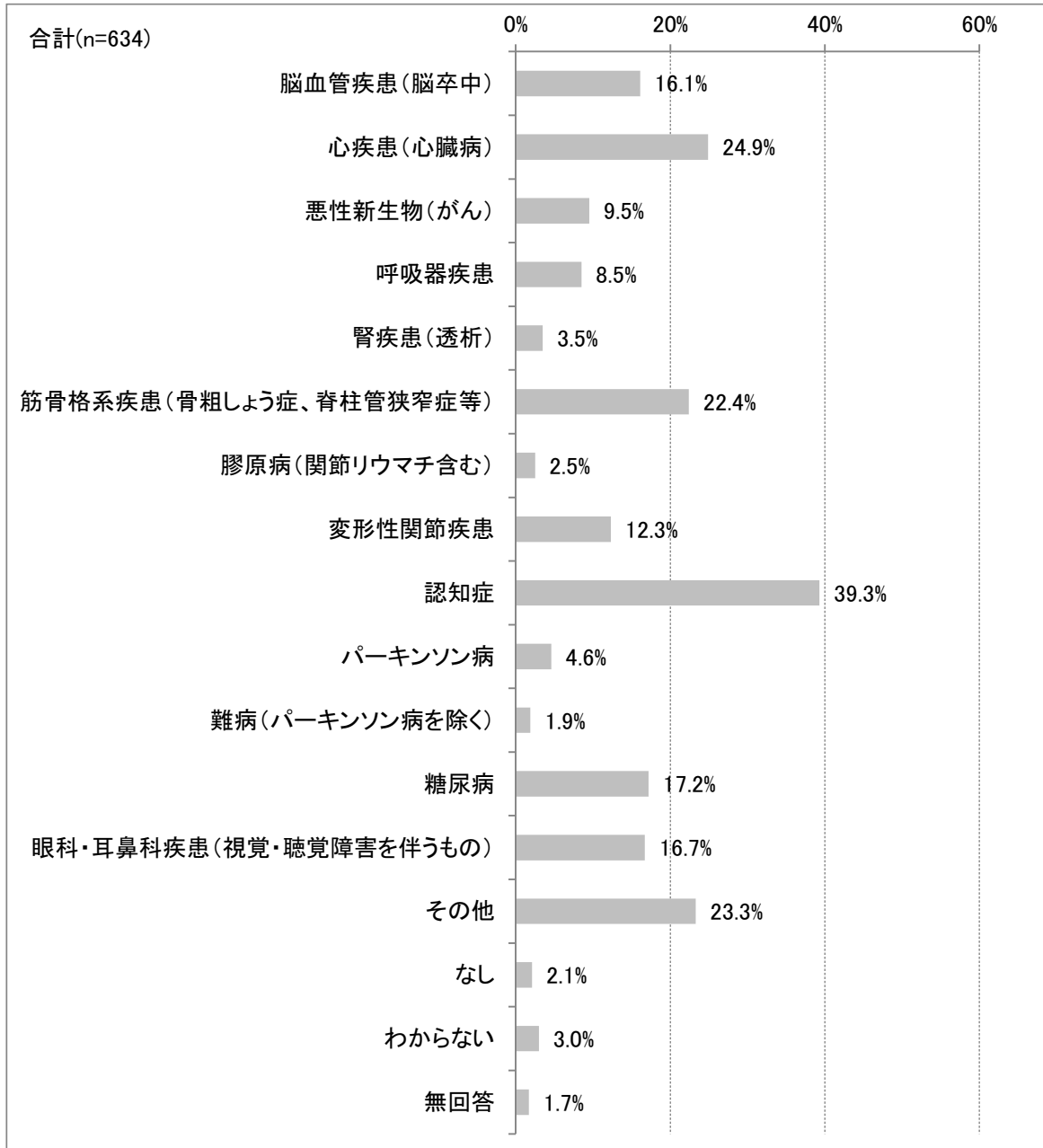
図表 2-55 勤務形態別・施設等への入所・入居の検討状況



(11) 本人が抱えている傷病

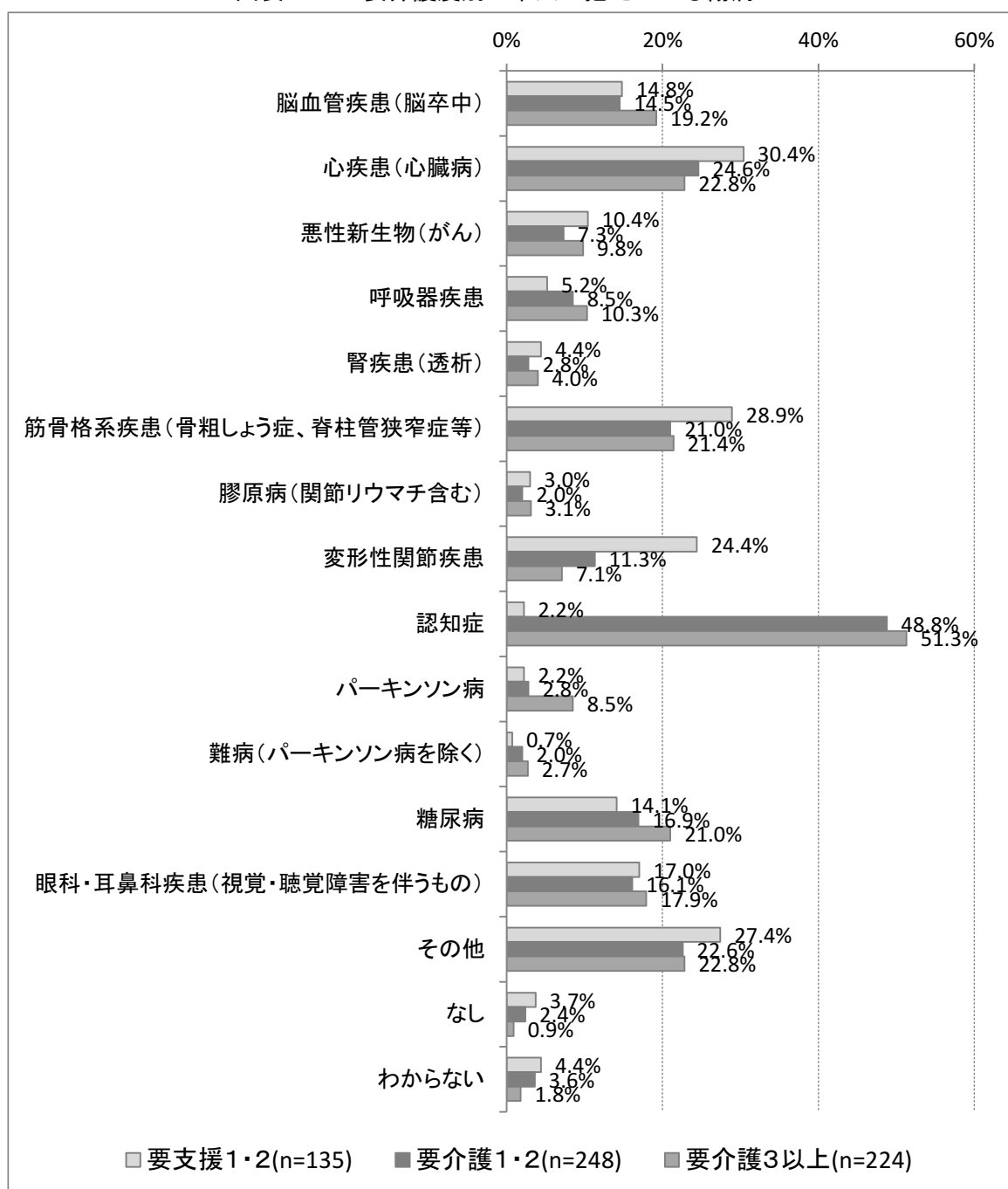
本人が抱えている傷病については、「その他」を除いて、「認知症」が39.3%と最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が24.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が22.4%となっています。

図表 2-56 本人が抱えている傷病（複数回答）



要介護度別に本人が抱えている傷病をみると、「その他」を除いて、要支援1・2では「心疾患（心臓病）」（30.4%）「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（28.9%）「変形性関節疾患」（24.4%）の順、要介護1・2では「認知症」（48.8%）「心疾患（心臓病）」（24.6%）「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（21.0%）の順、要介護3以上では「認知症」（51.3%）「心疾患（心臓病）」（22.8%）「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（21.4%）の順となっています。

図表 2-57 要介護度別・本人が抱えている傷病



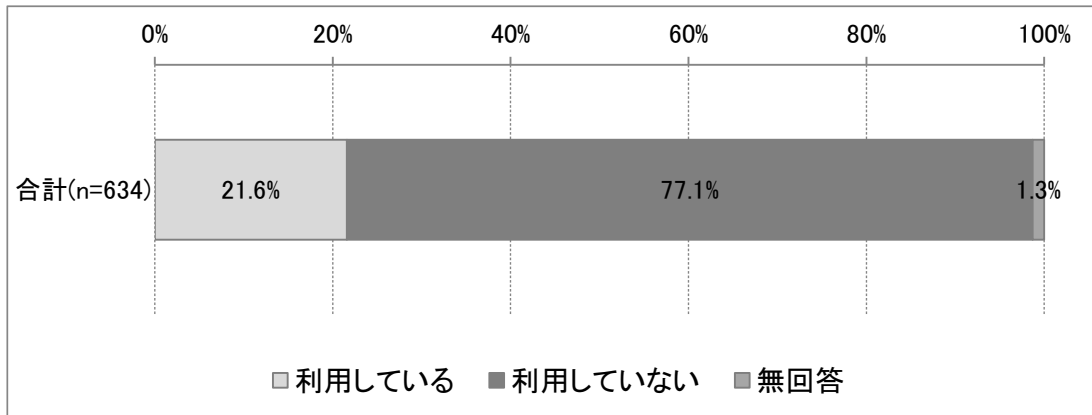
(12) 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無は、「利用している」が21.6%、「利用していない」が77.1%となっています。

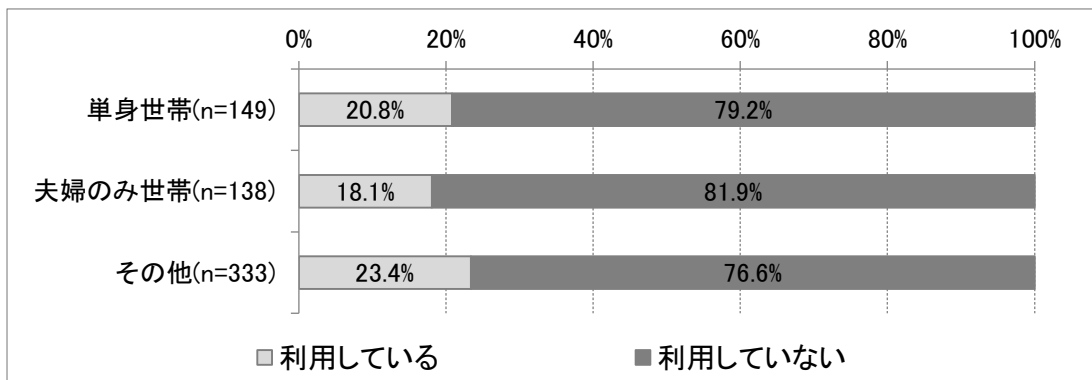
世帯類型別に訪問診療の利用の有無をみると、世帯タイプの違いによる差はあまりみられません。

主な介護者の勤務形態別に訪問診療の利用の有無をみると、フルタイム勤務の介護者では他の勤務形態と比べ「利用している」の割合が高くなっています。

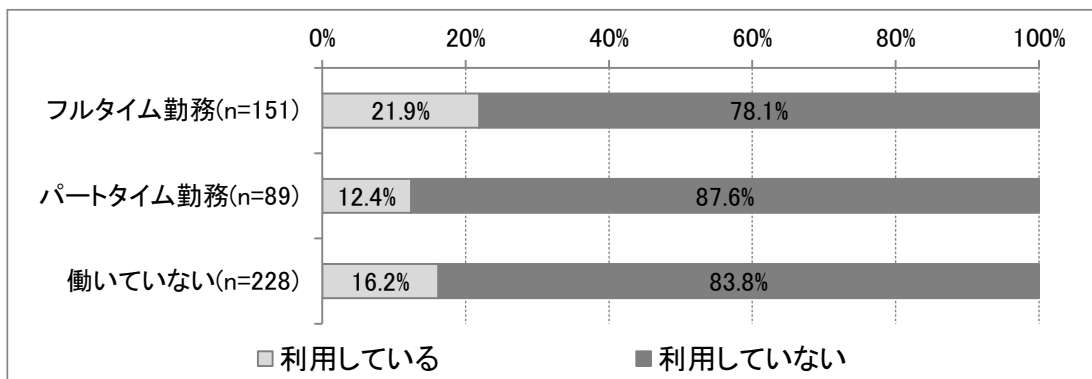
図表 2-58 訪問診療の利用の有無（単数回答）



図表 2-59 世帯類型別・訪問診療の利用の有無

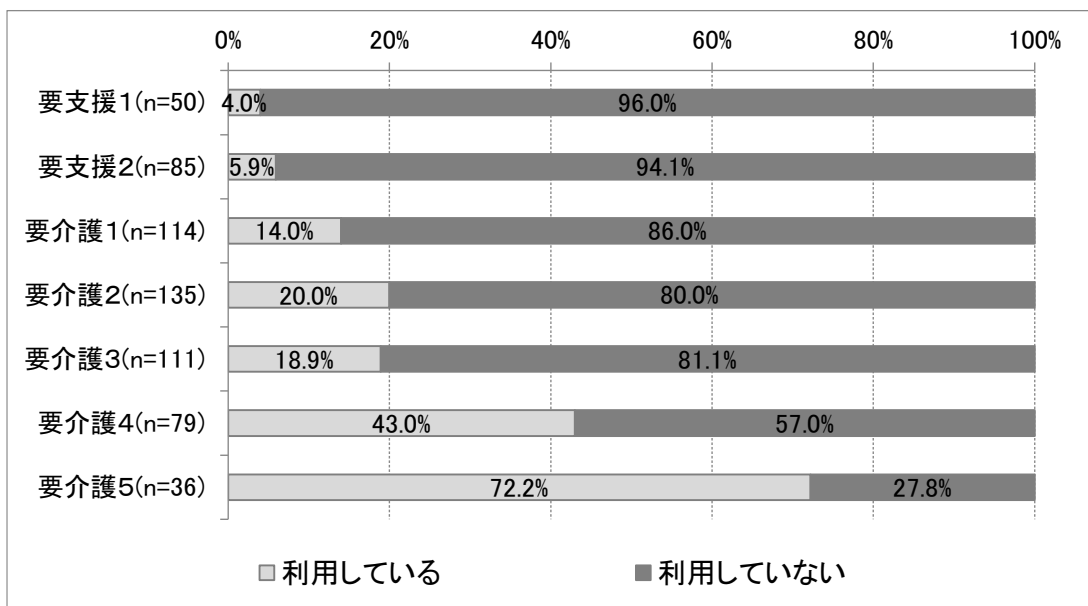


図表 2-60 勤務形態別・訪問診療の利用の有無



要介護度別に訪問診療の利用の有無をみると、要介護度が重度になるにつれ「利用している」の割合が高くなる傾向がみられ、要介護5では72.2%となっています。

図表 2-61 要介護度別・訪問診療の利用の有無



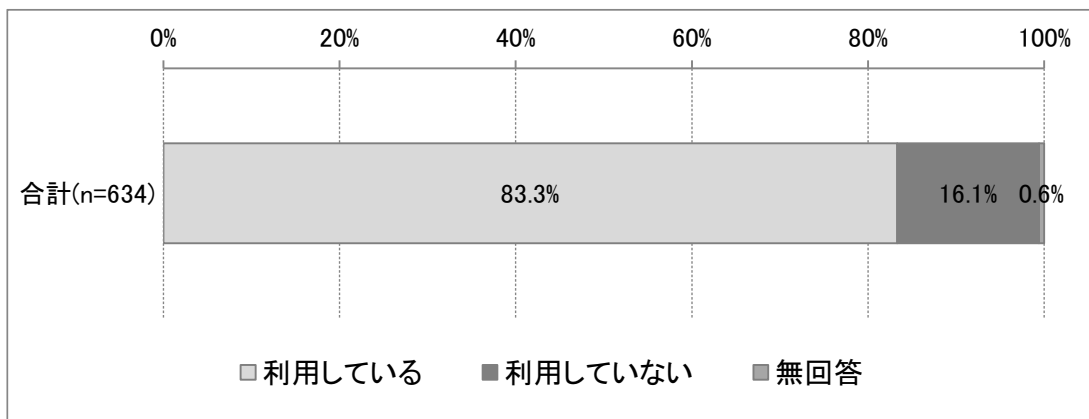
(13) 介護保険サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用の有無は、「利用している」が83.3%、「利用していない」が16.1%となっています。

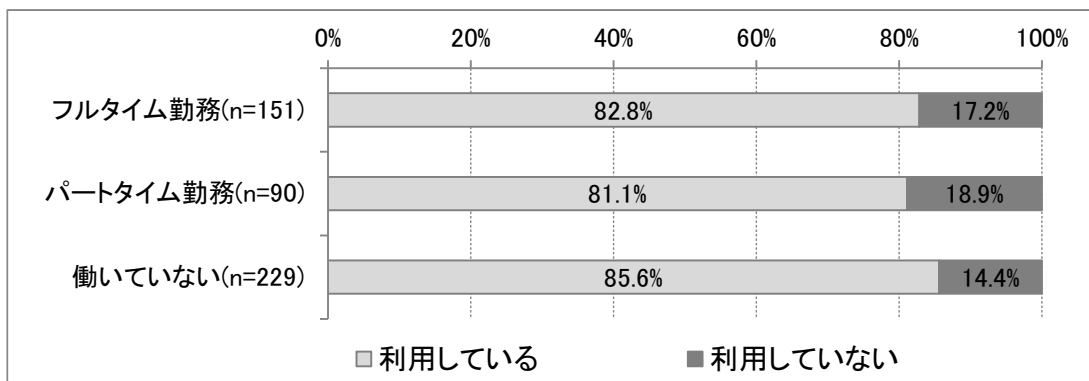
主な介護者の勤務形態別に介護保険サービスの利用の有無をみると、働いていない介護者では「利用している」の割合が85.6%と、他の勤務形態と比べてやや高くなっています。

主な介護者の就労継続見込み別に介護保険サービスの利用の有無をみると、就労継続見込みによる差はあまり見られません。

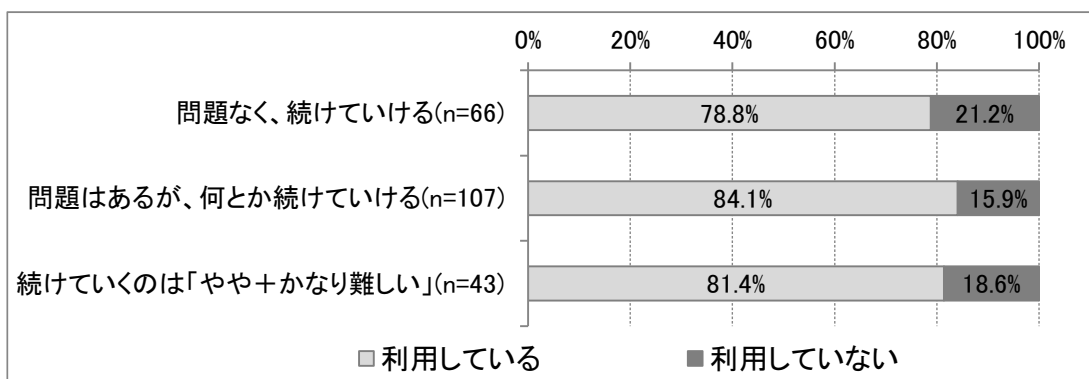
図表 2-62 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



図表 2-63 勤務形態別・介護保険サービス利用の有無



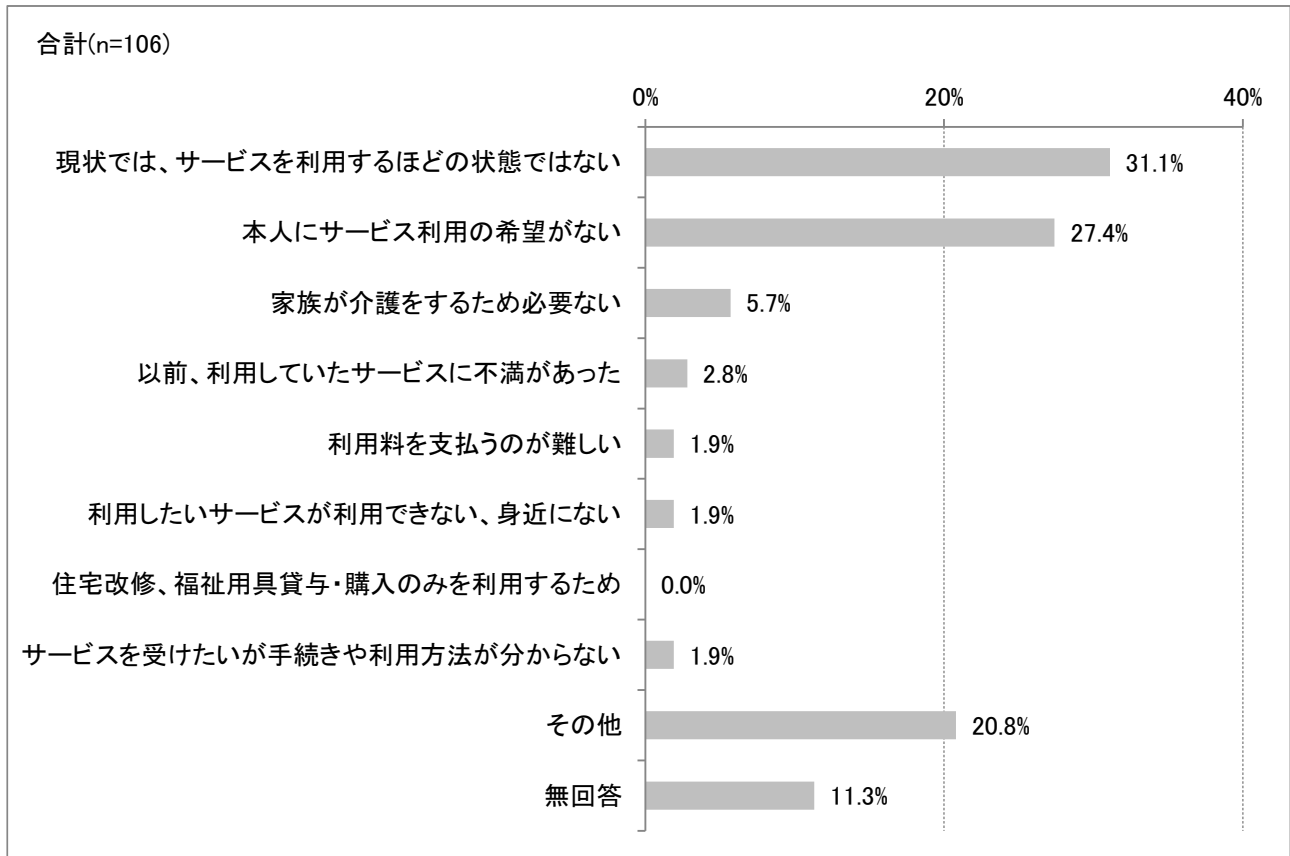
図表 2-64 就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

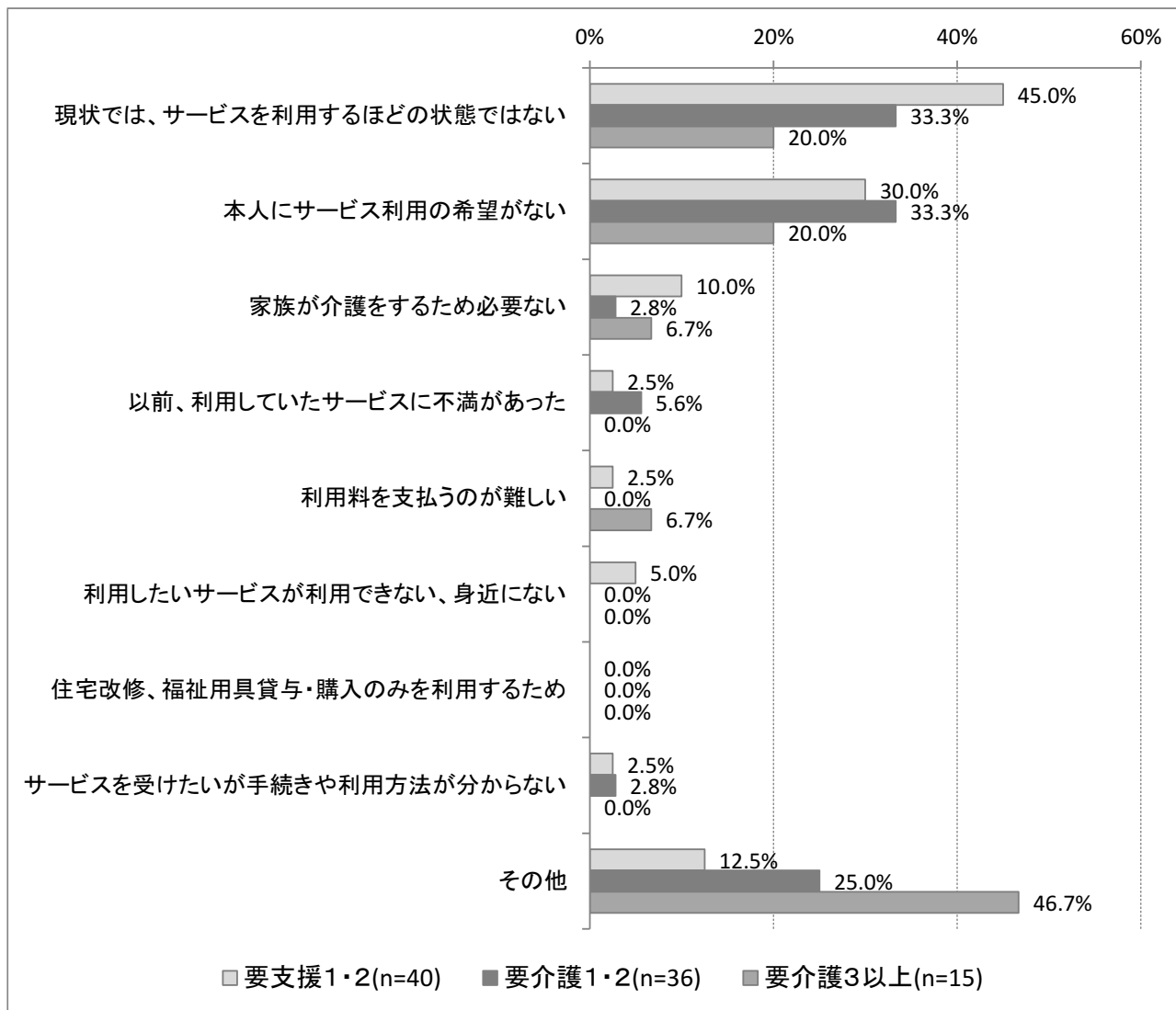
介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.1%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が27.4%となっています。

図表 2-65 介護保険サービス未利用の理由（複数回答）



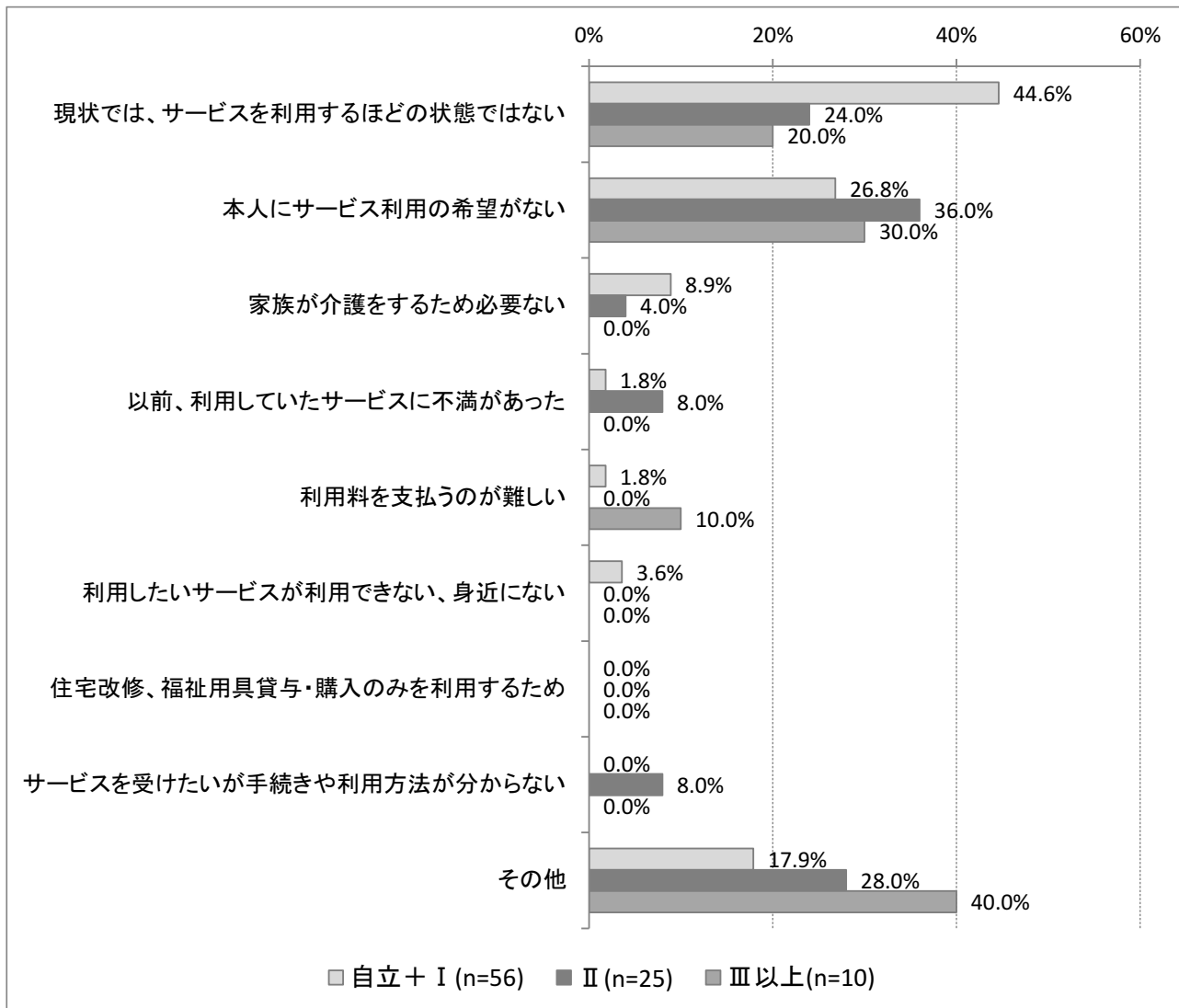
要介護度別に介護保険サービス未利用の理由をみると、「その他」を除いて、要支援1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(45.0%)、要介護1・2及び要介護3以上では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」(それぞれ33.3%、20.0%)が最も多くなっています。

図表 2-66 要介護度別・介護保険サービス未利用の理由



認知症自立度別に介護保険サービス未利用の理由をみると、「その他」を除いて、自立+Ⅰでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(44.6%)、Ⅱ及びⅢ以上では「本人にサービス利用の希望がない」(それぞれ36.0%、30.0%)が最も多くなっています。

図表 2-67 認知症自立度別・介護保険サービス未利用の理由

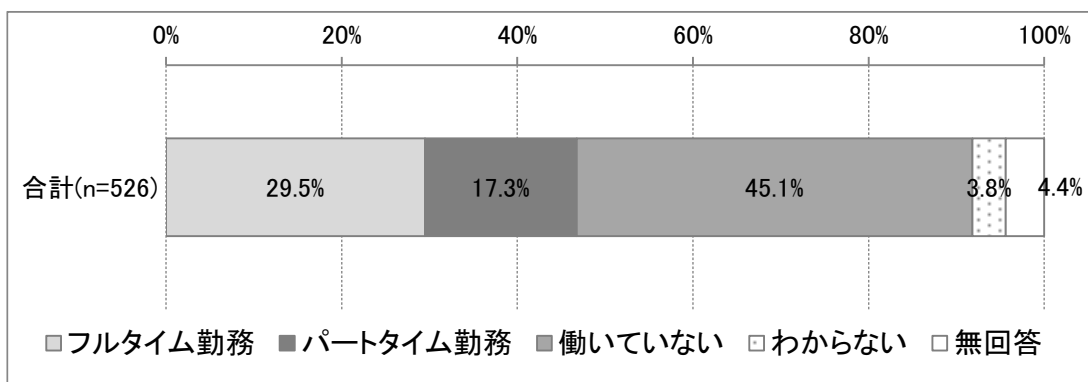


4 主な介護者用の調査項目（B票）

（1）主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が45.1%と最も多く、次いで「フルタイム勤務」が29.5%、「パートタイム勤務」が17.3%となっています。

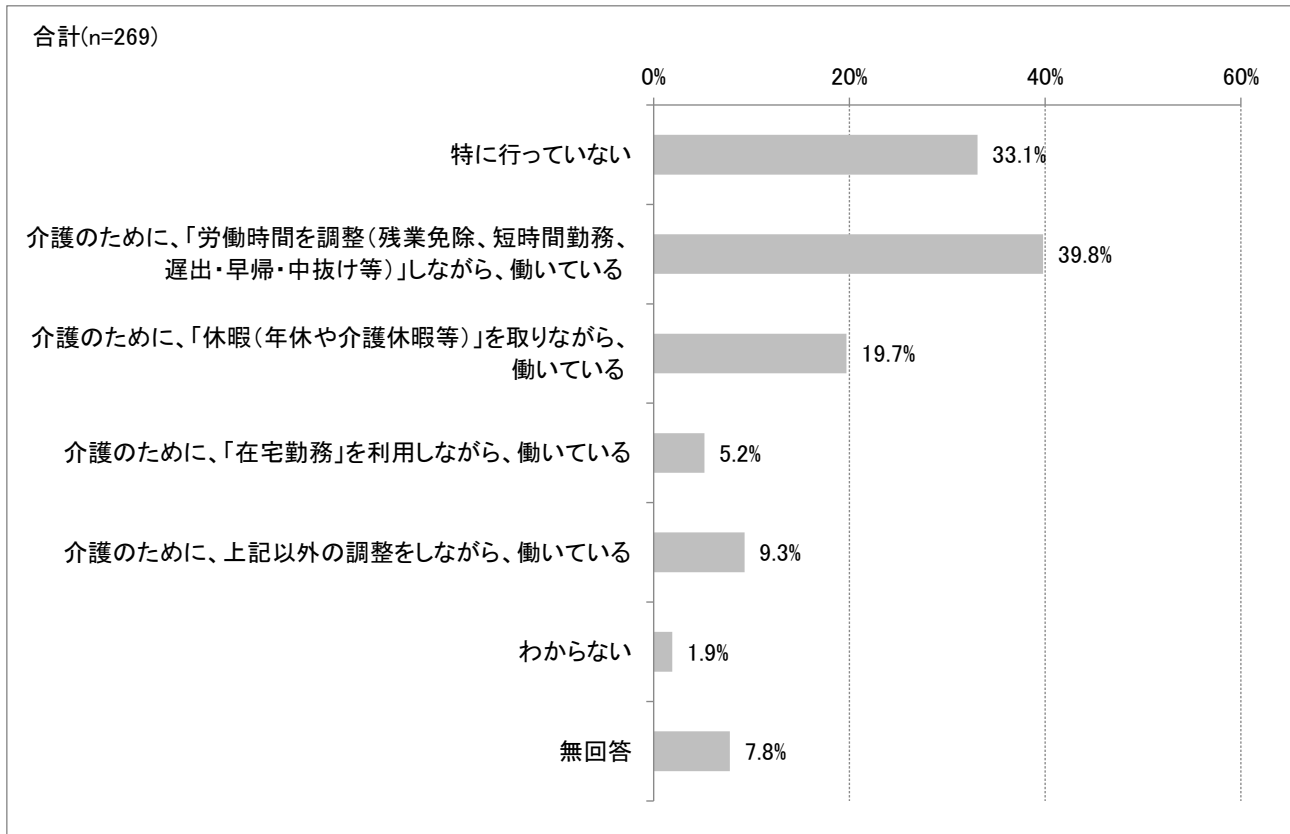
図表 3-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の働き方の調整状況

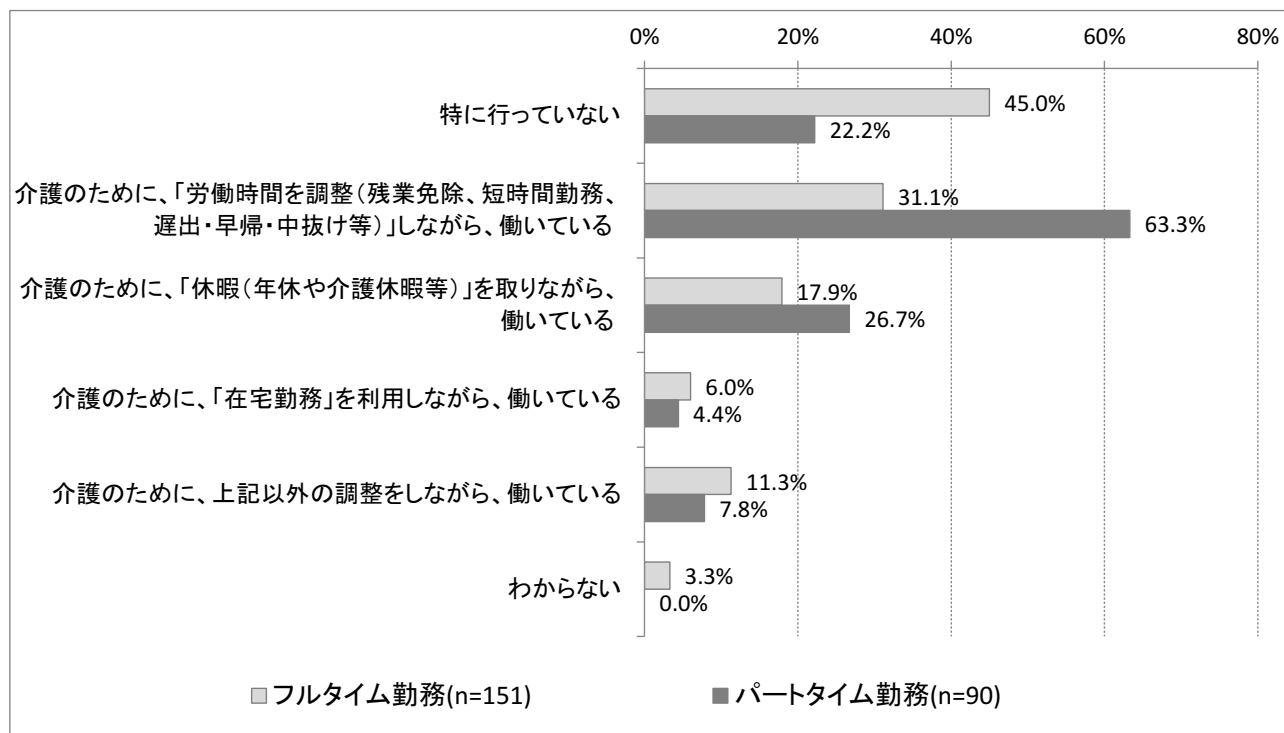
主な介護者の働き方の調整状況は、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が 39.8%と最も多く、次いで「特に行っていない」が 33.1%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が 19.7%となっています。

図表 3-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



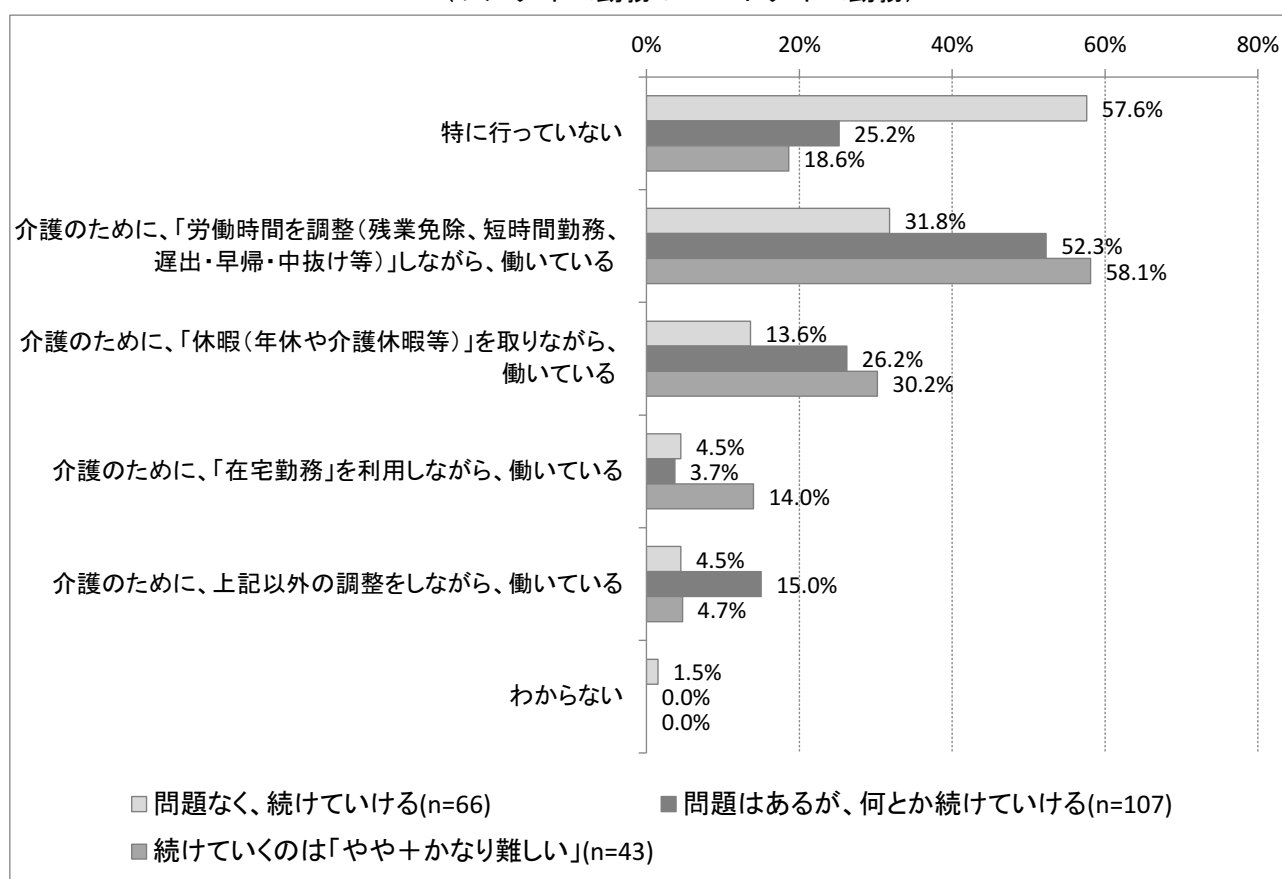
主な介護者の勤務形態別に働き方の調整状況を見ると、フルタイム勤務の介護者では「特に行っていない」が45.0%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が31.1%、パートタイム勤務の介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が63.3%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が26.7%となっています。

図表 3-3 勤務形態別・主な介護者の働き方の調整状況



主な介護者の就労継続見込み別に働き方の調整状況を見ると、問題なく続けていける介護者では「特に行っていない」が57.6%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が31.8%、問題はあるが何とか続けていける介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が52.3%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が26.2%、続けていくのは「やや+かなり難しい」介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が58.1%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が30.2%となっています。

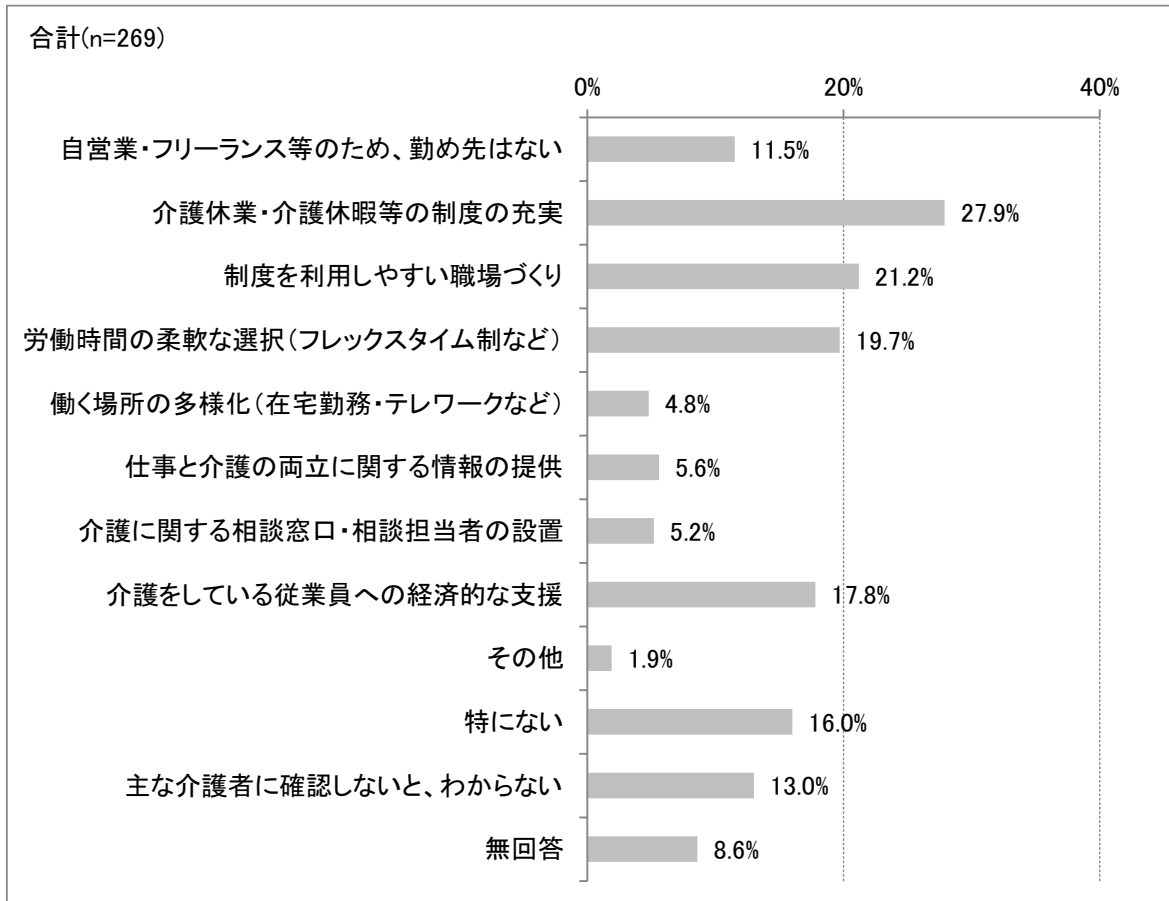
図表 3-4 就労継続見込み別・主な介護者の働き方の調整状況
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(3) 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

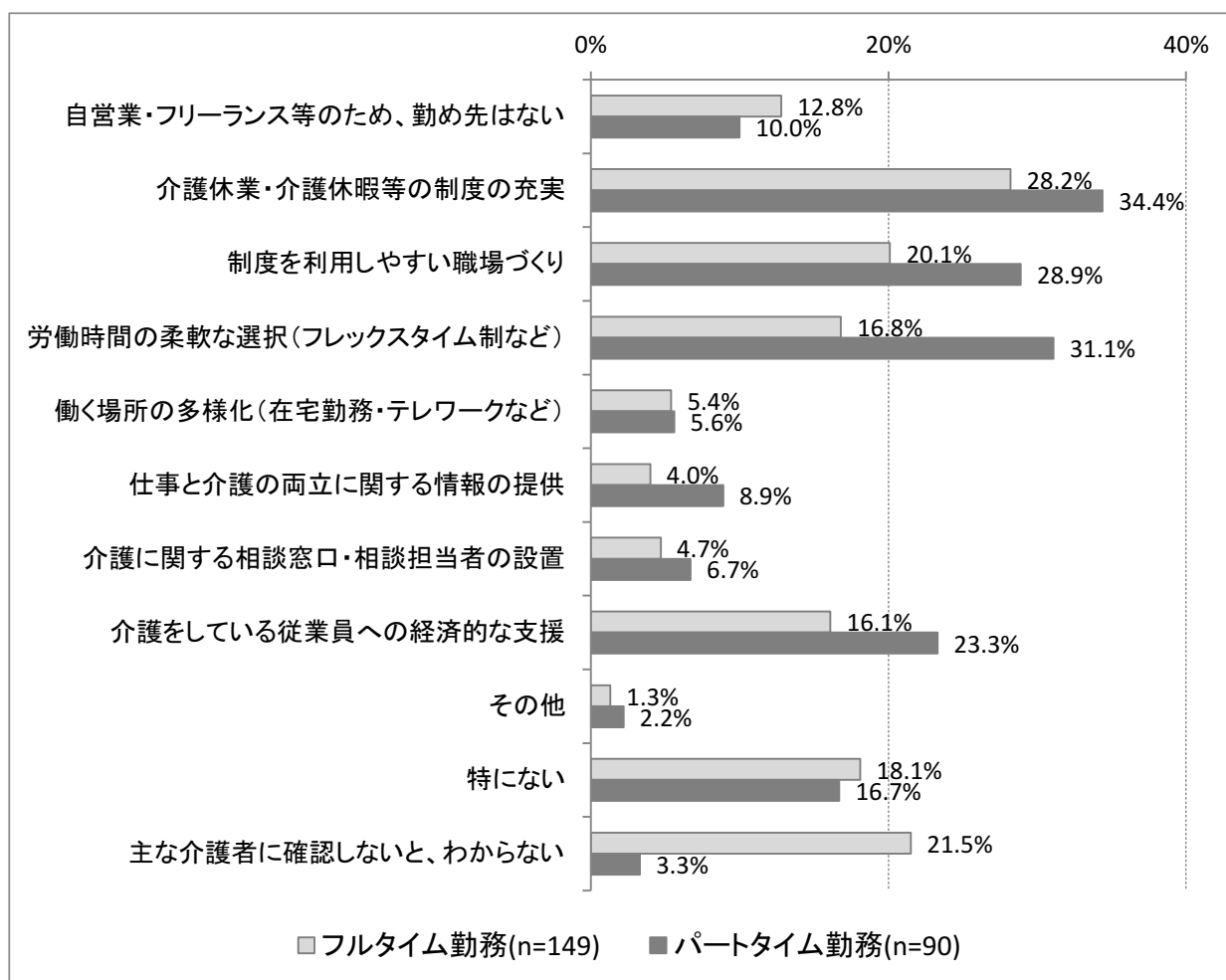
主な介護者の仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.9%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が21.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が19.7%となっています。

図表 3-5 仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援（複数回答）



勤務形態別に仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援をみると、フルタイム勤務の介護者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.2%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が20.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が16.8%、「パートタイム勤務の介護者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.4%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が31.1%、「制度を利用しやすい職場づくり」が28.9%となっています。

図表 3-6 勤務形態別・仕事と介護の両立に効果的な勤め先からの支援

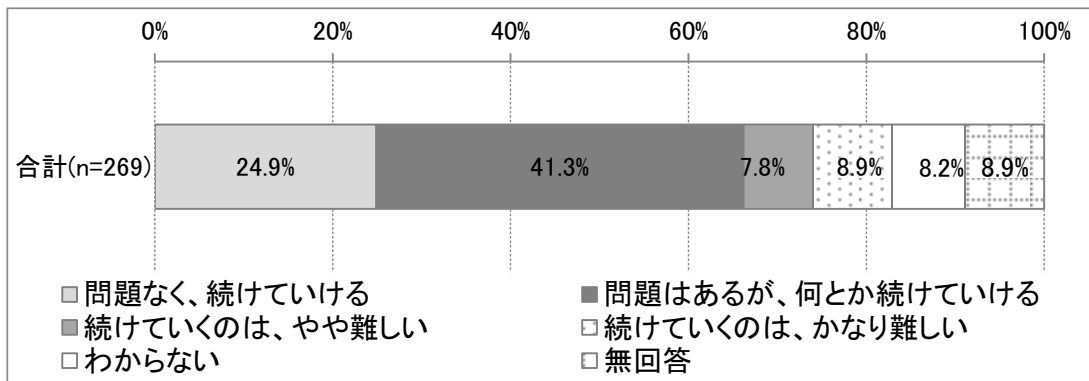


(4) 主な介護者の就労継続見込み

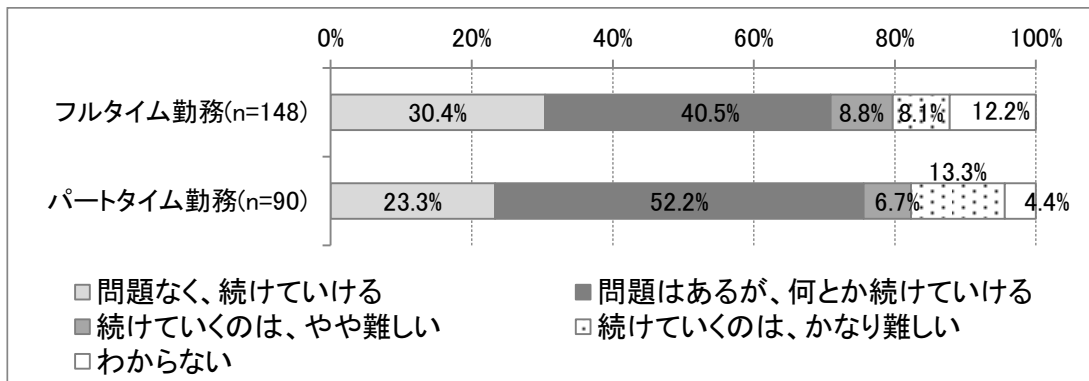
主な介護者の就労継続見込みは、「問題はあるが、何とか続けていける」が41.3%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が24.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が8.9%となっています。

勤務形態別に主な介護者の就労継続見込みをみると、フルタイム勤務の介護者では「問題なく、続けていける」の割合がパートタイム勤務の介護者と比べやや高くなっている一方、パートタイム勤務の介護者では「問題はあるが、何とか続けていける」の割合がフルタイム勤務の介護者と比べやや高くなっています。

図表 3-7 主な介護者の就労継続見込み（単数回答）



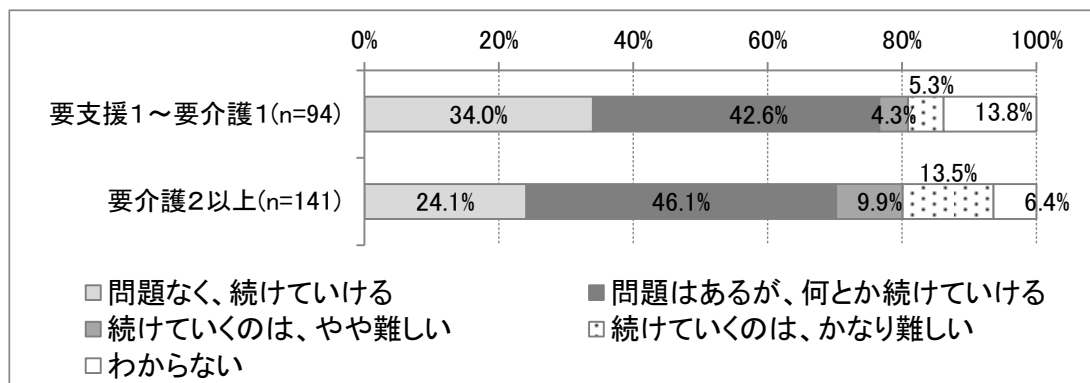
図表 3-8 勤務形態別・主な介護者の就労継続見込み



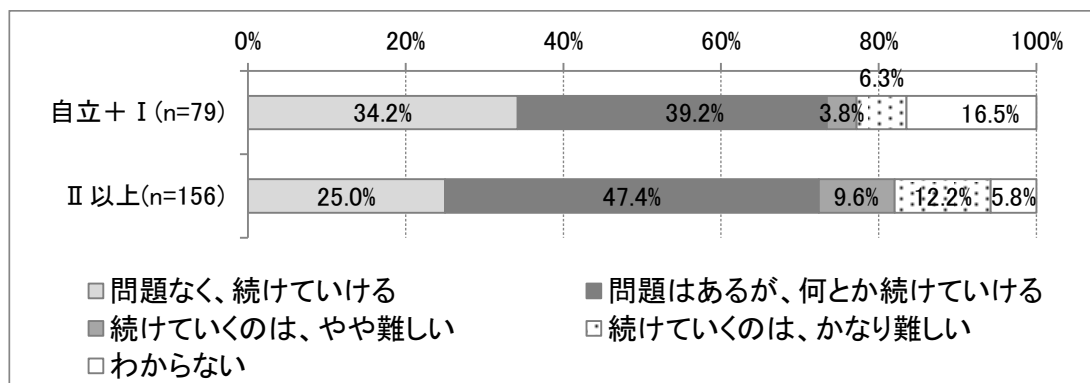
要介護度別に主な介護者の就労継続見込みをみると、要介護2以上では「問題なく、続けていける」の割合が24.1%と、要支援1～要介護1と比べ低くなっています。

認知症自立度別に主な介護者の就労継続見込みをみると、Ⅱ以上では「問題なく、続けていける」の割合が25.0%と、自立+Ⅰと比べ低くなっています。

図表 3-9 要介護度別・主な介護者の就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



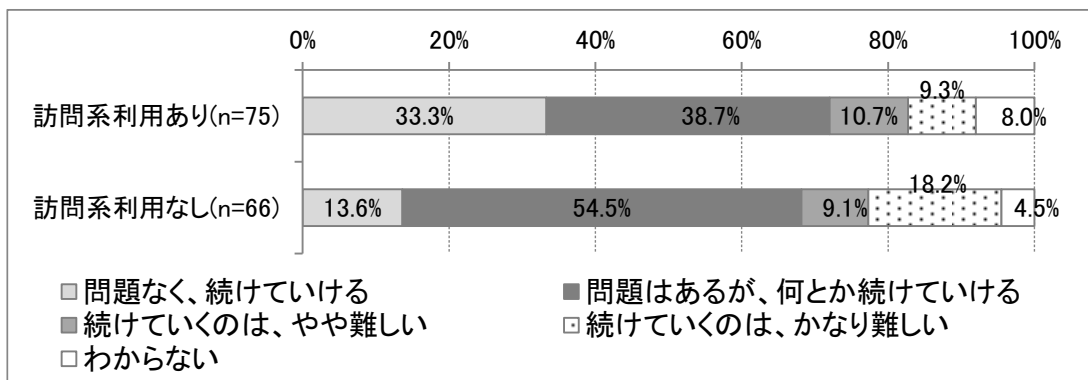
図表 3-10 認知症自立度別・主な介護者の就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



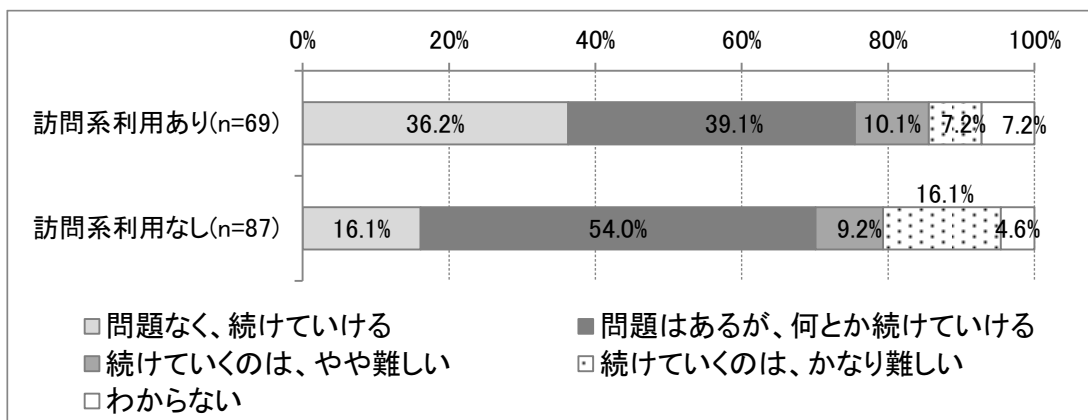
要介護2以上の要介護認定者で訪問系サービスの利用別に主な介護者の就労継続見込みをみると、利用なしでは「続けていくのは、かなり難しい」の割合が利用ありと比べ高くなっています。

認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者で訪問系サービスの利用別に主な介護者の就労継続見込みをみると、利用なしでは「続けていくのは、かなり難しい」の割合が利用ありと比べ高くなっています。

図表 3-11 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者の就労継続見込み
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



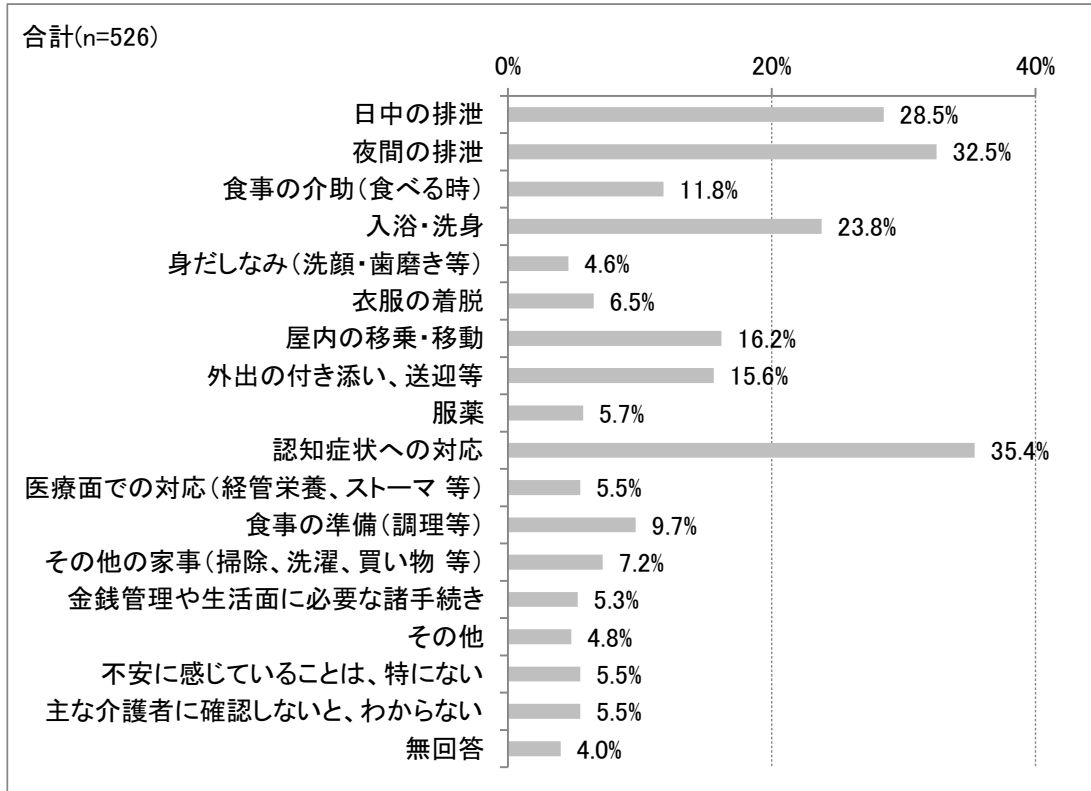
図表 3-12 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者の就労継続見込み
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続するにあたり、主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が35.4%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が32.5%、「日中の排泄」が28.5%、「入浴・洗身」が23.8%となっています。

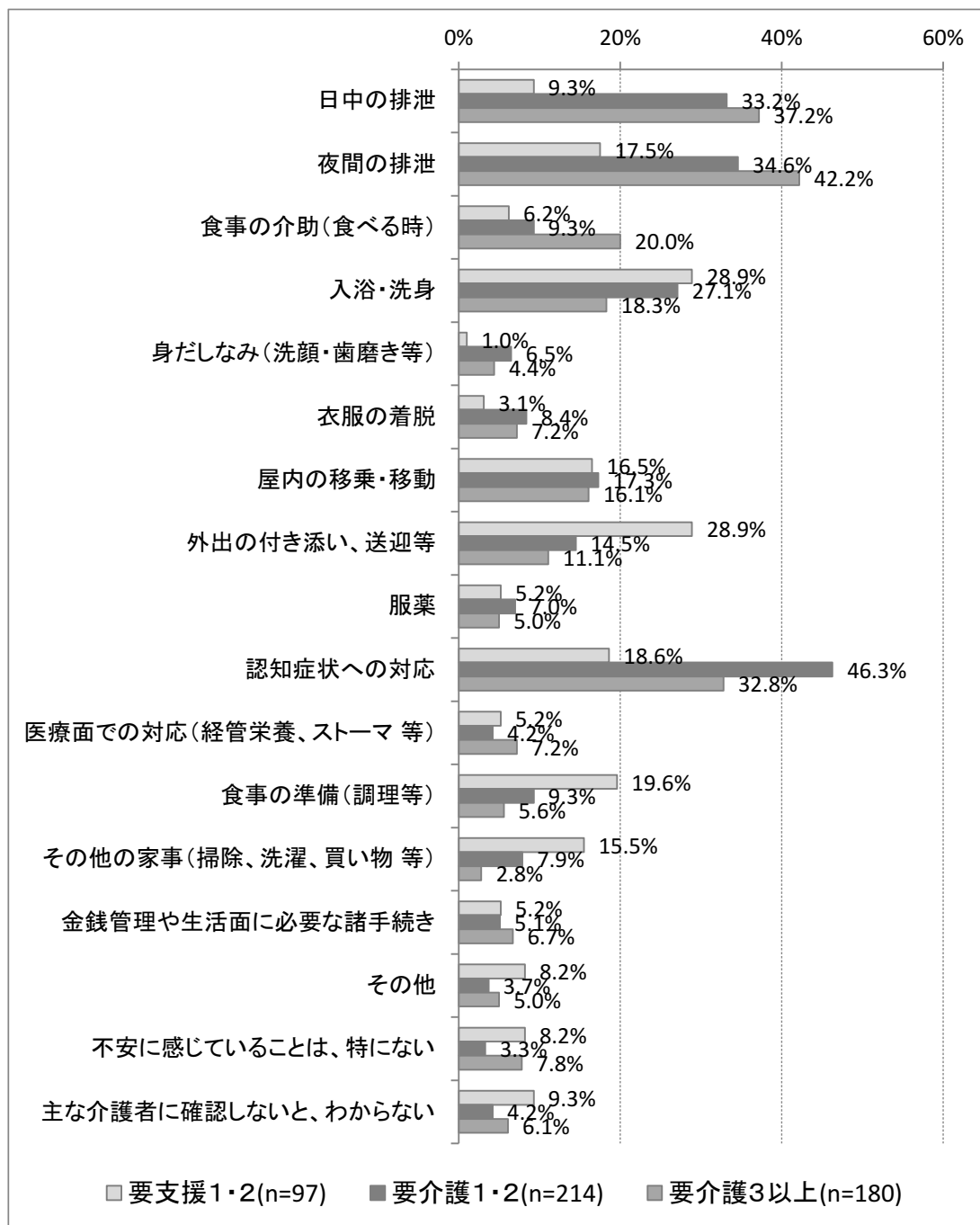
図表 3-13 主な介護者が不安に感じる介護等（複数回答）



要介護度別に主な介護者が不安を感じる介護等をみると、要介護度が重度になるにつれ「日中の排泄」「夜間の排泄」を不安を感じる割合が高くなっている一方、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は、要介護度が軽度なほど不安を感じる割合が高くなっています。

また、「認知症状への対応」は要介護1・2では46.3%と、要支援1・2の2倍以上、要介護3以上では32.8%と、要支援1・2と比べ割合が高くなっています。

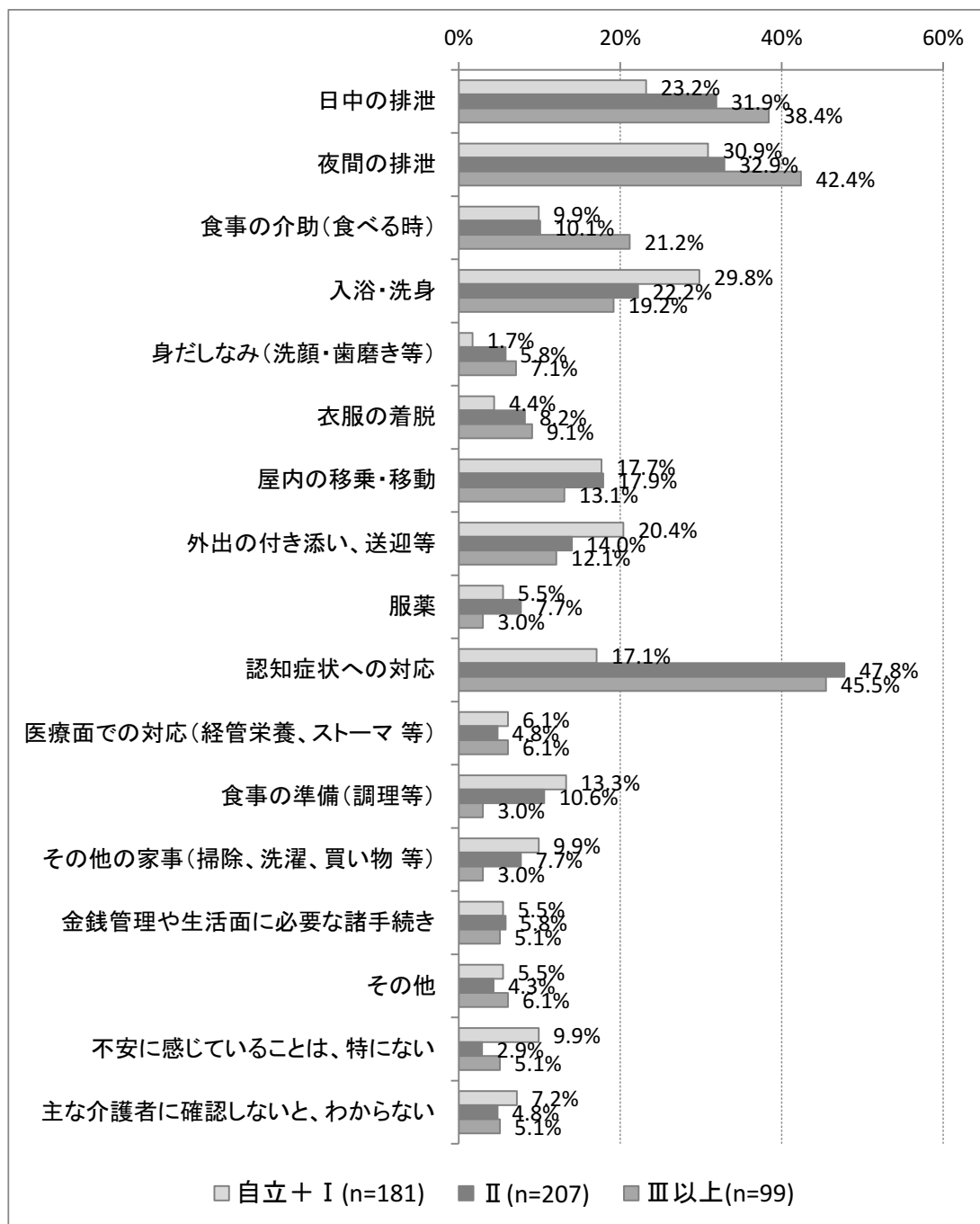
図表 3-14 要介護度別・主な介護者が不安を感じる介護等



認知症自立度別に主な介護者が不安を感じる介護等を見ると、Ⅲ以上では「日中の排泄」「夜間の排泄」を不安を感じる割合が高くなっている一方、「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」を不安を感じる割合は低くなっています。

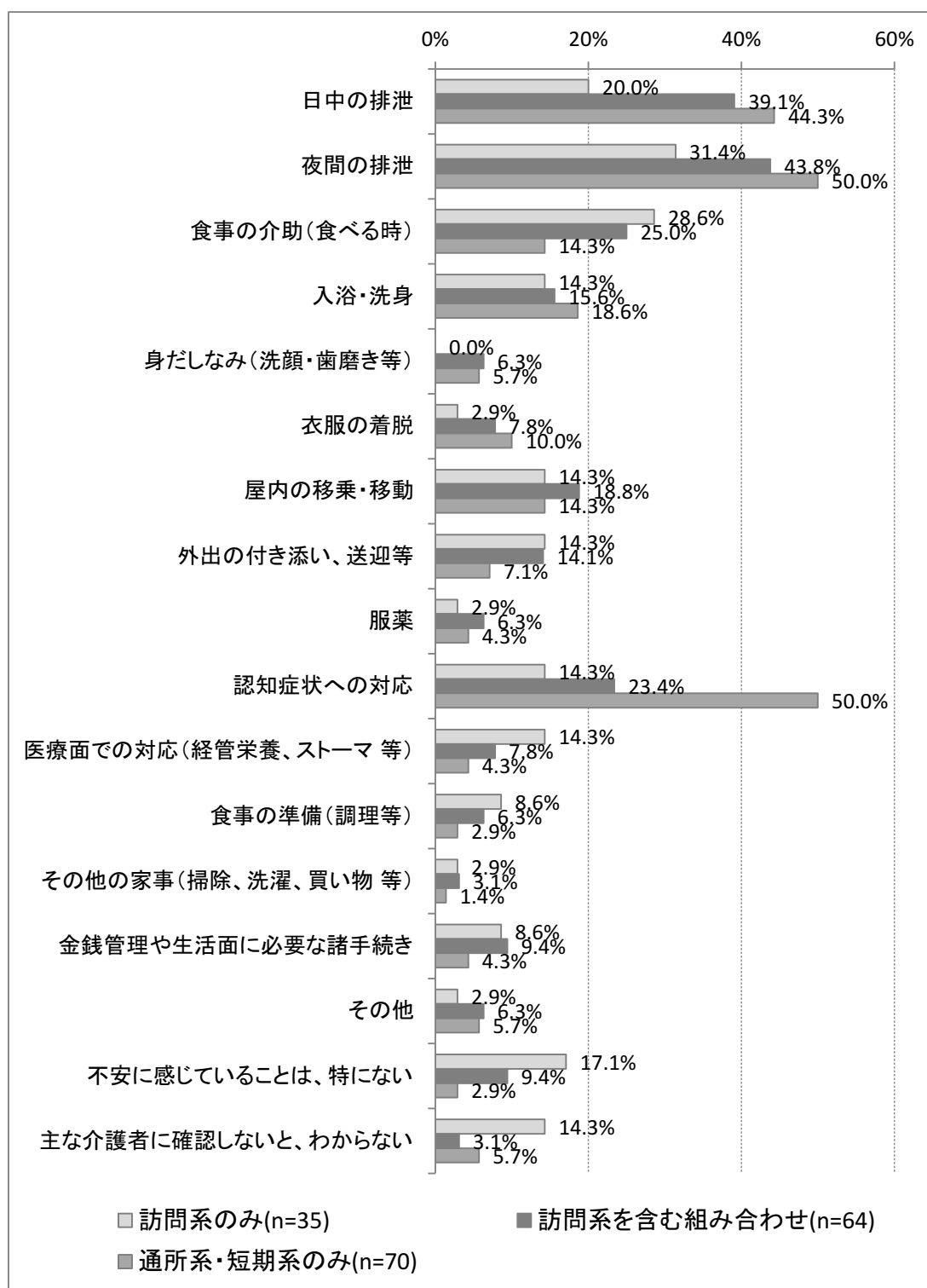
また、「認知症状への対応」はⅡ及びⅢ以上では、それぞれ 47.8%、45.5%と、自立+Ⅰに比べ高くなっています。

図表 3-15 認知症自立度別・主な介護者が不安を感じる介護等



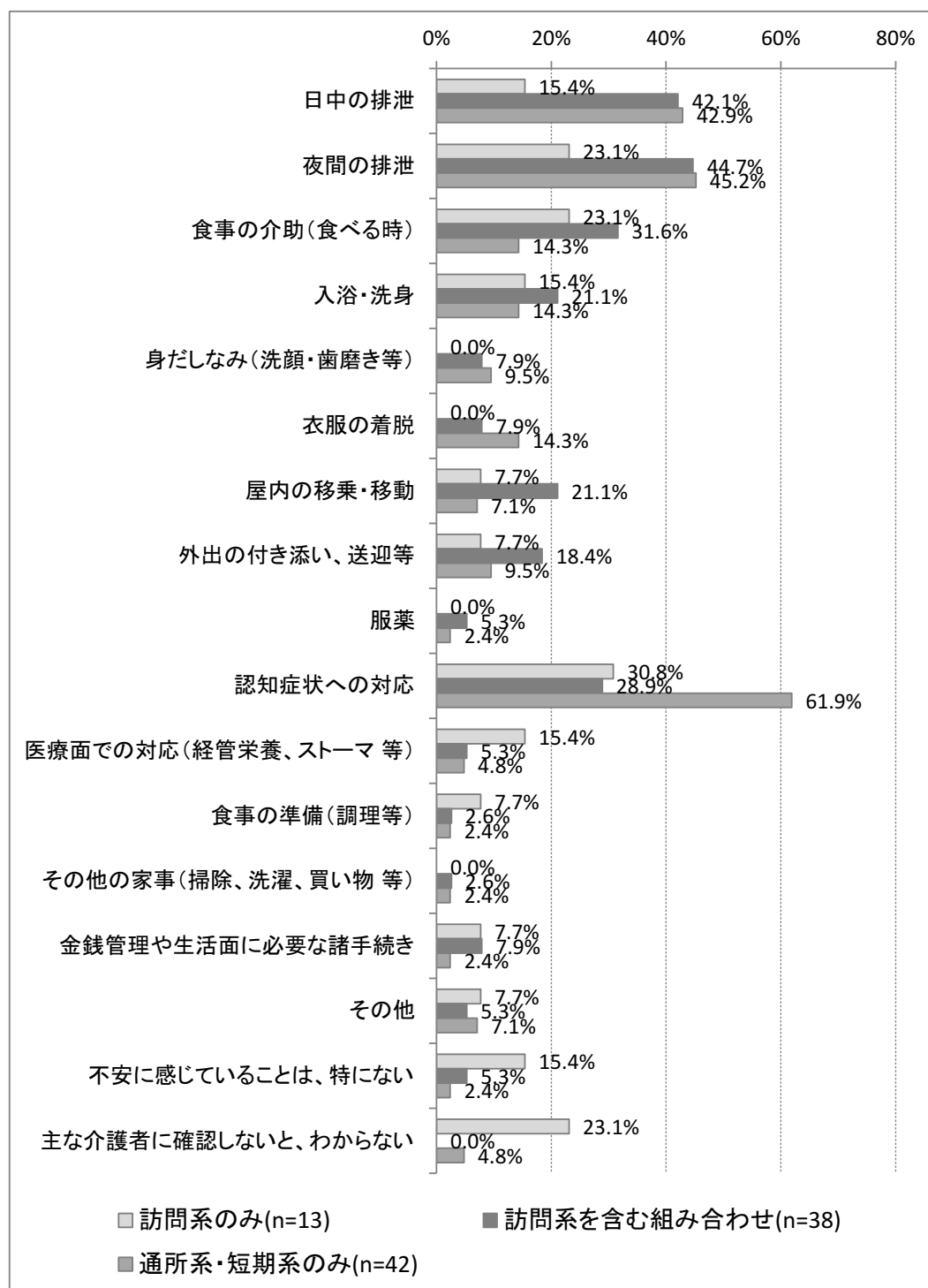
要介護3以上の要介護認定者でサービス利用の組み合わせ別に主な介護者が不安を感じる介護等を見ると、訪問系のみでは「夜間の排泄」が31.4%と最も多く、次いで「食事の介助(食べる時)」が28.6%、「日中の排泄」が20.0%、訪問系を含む組み合わせでは「夜間の排泄」が43.8%と最も多く、次いで「日中の排泄」が39.1%、「食事の介助(食べる時)」が25.0%、通所系・短期系のみでは「夜間の排泄」「認知症状への対応」が50.0%と最も多く、次いで「日中の排泄」が44.3%となっています。

図表 3-16 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安を感じる介護等（要介護3以上）



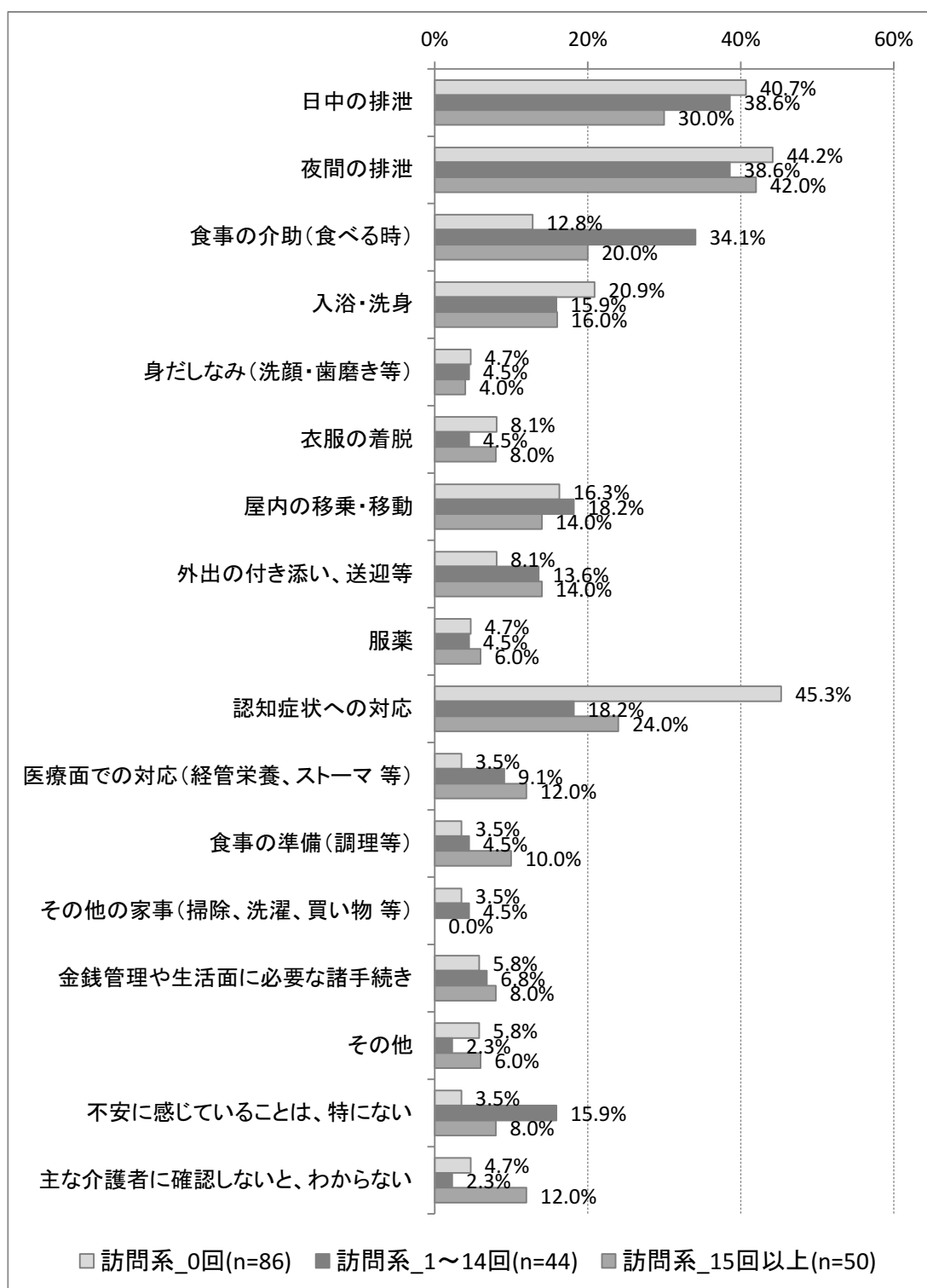
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者でサービス利用の組み合わせ別に主な介護者が不安に感じる介護等をみると、訪問系のみでは「認知症状への対応」が30.8%と最も多く、次いで「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」が23.1%、訪問系を含む組み合わせでは「夜間の排泄」が44.7%と最も多く、次いで「日中の排泄」が42.1%、「食事の介助（食べる時）」が31.6%、通所系・短期系のみでは「認知症状への対応」が61.9%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が45.2%、「日中の排泄」が42.9%となっています。

図表 3-17 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安に感じる介護等（認知症自立度Ⅲ以上）



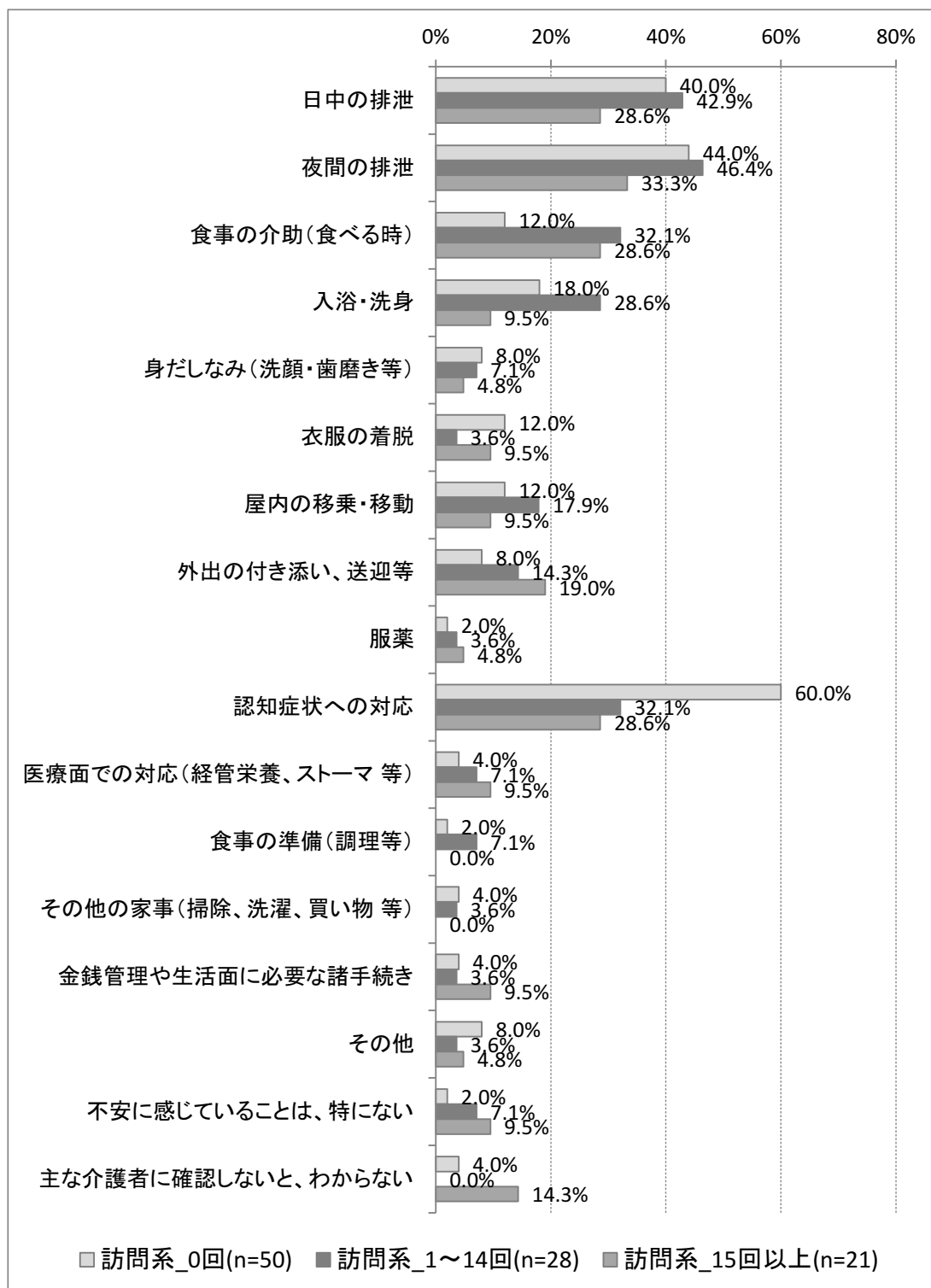
要介護3以上の要介護認定者で訪問系サービスの利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護等を見ると、利用回数0回では「認知症状への対応」が45.3%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が44.2%、「日中の排泄」が40.7%、利用回数1～14回では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が38.6%と最も多く、次いで「食事の介助（食べる時）」が34.1%、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」が18.2%、利用回数15回以上では「夜間の排泄」が42.0%と最も多く、次いで「日中の排泄」が30.0%、「認知症状への対応」が24.0%となっています。

図表 3-18 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護等（訪問系、要介護3以上）



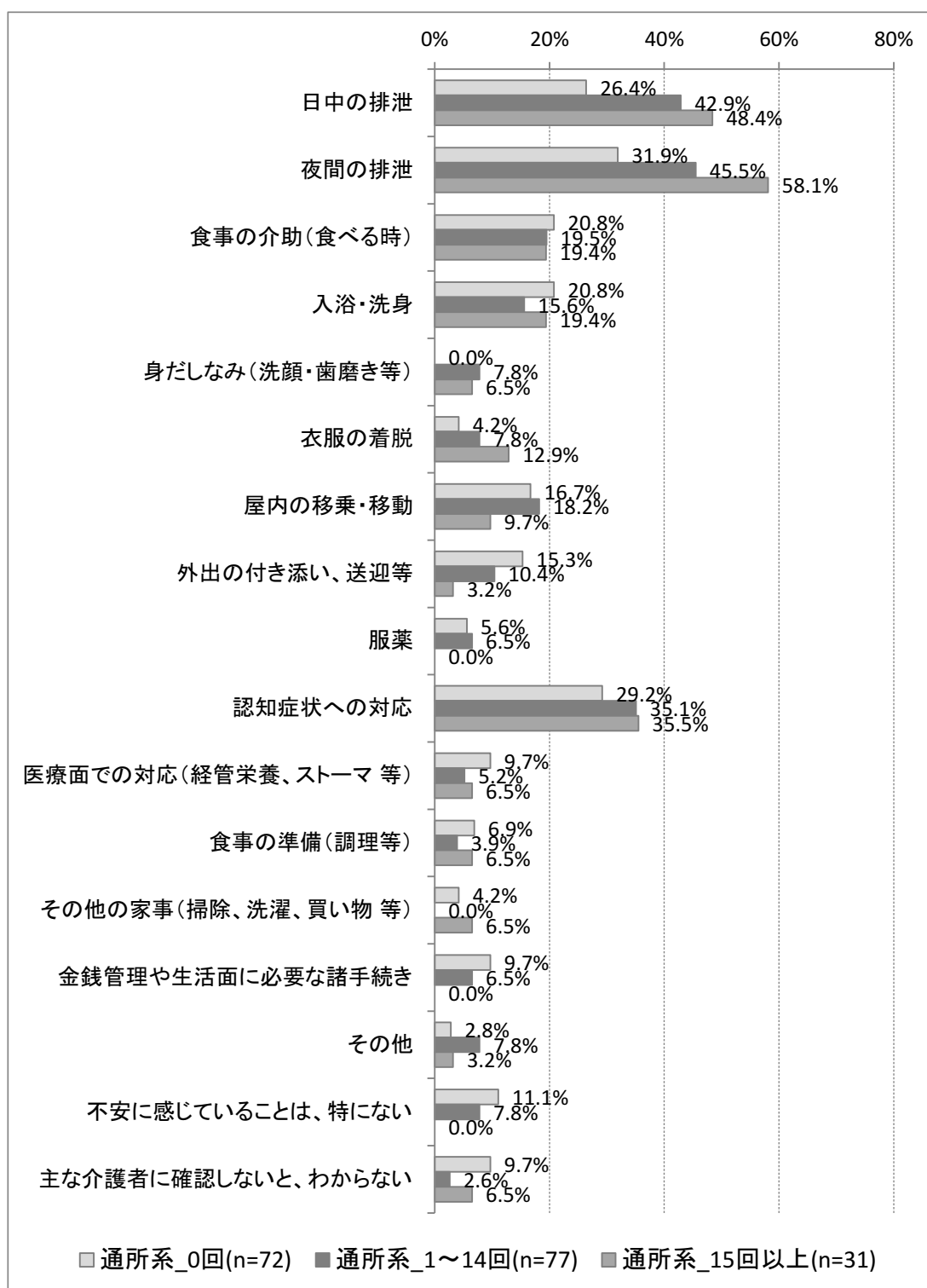
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で訪問系サービスの利用回数別に主な介護者が不安に感じる介護等をみると、利用回数0回では「認知症状への対応」が60.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が44.0%、「日中の排泄」が40.0%、利用回数1～14回では「夜間の排泄」が46.4%と最も多く、次いで「日中の排泄」が42.9%、「食事の介助（食べる時）」「認知症状への対応」が32.1%、利用回数15回以上では「夜間の排泄」が33.3%と最も多く、次いで「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「認知症状への対応」が28.6%となっています。

図表 3-19 サービス利用回数別・主な介護者が不安に感じる介護等（訪問系、認知症自立度Ⅲ以上）



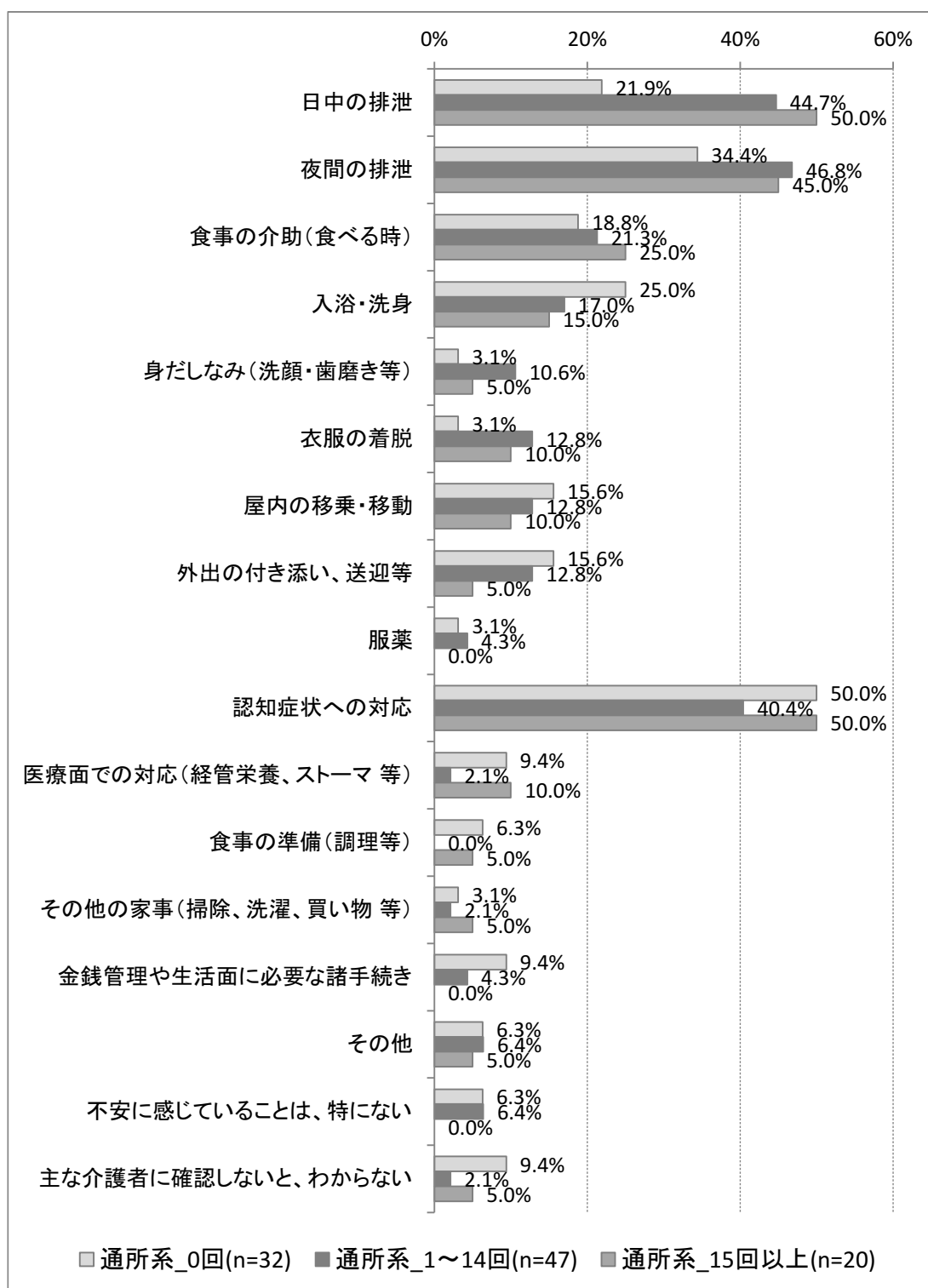
要介護3以上の要介護認定者で通所系サービスの利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護等を見ると、利用回数0回では「夜間の排泄」が31.9%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が29.2%、「日中の排泄」が26.4%、利用回数1～14回では「夜間の排泄」が45.5%と最も多く、次いで「日中の排泄」が42.9%、「認知症状への対応」が35.1%、利用回数15回以上では「夜間の排泄」が58.1%と最も多く、次いで「日中の排泄」が48.4%、「認知症状への対応」が35.5%となっています。

図表 3-20 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護等（通所系、要介護3以上）



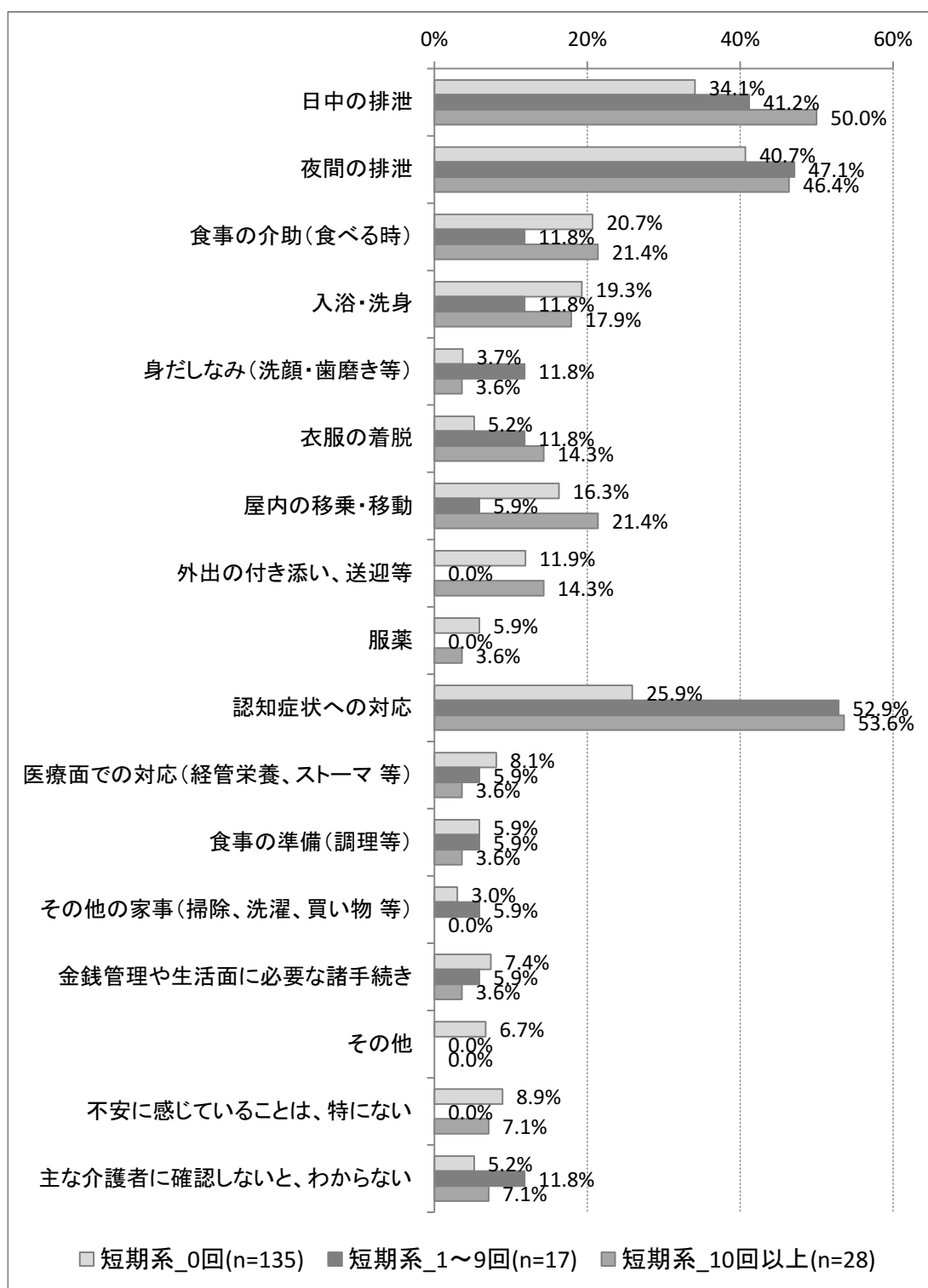
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で通所系サービスの利用回数別に主な介護者が不安に感じる介護等をみると、利用回数0回では「認知症状への対応」が50.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が34.4%、「入浴・洗身」が25.0%、利用回数1～14回では「夜間の排泄」が46.8%と最も多く、次いで「日中の排泄」が44.7%、「認知症状への対応」が40.4%、利用回数15回以上では「日中の排泄」「認知症状への対応」が50.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が45.0%となっています。

図表 3-21 サービス利用回数別・主な介護者が不安に感じる介護等（通所系、認知症自立度Ⅲ以上）



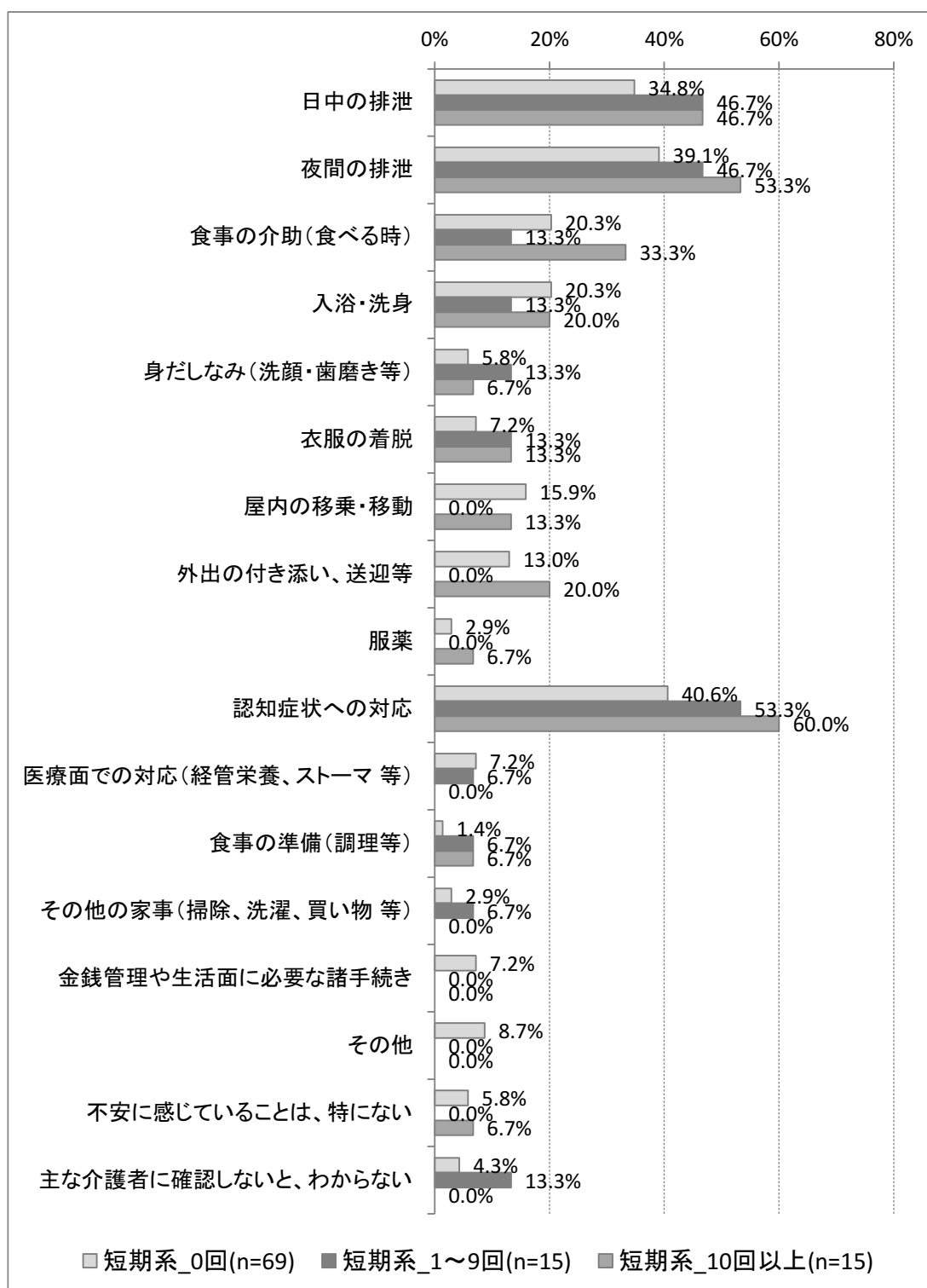
要介護3以上の要介護認定者で短期系サービスの利用回数別に主な介護者が不安に感じる介護等を見ると、利用回数0回では「夜間の排泄」が40.7%と最も多く、次いで「日中の排泄」が34.1%、「認知症状への対応」が25.9%、利用回数1～9回では「認知症状への対応」が52.9%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が47.1%、「日中の排泄」が41.2%、利用回数10回以上では「認知症状への対応」が53.6%と最も多く、次いで「日中の排泄」が50.0%、「夜間の排泄」が46.4%となっています。

図表 3-22 サービス利用回数別・主な介護者が不安に感じる介護等（短期系、要介護3以上）



認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で短期系サービスの利用回数別に主な介護者が不安に感じる介護等をみると、利用回数0回では「認知症状への対応」が40.6%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が39.1%、「日中の排泄」が34.8%、利用回数1～9回では「認知症状への対応」が53.3%と最も多く、次いで「日中の排泄」「夜間の排泄」が46.7%、利用回数10回以上では「認知症状への対応」が60.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が53.3%、「日中の排泄」が46.7%となっています。

図表 3-23 サービス利用回数別・主な介護者が不安に感じる介護等（短期系、認知症自立度Ⅲ以上）



在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

発行：大垣市

編集：健康福祉部 介護保険課

〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL：0584-81-4111（内線2482、2488）

FAX：0584-81-6221